

SEKONIC 分光式カラーメーター

C-800 使用説明書



ご使用前に本使用説明書をよくお読みいただき製品の性能を十分ご理解いただいた後に取扱い及び保守をしていただくようお願い致します。なお、本使用説明書はお手元に大切に保管してください。基本的な操作については、スタートアップガイドをご覧ください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この使用説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上、安全に正しくお使いください。

スペクトロメーター C-800 は、受光部に分光センサーを搭載した、高性能カラーメーターです。等色関数（人間の目の特性）に合わせ、様々な光源（LED、HMI、蛍光灯、自然光およびフラッシュ光など）においてより正確な測定を実現しました。また、色温度やフィルター補正機能の他に、分光グラフや各種の演色評価モードを備え、撮影のみならず光源の選択や管理にも威力を発揮します。

アプリケーションソフト「C-800 ユーティリティ」により、タブレットまたはパソコンに USB 接続することで測定値やグラフ表示のデータ保存や、本体設定、ファームウェアのアップデートなどに対応しています。

※ ユーティリティは弊社製品ホームページのダウンロードサイトからダウンロードした後、パソコンにインストールしてください。

URL : www.sekonic.co.jp/product/meter/download/download.html






ご使用の際は USB ケーブル（ミニ B コネクター、市販品）でパソコンと本体「C-800」を接続してください。

■用語と商標について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
- Rosco、Cinewel、および E-Colour+ は、Rosco Laboratories Inc. 社の登録商標です。
- LEE およびリーフィルターは、Panavision Europe Ltd. 社の事業部門である LEE Filters 社の登録商標です。
- コダックおよびラッテンの各用語はコダック社の登録商標です。
- 富士フイルム、及び富士フィルターは富士フイルム株式会社の商標、または登録商標です。
- X-Rite および ColorChecker は米国およびその他の国における X-Rite Incorporated の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本及び海外における各社の商標または登録商標です。

正しく安全にお使いいただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 警告	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。
 注意	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷、または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。
 ご注意	操作をする上での注意や制限です。誤った操作をしないために、必ずお読みください。
 ご参考	操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。お読みになることをお勧めします。
	参照ページを示しています。

警告

- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、規格適合品ではない電池の使用は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

注意

- 雨中、水しぶきがかかる場所や製品の水没、または水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。
また、製品が故障する原因となる場合があります。
- 本体は絶対に改良や分解をしないでください。測定結果への影響、或いは故障の原因になる恐れがあります。
- 液晶に無理な力をかけたり、落したり、衝撃を与えたりしないでください。またカバンやポケットに入れている時でも、無理な力が加わると液晶の故障や破損の恐れがあります。
- 液晶画面は、指先で軽くタッチして操作してください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものを使用すると、液晶表示部に傷が付いたり、故障する原因となります。
- 乳幼児等が誤ってストラップを掴んで振り回すことのないように手の届かない場所に置いてください。衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- 持ち運びの際に、ストラップが絡まないように注意してください。
落下等の衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- ストラップの素材はポリエステル繊維を使用しています。
合成繊維による皮膚のかぶれや発赤、かゆみを引き起こされているときは、症状の悪化を防ぐため、ご使用はお控えください。

ご注意

- 液晶画面には保護シートが貼られています。剥がしてからご使用ください。
- 液晶画面には一部点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。
本製品の有効ドット数に対する品質基準の割合は 99.9% 以上です。
有効ドット数の割合とは、「液晶ディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
- 2000 m 以下の高度でご使用ください。
- 操作の誤りなどにより、メモリーされているデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。
- 落下または急激な衝撃は絶対に避けてください。故障の原因になります。
- 高温な場所や多湿な場所には保管しないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化による結露に注意してください。故障や誤動作の原因になります。
- ご使用となる場所の温度が冬季のご使用等で -10°C 以下になると、液晶表示の応答が非常に遅くなり、表示が読みにくくなります。温度が $0 \sim 10^{\circ}\text{C}$ では液晶表示の応答が若干遅くなりますが、ご使用には差し支えありません。また、温度が 50°C を超えると液晶表示が黒くなり、表示が読みにくくなりますが常温に戻ると元の状態になります。
- 真夏の直射日光下や車中、または暖房装置等の近くに放置すると、本機の温度が上昇し、故障の原因となる場合があります。このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 腐食性のガスが発生する恐れのある場所に放置すると、ガスの影響で本機の故障の原因となる場合があります。このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のゴミ廃棄方法に従って処理してください。

お手入れについて

- 精度に影響を与える恐れがありますので、受光部にはホコリ、ゴミ、傷を付けないように扱ってください。
- 本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は、絶対に使用しないでください。

ご参考

- 使用済みの電池は各自治体のルールに従って処分してください。
- 使用済みの電池を破棄する際はプラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 電池を分解しないでください。

■ 使用の目的

以下の様な場面でご使用できます。

- 写真、ビデオ、映画撮影における、照明や自然光の色温度測定。
- 基準となる色温度に合わせるためのカメラまたは照明フィルターの補正値を表示
- 照明機材の経年変化の管理
- 印刷の色校正を行う環境光の管理
- 演色評価数による光源の色再現性の確認

C-800 の主な特徴

用途	特徴
撮影用途	<ul style="list-style-type: none">● 様々な光源（LED、HMI、タングステン、蛍光灯、自然光、フラッシュ光等）を 380nm ~ 780nm の波長範囲で測定可能● CRI、SSI、TLCI、TLMF、TM-30 などの各種演色評価モードに対応● 充実した測定値の表示<ol style="list-style-type: none">(1) 色温度 (K = ケルビン)(2) 色偏差 (Δuv)(3) LB/CC 指数(4) LB/CC カメラフィルター番号 (Kodak WRATTEN 2、LEE、FUJIFILM)(5) LB/CC 照明フィルター番号 (LEE、ROSCO)(6) 照度 / 露光量 (定常光 / フラッシュ光)(7) TM-30 (Rf、Rg)(8) SSI (タングステン光、CIED55 またはメモリーした値との比較)(9) CIE1931 色度座標 (x、y)(10) 色相 / 彩度 (Hue/Saturation)(11) CRI (Ra、R1 ~ R15)● 各種表示モード<ol style="list-style-type: none">(1) テキストモード(2) スペクトル (分光分布) グラフ / 比較モード(3) CRI / 比較モード(4) TM-30 モード(5) SSI モード(6) TLCI/TLMF モード(7) フィルター (カメラ / 照明) モード(8) 多灯比較モード(9) ホワイトバランス補正モード

■ 使用対象者

本製品をご使用になられる対象者について、以下の様な方々のご使用を想定しております。

写真、ビデオ、映画のカメラマン、照明技師、撮影監督など、撮影関連に従事される方。
および、建築、美術、インテリアなどのライティングエンジニア、レンタルスタジオ
や照明販売店などでの光源管理をする方。

■ 制限事項

ご使用にあたり、いくつかの注意・制限事項があります。

お手数ですが、以下の内容にご同意いただいた上で、ご使用いただきますようお願い致します。

ご注意

- 使用説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
アップデートされた最新の使用説明書を弊社ホームページからダウンロードしてご利用
されることをお勧めします。
URL：www.sekonic.co.jp/product/meter/download/download.html
 - 「使用上のご注意」や「安全上のご注意」など安全に関する注意事項は、使用説明書作
成時点での法的基準や業界基準に拠った内容になっております。従いまして、記載内容
が最新の内容ではない場合もありますので、過去の使用説明書のご利用にあたっては、
最新の使用説明書に記載されている、安全に関する注意事項を参照くださいますよう
お願いします。
 - 製品には、使用説明書を補足するために、安全に関する注意事項・正誤表などの印刷物
が同梱されている場合がありますのであらかじめご了承ください。
 - 使用説明書の内容は、非営利の目的でかつ個人的用途に利用する場合に限り、複製する
ことができます。但し、かかる複製物には当社の著作権表示が付されていることを条件
とします。
 - 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
 - 本製品及び本書内容については、将来予告なしに変更することがあります。
 - 説明書の画面は、実際の物と異なることがあります。(色・文字等)
-

同梱品の確認

本体の他に以下の付属品が同梱されています。開梱後、付属品に不足がないことをご確認ください。

※ 足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※ USB ケーブル（ミニ B コネクター）は同梱しておりません。

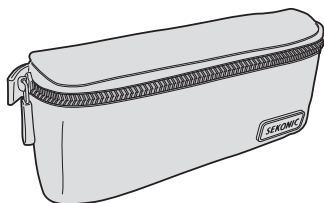
別途、お買い求めください。

※ 単 3 形電池（2 本）は同梱しておりません。別途、お買い求めください。

本体



ソフトケース



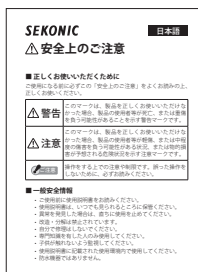
クイックガイド



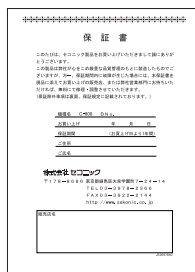
ストラップ



安全上のご注意



保証書



目次

■ 正しく安全にお使いいただくために	i
 警告	ii
 注意	ii
■ 使用の目的	iv
■ 使用対象者	v
■ 制限事項	v
■ 同梱品の確認	vi
1. 各部の名称と機能	1
1-1 名称	1
1-2 各部の名称と機能	2
2. ご使用の前に	3
2-1 ストラップの付け方	3
2-2 電池の入れ方	4
2-3 電源の ON/OFF	5
2-4 オートパワーオフ機能	9
2-5 電池容量の確認	10
2-6 電池の交換	11
3. 画面操作	12
3-1 画面と操作	12
3-1-1 基本画面と操作	12
3-1-2 アイコンの操作	16
3-1-3 数字・文字の入力	17
3-1-4 画面のロックと解除	19
4. 基本操作	20
4-1 基本的な操作の流れ	20
4-2 測定モードの選択	22
4-2-1 光源に測定モードを合わせる	22
4-2-2 シャッター速度を選択する (フラッシュ光モードのみ)	24
4-3 基準色温度の設定 [Target (基準色温度)] 画面	26
4-3-1 基準となる色温度を設定する	26
4-3-2 表示項目の選択	28

4-4	表示モードの選択	30
4-4-1	テキストで表示する [テキスト] 画面	34
4-4-2	スペクトルで表示する [スペクトル] 画面	37
4-4-3	スペクトル比較で表示する [スペクトル比較] 画面	39
4-4-4	演色評価数で表示する [CRI] 画面	43
4-4-5	演色評価比較で表示する [CRI 比較] 画面	46
4-4-6	TM-30 の評価指数で表示する [TM-30] 画面	50
4-4-7	SSI の評価指数で表示する [SSI] 画面	52
	【基準光源の選択】	54
	【色温度入力】	56
	【メモリー光源の選択】	59
4-4-8	TLCI/TLMF の評価指数で表示する [TLCI/TLMF] 画面	62
4-4-9	フィルターで表示する [フィルター] 画面	67
	【照明フィルターの場合】	67
	【カメラフィルターの場合】	71
4-4-10	光源を比較して表示する [多灯比較] 画面	75
4-4-11	ホワイトバランスグラフで表示する [WB 補正] 画面	82
4-4-12	本体設定を表示する [本体設定] 画面	84
5.	光源を測定する [測定画面]	86
5-1	測定方法	86
5-1-1	光源の色温度を合わせる場合	86
5-2	定常光モードでの測定	87
5-3	フラッシュ光コードレスモードでの測定	90
5-4	フラッシュ光コード接続モードでの測定	94
5-5	モニター機能 (定常光モードのみ)	99
5-6	[Over]、[Under]、[Filter N/A] または赤文字 表示のときは	101
5-6-1	[Over]、[Under]、[Filter N/A] または赤文字 表示	101
5-6-2	レンジを切り換える	103
6.	測定のツール [ツールボックス] 画面	104
6-1	プリセット内容の設定 [プリセット選択] 画面	105
6-2	メモリー機能	108
6-2-1	メモリーした測定値にタイトルを付ける [メモリータイトル] 画面	109
6-2-2	測定結果を呼び出す [メモリーリコール] 画面	112
6-2-3	メモリータイトルを変更する [メモリーリネーム] 画面	117

6-2-4	保存した測定結果を削除する [メモリークリアー] 画面	120
	【個別消去の場合】	122
	【メモリータイトルごと削除の場合】	123
7.	本体の設定 [本体設定] 画面	125
7-1	本体設定の項目	125
7-1-1	項目一覧	127
7-2	カスタマイズする	128
7-2-1	各項目の仕様	129
7-2-2	シャッター速度のステップの選択	130
7-2-3	LB ステップの選択	133
7-2-4	カメラフィルターブランドの選択	135
7-2-5	照明フィルターブランドの選択	137
7-2-6	ホワイトバランスのステップの選択	139
7-2-7	色空間 (Hue/Sat) の選択	141
7-2-8	スペクトル Y 軸スケールの選択	143
7-2-9	オートパワーオフ時間の選択	146
7-2-10	液晶バックライト明るさの選択	148
7-2-11	液晶バックライト減灯時間の選択	150
7-2-12	言語の選択	152
7-2-13	カスタマイズ項目初期化	154
7-3	プリセットの編集	155
7-3-1	プリセット選択のリスト表示	158
7-3-2	プリセット名の設定	160
7-3-3	プリセット色温度の設定	162
7-3-4	LB 指数補正值の設定	165
7-3-5	CC 指数補正值の設定	167
7-4	ダーク補正	169
7-5	本体情報表示	172
7-5-1	法規表示	174
8.	ハードウェア設定画面	175
8-1	タッチパネル調整の調整	177
8-2	ユーザー情報の設定	180
8-3	工場出荷時設定	182

9. 付録	185
9-1 用語集	185
9-2 フィルターの種類	189
9-3 仕様	194
9-4 法的要求事項	199
10.別売アクセサリ	200
11.トラブルシューティング	201
12.アフターサービスについて	204

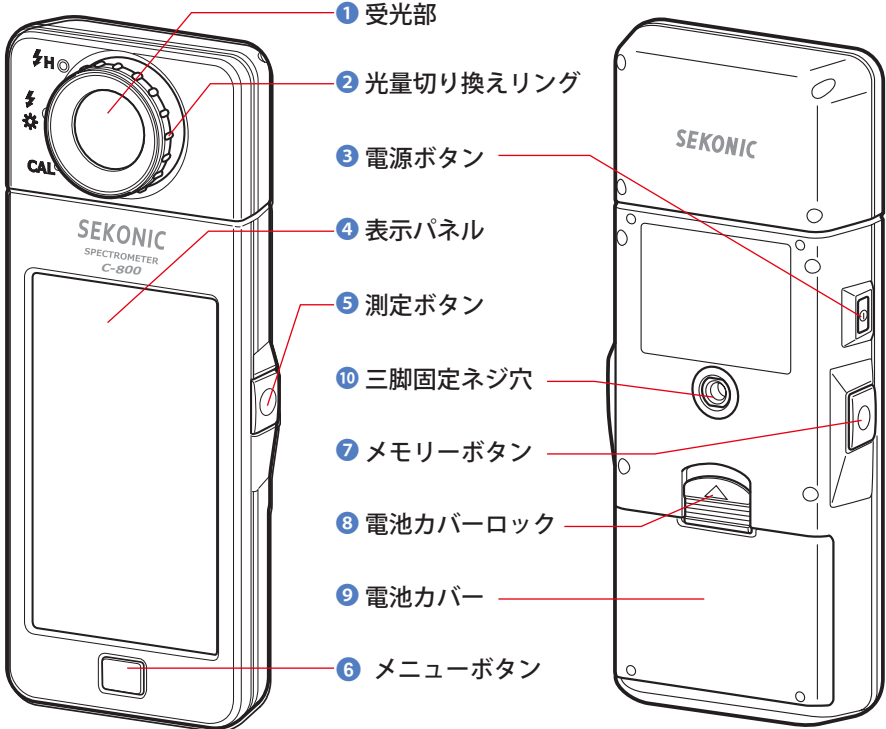
1. 各部の名称と機能

1-1

名称

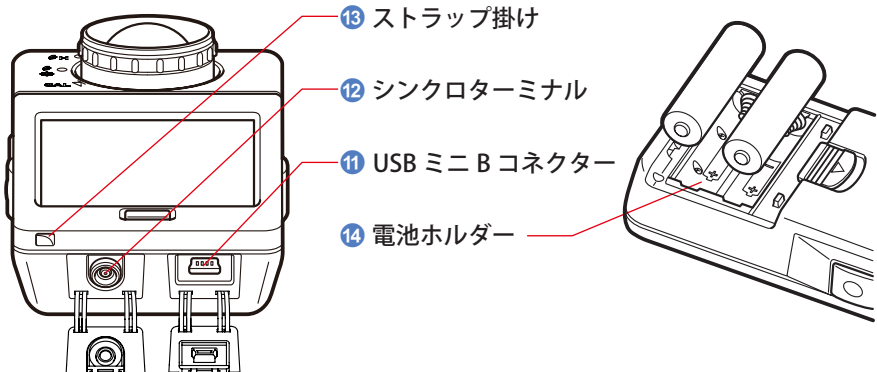
前面

背面



底面

電池ホルダー部



1-2 各部の名称と機能

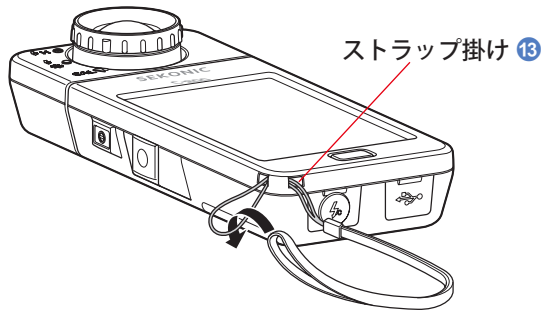
以下に各部の機能を示します。

No.	名称	機能
①	受光部	測定時、照明（光源）に向けます。270 度自由に回転します。
②	光量切り換えリング	ダーク補正やフラッシュ光の測定レンジ切り換えのため、回転させて光量を切り換えます。
③	電源ボタン	電源を ON/OFF します。
④	表示パネル	設定画面や測定画面などが表示されます。タッチパネル機能付きで、画面にタッチすることにより、各種設定・選択・操作を行うことができます。（▶P16）
⑤	測定ボタン	ボタンを押すと測定を行います。
⑥	メニューボタン	ボタンを押すと表示モード選択画面に移ります。
⑦	メモリーボタン	測定後にボタン押すと測定データを記憶します。
⑧	電池カバーロック	電池カバーのロック部です。
⑨	電池カバー	電池ホルダーの蓋です。
⑩	三脚固定ネジ穴	三脚固定用のネジ穴です（1/4 インチ、20 ネジ山）。
⑪	USB ミニ B コネクター	C-800 コーティリティをインストールしたコンピュータと接続する、また USB ケーブルを利用し電源供給するための USB コネクターです。 USB 端子：ミニ B コネクター（5 ピン）
⑫	シンクローターミナル	フラッシュ光接続モードでの測定時、シンクロコード（別売り）と接続する接点です。
⑬	ストラップ掛け	付属のストラップを掛けることができます。
⑭	電池ホルダー	電池収納部です。電池の極性を間違えずに正しく装着してください。

2. ご使用の前に

2-1 ストラップの付け方

1. 付属のストラップをストラップ掛け ⑬ 側面の穴から通します。
2. ストラップ先端の輪の中に、ストラップの反対側を通します。



警告

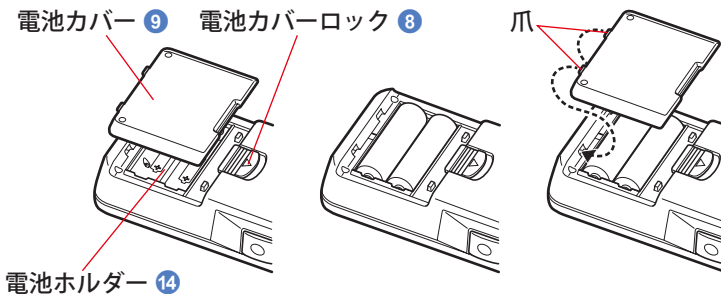
乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

注意

- 乳幼児等が誤ってストラップを掴んで振り回すことのないように手の届かない場所に置いてください。衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- 持ち運びの際に、ストラップが絡まないように注意してください。落下等の衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- ストラップの素材はポリエステル繊維を使用しています。合成繊維による皮膚のかぶれや発赤、かゆみを引き起こされているときは、症状の悪化を防ぐため、ご使用はお控えください。

2-2 電池の入れ方

1. 単三形電池を2本用意します。
2. 電池カバーロック ⑧ を矢印方向にずらした状態で、電池カバー ⑨ を取外します。
3. 電池ホルダー ⑭ の「+」「-」表示に合わせて、電池を入れます。
※図のように、2本とも同じ向きに入れてください。
4. 電池カバー ⑨ の2本の爪を差し込み、電池カバー ⑨ を上から押して取り付けます。



警告


電池を火の中に入れる、ショート、分解、加熱は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

注意

- マンガンまたはアルカリ電池をお使いください。
- 銘柄の異なる電池を使用しないでください。また、新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を取り外すときはプラス「+」側から取り外してください。マイナス「-」端子のスプリングが変形、破損する可能性があります。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。電池の液漏れが発生し、本機に悪影響を与えることがあります。

2-3 電源の ON/OFF

電源 ON

1. 光量切り換えリング ② を回してダーク補正位置 CAL () に設定します。
2. 電源ボタン ③ を押します。

本機が ON になり、オープニング画面が表示 (2 秒間) されます。

光量切り換えリング ②



オープニング画面



電源ボタン ③

⚠️ ご注意

- 電池交換後と、電源 OFF から 24 時間経過している場合に、青文字「SEKONIC」ロゴの画面が表示されます。
- ログ画面表示中に青いバーグラフが動いている間は、本体のメモリーチェックを行っています。電源は切らないでください。故障の原因となる恐れがあります。

ログ画面



📖 ご参考

- 液晶に何も表示されない場合は、電池がセットされているか、容量が充分か、または電池極性が「+」「-」逆に挿入されていないかをご確認ください。
- オープニング画面はタッチすることで省略することができます。

3. 言語を選択します。(初回電源投入時のみ)

言語選択画面が表示されます。ご使用になる言語を選択してください。



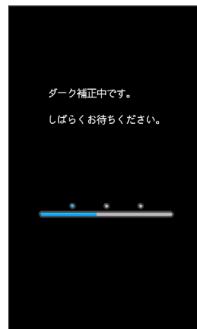
4. [OK] アイコンを押して決定します。

言語はいつでも変更することができます。(▶ P152)

5. ダーク補正が行われます。

オープニング画面(2秒間表示)の後に、ダーク補正を開始します。ダーク補正中は「ダーク補正中です。しばらくお待ちください。」とメッセージ表示されます。正常に行われると測定画面が表示されます。


ダーク補正中画面



ご参考


ダーク補正は「急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。

⚠️ ご注意

- 光量切り換えリング ② がダーク補正位置にセットされていないときは、「光量切り換えリングをダーク補正位置にセットしてください。」とメッセージが表示されます。光量切り換えリング ② をダーク補正位置 **CAL** () にセットしてダーク補正を行ってください。

ダーク補正位置確認画面





- ダーク補正が正常に行われなかった場合は、「ダーク補正が出来ませんでした。光量切り換えリングの位置を確認してください。」とメッセージが表示されます。光量切り換えリング ② をダーク補正位置 **CAL** () にセットしてダーク補正を行ってください。





ダーク補正確認画面



6. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L  () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L  () またはレンジ H  () を選択します。(➡P101、➡P103)

⚠️ ご注意

ダーク補正位置で測定ボタン ⑤ を押すと「測定が出来ませんでした。光量切り換えリングの位置を確認してください。」とメッセージが表示されます。正しい位置に光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。測定画面が表示されます。



**ご参考**

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

電源 OFF**1. 電源ボタン ③ を 1 秒以上押します。**

本機が OFF し、表示が消えます。

**ご注意**

電源ボタン ③ の ON/OFF の間隔は 3 秒以上あげてください。

**ご参考**

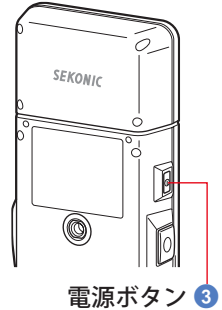
電源を OFF しても、操作中の設定値・測定値は記憶されており、電源を ON すると再表示されます。

2-4 オートパワーオフ機能

省電力設計のため、使用后（最後のボタン操作後）約5分（初期設定値）で自動的にすべての表示が消え電源はOFFになります。



- オートパワーオフ機能が働いたときや、電源ボタン ③ を OFF したときは、測定値・設定値・指示値は記憶されています。電源を ON することで再表示されます。
- オートパワーオフになる時間は初期設定で5分です。より長い時間やオートパワーオフなし、をカスタム設定で変更できます。（▶P146）
- 電源が切れた状態で電源ボタン ③ が押され続けたときは、電源はいったんONしますが約1分後に自動的にOFFになります。（輸送中に電源ボタン ③ が押されたままになっていた場合でも電池の消耗を避けることができます。）



2-5 電池容量の確認

電源を ON すると、液晶表示部に電池容量を示すアイコンが表示されます。



電池容量は十分です。



電池容量に余裕があります。

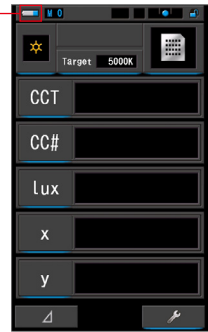


予備の電池を用意してください。



直ちに電池を交換してください。

電池容量



ご参考

- 電池容量がない状態では、電源を ON した後、液晶表示が現れずぐに表示が消える場合がありますが、故障ではありません。新しい電池に交換してください。あらかじめ予備の電池を用意しておくことをお勧めします。
- 連続測光した場合、本機の電池寿命は常温で約 8 時間です。(当社試験条件による)

2-6 電池の交換

- 必ず電源を OFF にしてから電池交換を行ってください。電源を ON にしたまま電池交換を行うと、操作中の測定値の記憶がされません。また故障の原因になります。
- 電池交換後または測定中、液晶表示部に異常な表示（設定していない表示等）が現われた場合や、操作ボタンを押しても動作しない場合は、電池を一度取り出し 10 秒以上経過してから入れ直してください。

3. 画面操作

3-1 画面と操作

3-1-1 基本画面と操作

画面はタッチパネル方式であり、アイコンを指先でタッチすることにより、目的のメニューや項目を選択することができます。

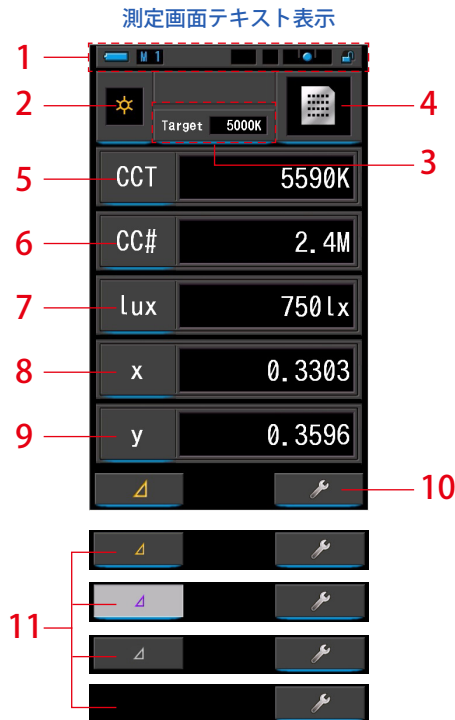
測定画面

電源を ON するとオープニング画面が表示（2 秒間）されてから、ダーク補正を行います。ダーク補正が終了すると、測定画面が表示されます。

測定画面では、光源の選択や、測定条件の変更を行うことができます。アイコンの下部にブルーラインが点灯している項目はタッチする事で設定の変更が可能です。

各画面切り換えは、それぞれの項目を参照してください。


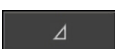





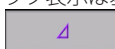


※ 本体のメニューボタン ⑥ を押しても表示モード選択画面へ移ります。



※ 設定されている測定モードにより表示が変わります。

※ 本表示は説明のため、すべてを表示しています。

項目一覧

No.	名称	説明
1	ステータスバー	設定内容を表示します。(▶P14)
2	[測定モード]アイコン	現在の測定モードを表示します。(▶P22) アイコンをタッチすると測定モード選択画面に移ります。
3	[Target (基準色温度)] アイコン	基準色温度を表示します。(▶P26) アイコンをタッチすると Target (基準色温度) 入力画面に移ります。
4	[表示モード]アイコン	現在の表示モードを表示します。(▶P30) アイコンをタッチすると表示モード選択画面に移ります。
5~9	[項目選択]アイコン	アイコンをタッチすると項目選択画面に移ります。(▶P28)
10	[ツールボックス]アイコン	アイコンをタッチするとツールボックス画面に移ります。(▶P104)
11	[デルタ]アイコン (定常光モードのみ)	 差分測定を行えるときに表示されます。
		 基準となる測定値がないとき、アイコンは無効となっています。
		 差分測定が行えないときは (Δ) アイコンは表示されません。
		 をタッチするとモニター機能を行う  白色アイコン表示になります。 測定ボタン  を押している間、全項目 (フィルター名は除く) では基準値との差を表示します。(基準値とは、[デルタ]アイコンを押したときの測定値となります。) 測定ボタン  を放したときは基準値を表示します。(グラフ表示は基準値を表示します)  をタッチすると  に戻り最後に測定した値を表示します。モニター機能は電源を OFF すると解除されます。 注意：モニター機能を行っている間はメモリーボタン  は無効です。



ご参考

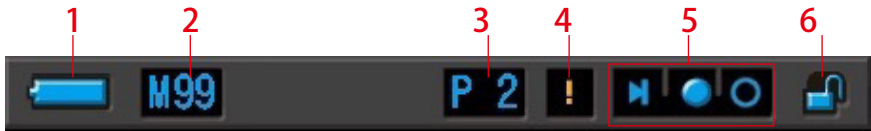
表示範囲外や測定範囲外の場合は、[Under] (アンダー)、[Over] (オーバー) または [Filter N/A] (表示範囲外) が表示されます。

Under： 測定範囲より低い (暗すぎるまたは色温度が低すぎる) 時、表示します。

Over： 測定範囲より高い (明るすぎるまたは色温度が高すぎる) 時、表示します。

Filter N/A： フィルター名および番号の組み合わせがない時、表示します。


ステータスバー



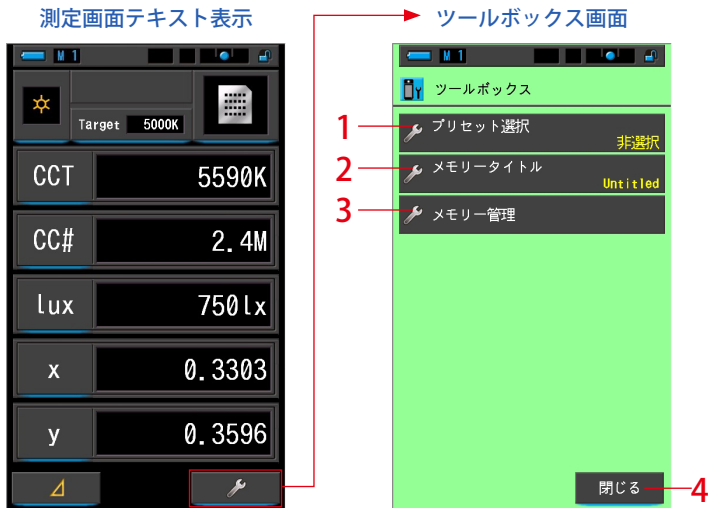
※ 本表示は説明のため、すべてを表示しています。

No.	名称	説明	
1	電池容量表示部		電池容量は十分です。
			電池容量に余裕があります。
			予備の電池を用意してください。
			直ちに電池を交換してください。
			USB 給電時に表示します。
2	メモリーカウント		メモリーされている測定データ数を表示します。マークの右にメモリー総数が測定限界の 99 回まで表示されます。
3	プリセット選択		プリセット選択されているとき、プリセット番号を表示します。
4	温度変動警告		マークが点灯しているときは、温度（気温）の基準が変動しており、正確な測定ができない恐れがあります。ダーク補正を行ってください。
5	光量切り換えリング状態表示部		光量切り換えリング②がダーク補正位置に選択されているときに表示します。
			光量切り換えリング②がレンジ「L」に選択されているときに表示します。
			光量切り換えリング②がレンジ「H」に選択されているときに表示します。
6	キーロック状態表示部		画面のロックが解除されている場合に表示されます。
			画面がロックされている場合に表示されます。画面がロックされている場合は、タッチパネル上の操作はできません。

ツールボックス画面

測定画面の[ツールボックス ()]アイコンをタッチすることにより、以下の設定を行うことができます。

※ ツールボックス画面は、説明のためすべてを表示しています。初期値ではありません。



[ツールボックス：項目一覧]

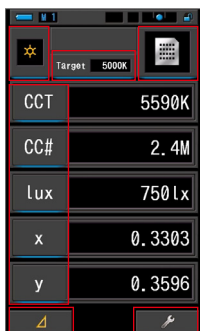
No.	名称	説明
1	プリセット選択	プリセット選択画面に移ります。(➡P105)
2	メモリータイトル	メモリータイトル入力画面に移ります。(➡P109)
3	メモリー管理	メモリー管理画面に移ります。(➡P112)
4	[閉じる]アイコン	ツールボックス画面を閉じて測定画面に戻ります。

3-1-2 アイコンの操作

タッチ操作

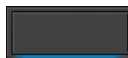
各アイコンをタッチすることで、任意の画面へ切り換えることができます。

(例) 測定画面 (テキストモード)



タッチ可能なアイコン

タッチできるアイコンはアイコンの下にブルーランプが点灯しています。



タッチできるアイコン



タッチできないアイコン

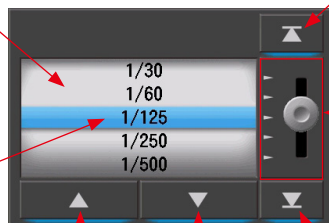
スライド操作

アイコンを指先でタッチすることにより、目的のメニューや項目を選択することができます。

(例) シャッター速度選択画面

スクロール選択

数値や項目などを指先で上下にスクロールさせ、表示内容を変更することができます。



先頭アイコン

選択肢の先頭まで一気に移動できます。

スクロールバー

上下にスライドさせて表示内容を変更することができます。

後尾アイコン

選択肢の最終まで一気に移動できます。

ワンステップアイコン

アイコンをタッチすると選択肢を1つだけ移動します。

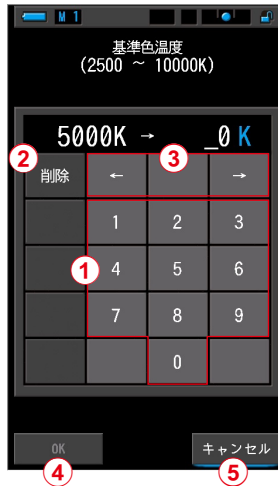
※ 選択されている箇所は背景青色となっています。

3-1-3 数字・文字の入力

数字と文字を入力することができます。

数値入力画面

(例) 基準色温度入力画面

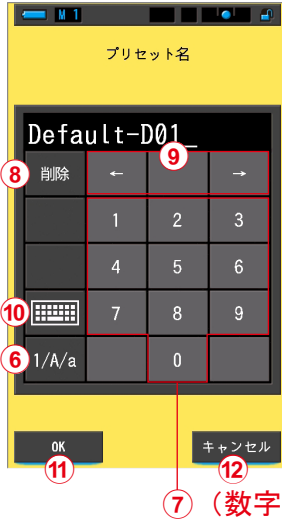


数値入力の方法

No.	キー	説明
①	0-9	数字を入力します。タッチすると上部に入力値が表示されます。
②	削除	カーソルの位置の文字を削除します。
③	← →	入力位置を移動します。
④	OK	入力値を確定して、元の画面に戻ります。
⑤	キャンセル	入力を無効にして、元の画面に戻ります。

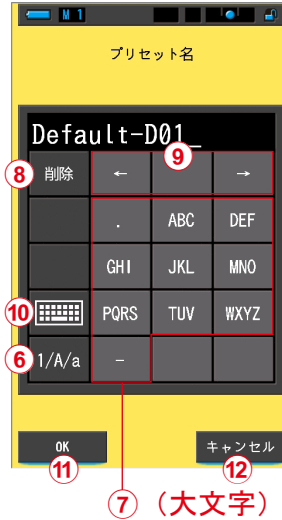
文字入力画面

数字入力画面



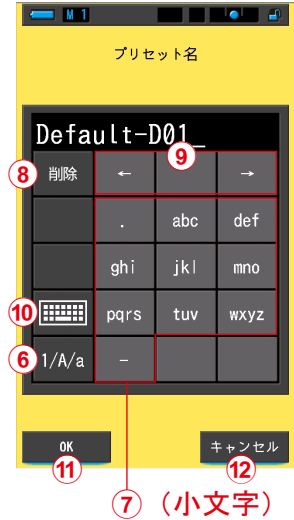
(7) (数字)

大文字入力画面



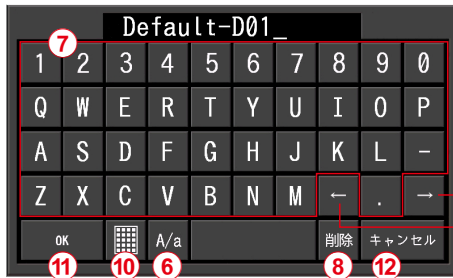
(7) (大文字)

小文字入力画面

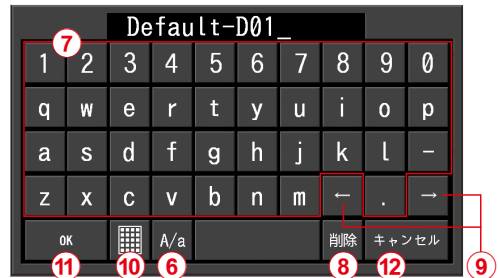


(7) (小文字)

キーボード 大文字入力画面



キーボード 小文字入力画面



文字入力、数字入力の方法

No.	キー	説明
⑥	1/A/a	数字 / 大文字 / 小文字を切り換えます。
⑦	0-9、ABC、abc、ハイフン、ピリオド	タッチすると、上部に入力値が表示されます。キーパッドのアルファベット (ABC) は同じボタンを複数回タッチすることで入力文字を変更できます。
⑧	削除	カーソルの位置の文字を削除します。
⑨	← →	入力位置を移動します。
⑩	キーボード	入力画面をキーパッドとキーボードに切り換えます。
⑪	OK	入力値を確定して、元の画面に戻ります。
⑫	キャンセル	入力を無効にして、元の画面に戻ります。

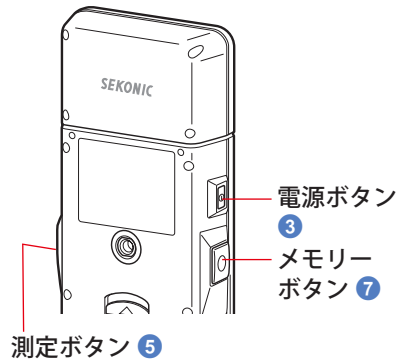
3-1-4 画面のロックと解除

誤操作をふせぎたいときに、画面をロックしておくことができます。

ロック状態では画面のタッチ操作は無効になります。

但し、メモリーボタン **7**、測定ボタン **5**、電源ボタン **3** は有効です。

また、電源を切ってもこの状態は保持されています。



ロック設定

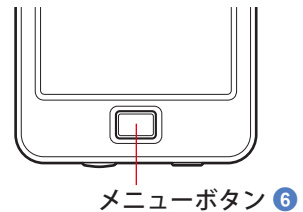
測定画面の時にメニューボタン **6** を長押しすると、画面がロックされ、液晶画面の右上に [🔒] アイコンが表示されます。

画面ロックが実施中のときは、液晶画面上のアイコンの操作ができなくなります。

ロック中アイコンにタッチしたときは、[🔒] アイコンが約 1 秒間表示されます。

またメニューボタン **6** を押してのメニュー機能への操作もできなくなります。

※ ロック設定の操作は、測定画面のみで実施可能です。



ロック解除

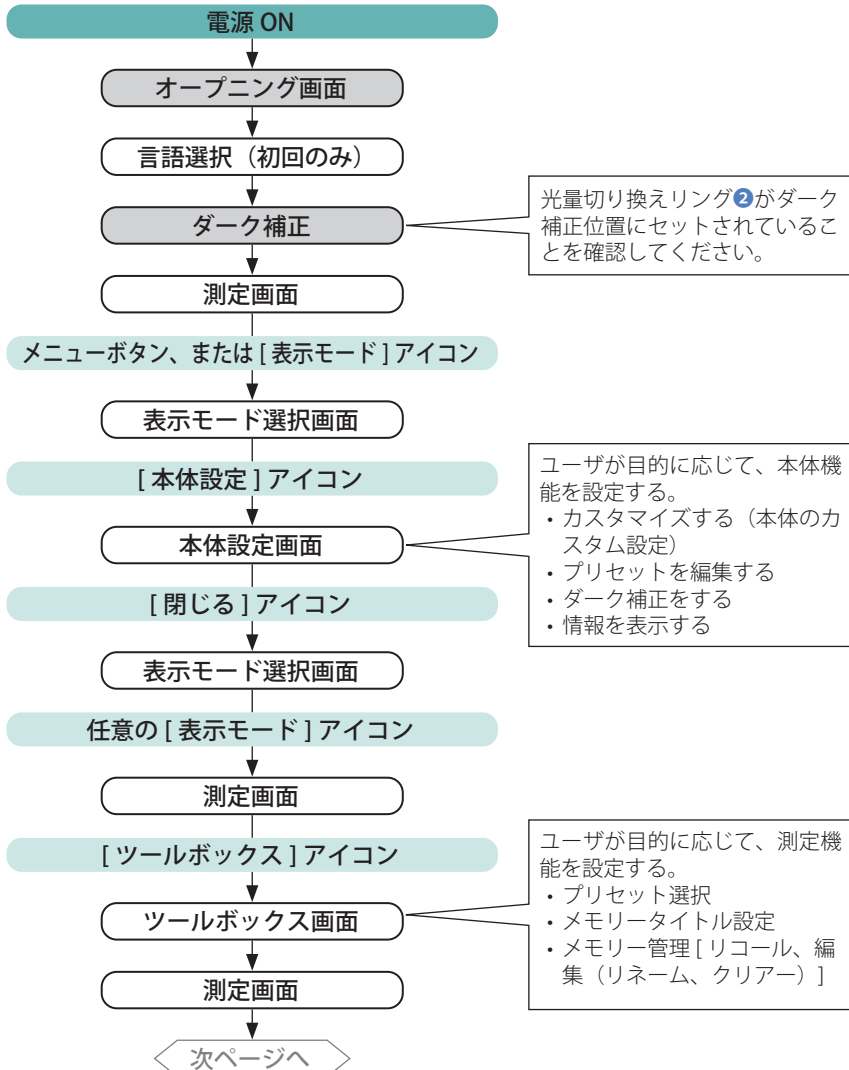
もう一度メニューボタン **6** を長押しすると、画面のロックが解除されます。

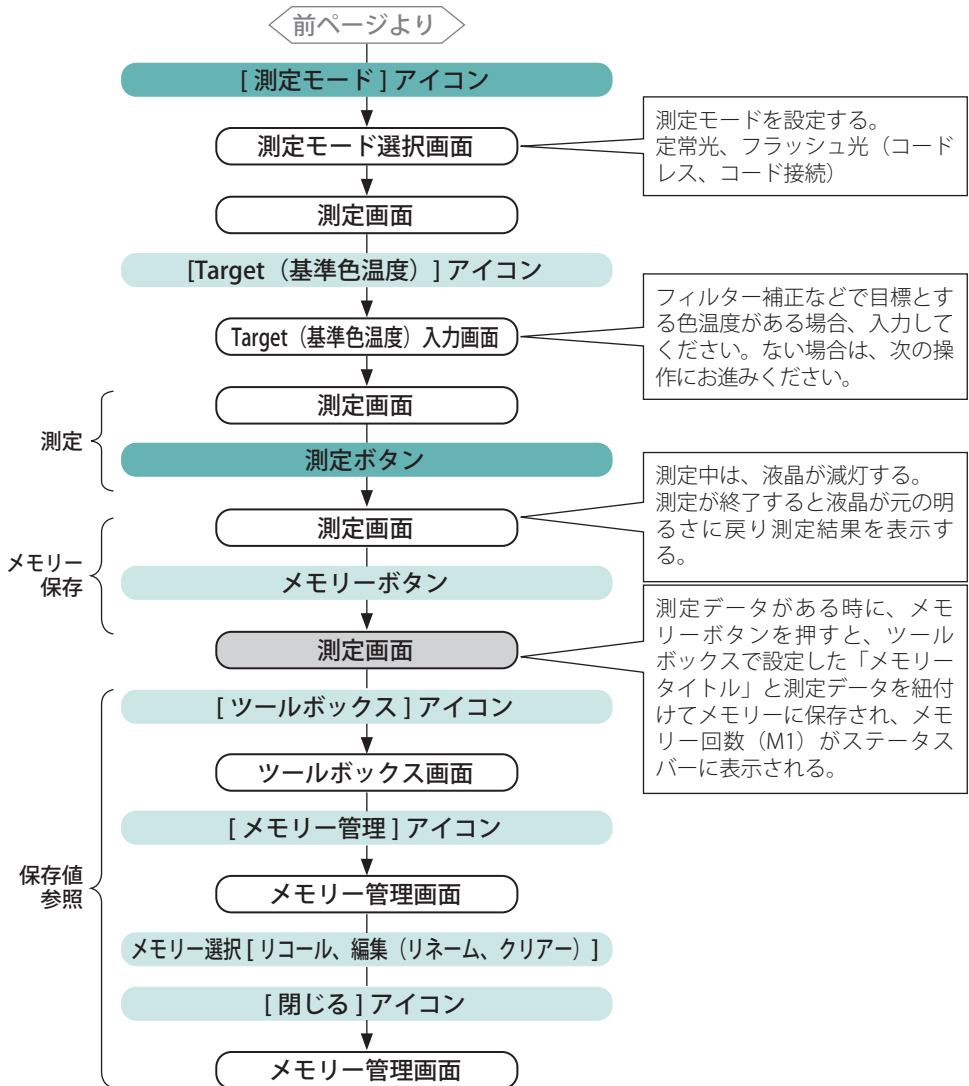


4. 基本操作

4-1 基本的な操作の流れ

基本的な操作と画面は以下の通りです。測定や測定の変更は、測定画面から操作します。





4-2 測定モードの選択

4-2-1 光源に測定モードを合わせる

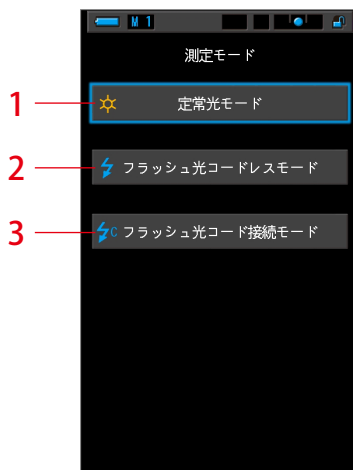
ご使用となる測定方式を選択します。





ご注意

測定モードの選択を変更すると、現在表示されている測定データは消去されます。

測定モード選択画面



No.	測定モード	アイコン	説明
1	定常光モード		太陽光やタングステン光などの連続光を測定するときに選択します。(➡P87)
2	フラッシュ光 コードレスモード		本体とフラッシュをコード接続せずに本体の測定ボタンを押すと、フラッシュの閃光を感知して測定します。測定待機状態は 90 秒維持されます。(➡P90)
3	フラッシュ光 コード接続モード		本体とフラッシュをシンクロコードで接続して本体の測定ボタンを押すと、フラッシュが発光し測定します。(➡P94)

操作

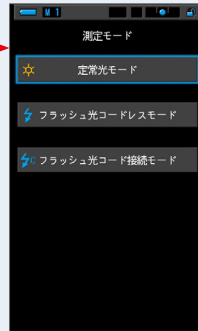
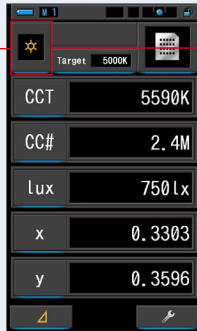
1. 画面左上の [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。

測定画面（テキストモード）

測定モード選択画面

[測定モード]
アイコン



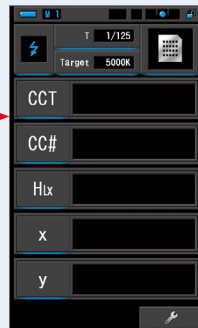
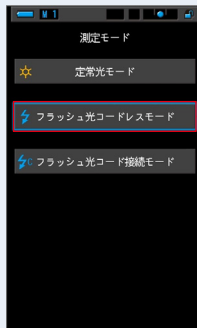
2. 測定モードでご使用となるアイコンをタッチします。

任意の測定モードを選択します。

選択すると測定画面に戻ります。

測定モード選択画面

測定画面（テキストモード）



例) 定常光モード→コードレスモード

定常光モードからフラッシュ光コードレスモードに切り換わりました。

 参考

- 定常光とは、自然光（太陽光）またはタングステンランプ・蛍光灯のような連続光のことです。
- フラッシュ光とは、フラッシュまたはフラッシュバルブ（閃光電球）のような瞬間光のことです。

4-2-2 シャッター速度を選択する (フラッシュ光モードのみ)

フラッシュ光を使用する場合は、シャッター速度を選択します。

操作

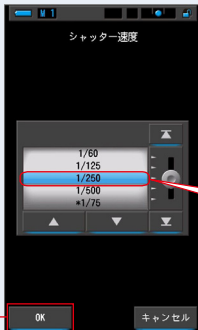
1. [シャッター速度] アイコンをタッチします。

例) フラッシュ光コードレスモード測定画面 (テキストモード)



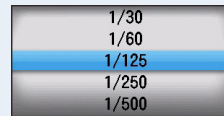
2. ご使用になるシャッター速度を選択します。

シャッター速度画面



[OK] アイコン

[シャッター速度 1/125]



[シャッター速度 1/250]

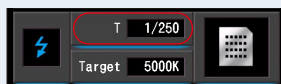


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

シャッター速度が設定されました。





ご参考

シャッター速度の選択は、本体設定の「カスタマイズする」の1ページ目：項目 [シャッター速度ステップ] で選択できます。

1ステップ、1/3ステップ、1/2ステップより選択できます。(▶P130)

シャッター速度の選択肢

1ステップ (工場出荷時)	1/3ステップ	1/2ステップ
1s	1s	1s
1/2	0.8	0.7
1/4	0.6	1/2
1/8	0.5	1/3
1/15	0.4	1/4
1/30	0.3	1/6
1/60	1/4	1/8
1/125	1/5	1/10
1/250	1/6	1/15
1/500	1/8	1/20
※ 1/75	1/10	1/30
※ 1/80	1/13	1/45
※ 1/90	1/15	1/60
※ 1/100	1/20	1/90
※ 1/200	1/25	1/125
※ 1/400	1/30	1/180
	1/40	1/250
	1/50	1/350
	1/60	1/500
	1/80	※ 1/75
	1/100	※ 1/80
	1/125	※ 1/90
	1/160	※ 1/100
	1/200	※ 1/200
	1/250	※ 1/400
	1/320	
	1/400	
	1/500	
	※ 1/75	
	※ 1/80	
	※ 1/90	
	※ 1/100	
	※ 1/200	
	※ 1/400	

※特殊シャッター速度です。



ご注意

シャッター速度の設定を変更すると、測定データは消去されます。

4-3 基準色温度の設定 [Target (基準色温度)] 画面

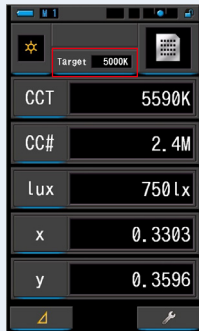
4-3-1 基準となる色温度を設定する

基準となる色温度があり、測定値との差を補正量で見たい場合に設定します。
基準色温度は、測定画面中央上に表示されています。

操作

1. 測定画面の [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

(例) 測定画面 (テキストモード)



2. 基準色温度の数値を入力します。

基準色温度表示部には、現在の設定値を左側に、入力している数値を右側に表示します。

Target (基準色温度) 入力画面



3. [OK] アイコンをタッチします。

数値を確定して測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

基準色温度が設定されました。

A black rectangular display with a red border. The word "Target" is on the left and "5200K" is on the right, both in white text.

Target 5200K



ご参考

- ホワイトバランスを合わせたい場合は、使用するカメラにマニュアル設定する色温度と同じ色温度に設定します。メーカーによっては忠実色再現のために推奨する色温度があります。
ご使用になっているカメラの取扱説明書をご確認ください。
- 2,500 K ~ 10,000 K まで、10 K ステップで設定可能です。
- 複数の基準色温度を使用する頻度が高い場合は、プリセットを使用すると便利です。
(➡ P105)

4-3-2 表示項目の選択

表示項目は複数ある項目の中から任意に選択できます。

操作

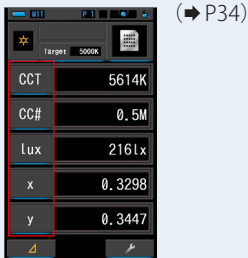
1. 測定画面の [項目選択] アイコンをタッチします。

項目一覧画面が表示されます。(→ P35)

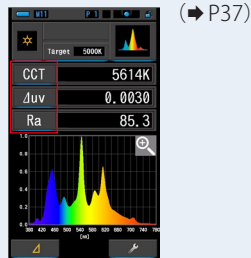
2. 表示する項目を選択します。

選択した項目とその値が表示されます。

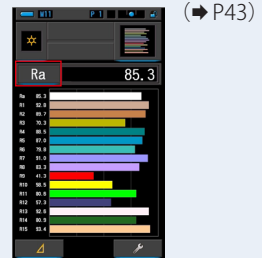
測定画面テキスト表示



測定画面スペクトル表示



測定画面 CRI 表示




表示項目一覧

No.	アイコン	名称	説明
1	CCT	色温度表示	相関色温度を表示します。
2	Δuv	色温度偏差	黒体放射軌跡からの偏差を表示します。
3	lux	照度	照度を lx で表示します。
4	Hlx	露光量	フラッシュの露光量を lx・s で表示します。
5	CCi	CC 指数補正量	CC 補正量を CC 指数 (index) で表示します。
6	CC#	CC フィルター番号	CC 補正量をフィルター番号で表示します。
7	CCcf	CC カメラフィルター	CC 補正量を補正フィルター名で表示します。 フィルターブランドは、本体設定の「カスタマイズする」で選択します。
	CClf	CC 照明フィルター	
8	LBi	LB 指数補正量	LB 補正量を LB 指数 (index) で表示します。
9	LBcf	LB カメラフィルター	LB 補正量を補正フィルター名で表示します。 フィルターブランドは、本体設定の「カスタマイズする」で選択します。
	LBlf	LB 照明フィルター	

No.	アイコン	名称	説明
10	Rf	色忠実度指数	TM-30 の評価指数を 0～100 の範囲で表示します。
11	Rg	色域指数	TM-30 の評価指数を 0～200 の範囲で表示します。
12	SSIt	SSI タングステン評価指数	SSI の評価指数で CIE タングステン (3200K) に対してどれだけ近い特性を持っているかを 0～100 の範囲で表示します。
13	SSId	SSI デイライト評価指数	SSI の評価指数で CIE D55 (5500K) に対してどれだけ近い特性を持っているかを 0～100 の範囲で表示します。
14	SSI1	SSI #1 評価指数	SSI の評価指数で SSI モードで 1 番目に選択されている光源 (黄色のグラフ) に対してどれだけ近い特性を持っているかを 0～100 の範囲で表示します。
15	SSI2	SSI #2 評価指数	SSI の評価指数で SSI モードで 2 番目に選択されている光源 (赤色のグラフ) に対してどれだけ近い特性を持っているかを 0～100 の範囲で表示します。
16	TLCI	TLCI 評価指数	TLCI の評価指数を 0～100 の範囲で表示します。
17	TLMF	TLMF 評価指数	選択したメモリー値に対して、TLMF の評価指数を 0～100 の範囲で表示します。
18	x	色度座標 x	CIE1931 色度座標 x
19	y	色度座標 y	CIE1931 色度座標 y
20	Hue	色相	色種類 (赤、緑、青など) の指標で 0～359° の範囲で表示します。
21	Sat	彩度	色の鮮やかさの指標で 0～100 の範囲で表示します。
22	Ra	CRI 平均演色評価数	CRI の指標で R1～R8 の平均演色評価数を表示します。
23	R1～R15	CRI 演色評価数	CRI の指標で R1～R15 までの各演色評価数を表示します。

4-4 表示モードの選択

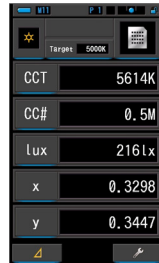
表示モード選択画面で、目的に応じた表示モードの切り替えができます。

※ 本体のメニューボタン  を押すと表示モード選択画面に移ります。

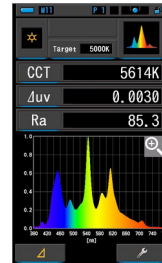
表示モード選択画面



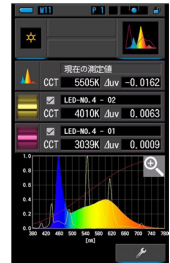
1 テキスト



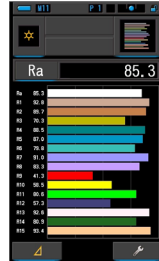
2 スペクトル



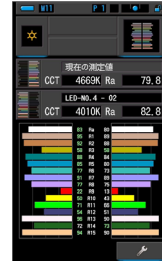
3 スペクトル比較



4 CRI



5 CRI比較



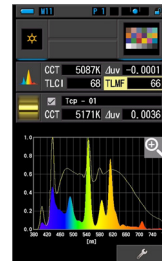
6 TM-30



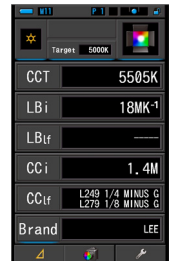
7 SSI



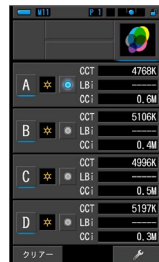
8 TLCI/TLMF



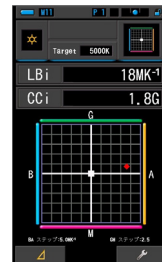
9 フィルター



10 多灯比較



11 WB補正



12 本体設定



表示モードアイコン一覧

No.	アイコン	名称	説明
1	 テキスト	[テキスト]アイコン	各測定値から 5 項目を選択して数値で表示します。(➡P34)
2	 スペクトル	[スペクトル]アイコン	3 項目の測定値 (選択可能) とスペクトル (分光分布) グラフを表示します。(➡P37)
3	 スペクトル比較	[スペクトル比較]アイコン	現在の測定値と、メモリーした値を 2 点までスペクトルグラフ上に表示し比較します。(➡P39)
4	 CRI	[CRI]アイコン	選択した平均演色評価数 (Ra) または個々の演色評価数 (R1 ~ R15) を表示します。また各演色評価数もグラフで表示します。(➡P43)
5	 CRI比較	[CRI 比較]アイコン	現在の測定値と、メモリーした値の色温度および平均演色評価数 (Ra) を表示します。また個々の演色評価数 (R1 ~ R15) もグラフで表示し比較します。(➡P46)
6	 TM-30	[TM-30]アイコン	4 項目の測定値 (Rf, Rg, CCT, Δuv) と、カラーベクトルグラフィックを表示します。(➡P50)
7	 SSI	[SSI]アイコン	現在の測定値と 2 点までの参照光源 (色温度と Δuv) を比較し、SSI 評価指数と SSI スペクトルグラフで表示します。(➡P52)
8	 TLCI TLMF	[TLCI/TLMF]アイコン	測定値とメモリーした値 (色温度、 Δuv)、TLCI と TLMF の測定値をスペクトルグラフと一緒に表示します。(➡P62)
9	 フィルター	[フィルター]アイコン	設定した基準色温度と測定値の差を、補正する照明フィルター名または、カメラフィルター名と補正量で表示します。(➡P67)
10	 多灯比較	[多灯比較]アイコン	4 つまでの測定値を同一画面上に表示します。また選択した測定値からの補正量を表示します。(➡P75)
11	 WB補正	[WB 補正]アイコン	測定値と基準色温度の差をホワイトバランスのグラフ上で LB 指数と CC 指数の補正值として表示します。(➡P82)
12	 本体設定	[本体設定]アイコン	本体設定画面を表示します。(➡P84)

※ 1 ~ 11 までが、測定画面となります。

操作

1. 測定画面の[表示モード]アイコンをタッチ、または本体のメニューボタン⑥を押します。

表示モード選択画面が表示されます。(⇒P30)

表示モード No.1 ~ 11 までの表示は測定用です。

表示モード No.12 は本体設定用です。


2. 表示するアイコンをタッチします。



画面が切り換わり、選択した測定画面が表示されます。



3. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(⇒P101、⇒P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



 ご参考

- 光源の色温度を正しく測定する場合、受光部①を光源に正対させて測定してください。
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

4. 測定結果を測定画面（テキストモード）で表示します。

測定画面テキスト表示



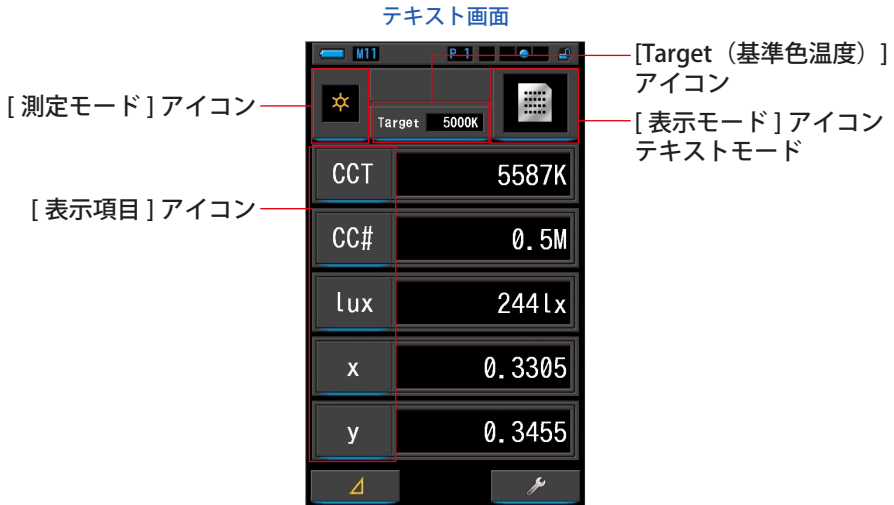
Target	5000K
CCT	5614K
CC#	0.5M
Lux	216lx
x	0.3298
y	0.3447

5. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。（▶P108）

4-4-1 テキストで表示する [テキスト]画面

5 項目の測定値（選択可能）を数値で表示します。



操作

1. 表示モード選択画面の [テキスト] アイコンをタッチします。
テキスト画面が表示されます。(⇒P30)
2. [測定モード] アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P22)
3. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。



Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(⇒P26)
色温度を設定します。

4. 測定画面の [表示項目] アイコンをタッチします。

表示項目選択画面が表示されます。

選択されたアイコンは、青枠表示されます。

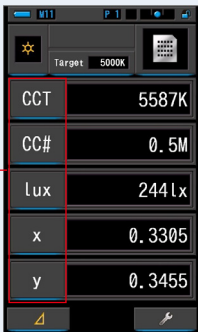
5. ご使用になる表示項目を選択し、[OK] アイコンをタッチします。

選択されたアイコンは、青枠表示されます。

[OK] アイコンをタッチすると、内容が確定され、テキスト画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

テキスト画面



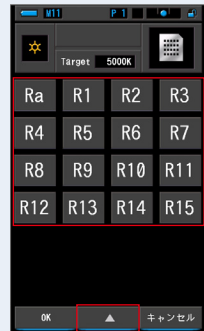
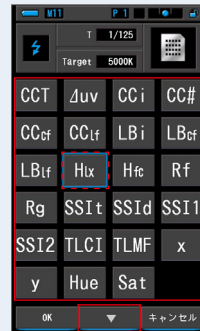
[表示項目] 変更を行う
アイコンをタッチする

表示項目選択画面

定常光モードのとき
1 ページ

フラッシュ光モードのとき
1 ページ

定常光、フラッシュ光
モードのとき
2 ページ



2 ページへ

1 ページへ

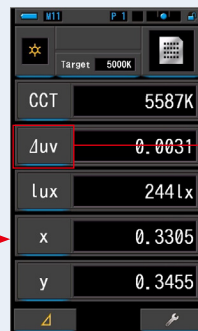
表示する項目アイコンを選択します



→ 選択されたアイコンは青枠表示されます

→ [OK] アイコン


→ [キャンセル] アイコン



→ 表示項目が変更されました

6. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

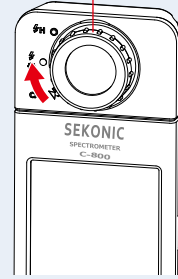
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(▶P101、▶P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

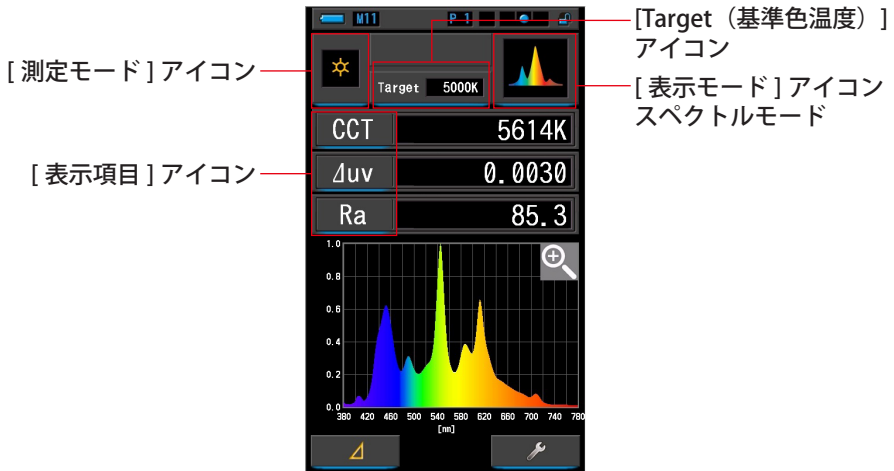
7. 測定内容をメモリーする

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(▶P108)

4-4-2 スペクトルで表示する [スペクトル] 画面

3 項目の測定値（選択可能）とスペクトル（分光分布）グラフを表示します。

スペクトル画面





操作


1. 表示モード選択画面の [スペクトル] アイコンをタッチします。
スペクトル（分光分布）グラフ画面が表示されます。（⇒P30）
2. [測定モード] アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。（⇒P22）
3. [Target（基準色温度）] アイコンをタッチします。
Target（基準色温度）入力画面が表示されます。（⇒P26）
色温度を設定します。
4. [表示項目] アイコンをタッチします。
表示項目選択画面が表示されます。（⇒P35）
[表示項目] をタッチして、項目を選択します。

5. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL ()

またはレンジH () を選択します。

(⇒P101、⇒P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



ご参考

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

6. 画面内の [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

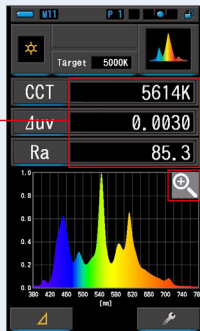
スペクトル（分光分布）グラフを拡大表示します。

拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

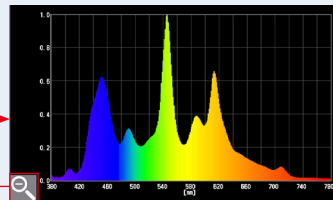
スペクトル（分光分布）グラフ（拡大）の [虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、スペクトル画面に戻ります。

スペクトル画面

測定内容が
表示されま
した



スペクトル（分光分布）グラフ 拡大表示



ご注意

グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。



ご参考

本体設定の [カスタマイズする] の 2 ページ目：項目 [スペクトル Y 軸スケール] アイコンで、Y 軸の最大表示値が選択できます。(⇒P143)

7. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(⇒P108)

4-4-3 スペクトル比較で表示する [スペクトル比較] 画面

現在の測定値と、2点までのメモリーした値をスペクトルグラフ上に黄・赤の曲線で表示し比較します。

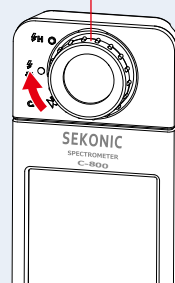
スペクトル比較画面



操作

- 表示モード選択画面の[スペクトル比較]アイコンをタッチします。
スペクトル比較画面が表示されます。(⇒P30)
- [測定モード]アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P22)
- 測定ボタン⑤を押して測定します。
光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。
フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。
(⇒P101、⇒P103)
測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

4. 現在の測定値は測定値表示分の一番上と虹色のスペクトルグラフで表示されます。

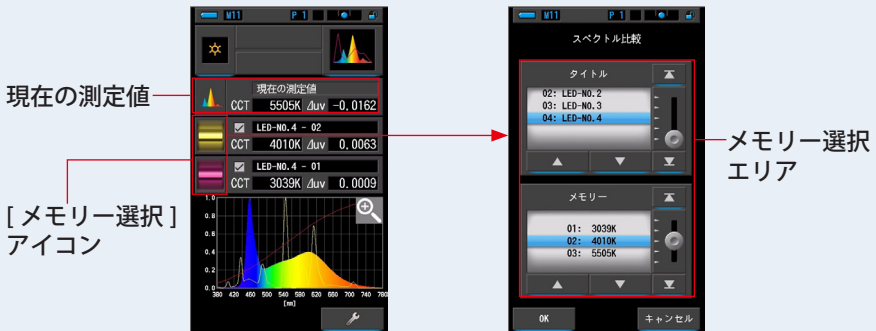
測定されている値はグラフで表示されます。

5. [メモリー選択]アイコンをタッチします。

[スペクトル比較メモリーリコール]画面が表示されます。

スペクトル比較画面

スペクトル比較メモリーリコール画面



メモリーに登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる]アイコンをタッチしてください。スペクトル比較画面に戻ります。

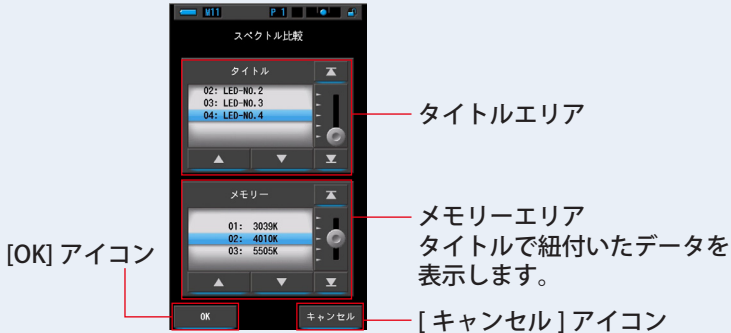
データをメモリー後、再度選択してください。

6. スペクトル比較するメモリーデータを選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

スペクトル比較メモリーリコール画面



7. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定してスペクトル比較画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

8. スペクトル比較画面に、選択されたメモリーのタイトルと測定値を表示します。

メモリーのタイトル表示

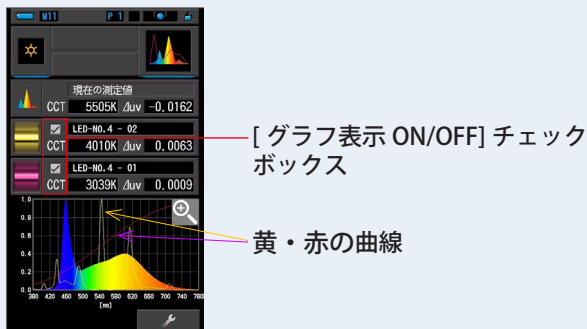


9. スペクトルグラフ上に黄・赤の曲線で表示します。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。

※表示のときに☑します。表示させないときは□にします。

スペクトル比較画面



10. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

スペクトル比較（分光分布）グラフを拡大表示します。

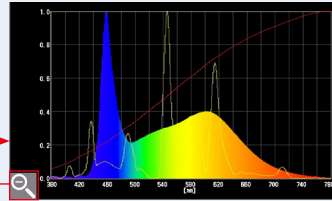
拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

スペクトル比較（分光分布）グラフ（拡大）の[虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、スペクトル比較画面に戻ります。

スペクトル比較画面




スペクトル比較（分光分布）グラフ
拡大表示




⚠️ ご注意

グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

📖 ご参考

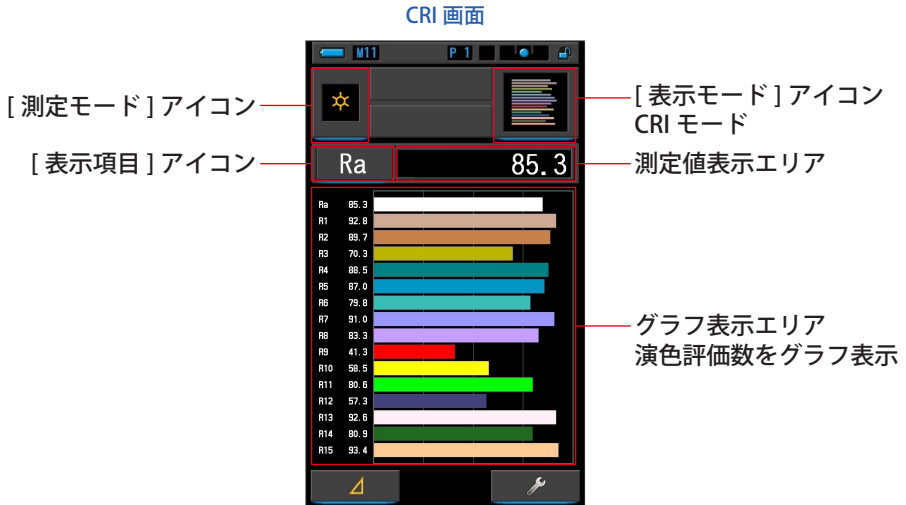
- 本体設定の[カスタマイズする]の2ページ目:項目[スペクトルY軸スケール]アイコンで、Y軸の最大表示値を選択できます。(➡P143)
- スペクトル比較モードではプリセット選択中であってもモニターモード設定ボタン[]は非表示となります。

11. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン  を押してください。(➡P108)

4-4-4 演色評価数で表示する [CRI] 画面

選択した平均演色評価数 (Ra) または個々の演色評価数 (R1 ~ R15) を表示します。また各演色評価数もグラフで表示します。



操作

1. 表示モード選択画面の [CRI] アイコンをタッチします。


CRI 画面が表示されます。(⇒P30)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P22)

3. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

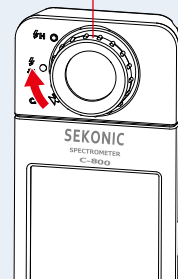
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(⇒P101、⇒P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

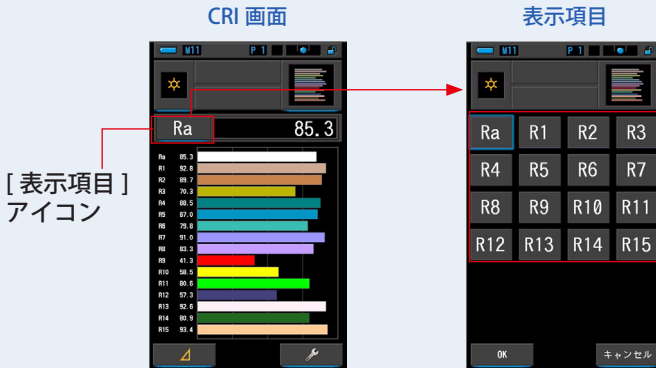


ご参考

- グラフ表示エリア Ra、R1～R15 は常時表示されています。
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- Ra は R1 から R8 の平均値であり、R9 から R15 は含みません。

4. [表示項目] アイコンをタッチします。

表示項目が表示されます。



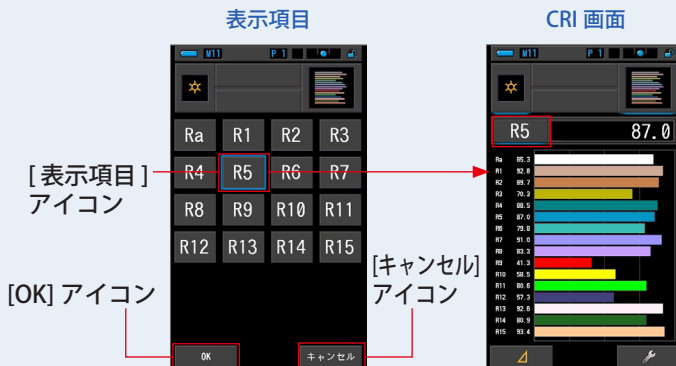
5. 表示する項目アイコンをタッチします。

グラフの上部に表示したい項目を選択します。
選択されたアイコンは、青枠表示されます。


6. [OK] アイコンをタッチします。

[OK] アイコンで、CRI 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、表示項目は変更せずに、CRI 画面に戻ります。



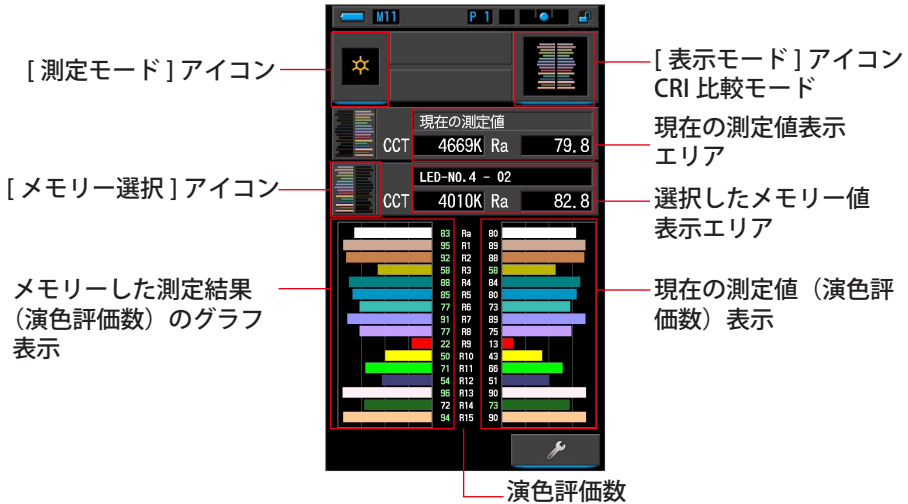
7. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン  を押してください。(→P108)

4-4-5 演色評価比較で表示する [CRI 比較] 画面

現在の測定値と、メモリーした値の色温度および平均演色評価数 (Ra) を表示します。また個々の演色評価数 (R1~R15) もグラフで表示し比較します。

CRI 比較画面



操作

1. 表示モード選択画面の [CRI 比較] アイコンをタッチします。


CRI 比較画面が表示されます。(⇒P30)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P22)

3. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

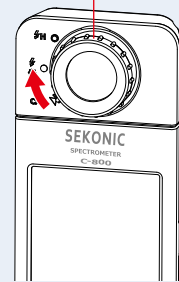
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(⇒P101、⇒P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



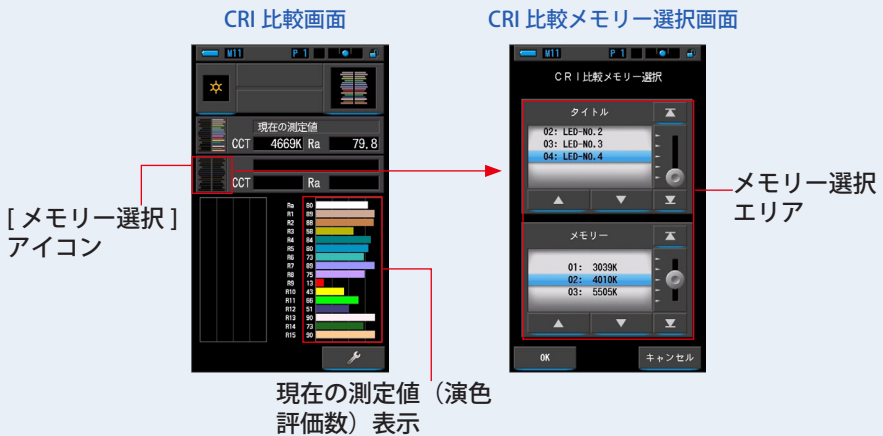
ご参考

- グラフ表示エリア Ra、R1～R15 は常時表示されています。
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- Ra は R1 から R8 の平均値であり、R9 から R15 は含みません。

4. 現在の測定値は画面右側にグラフで表示されます。

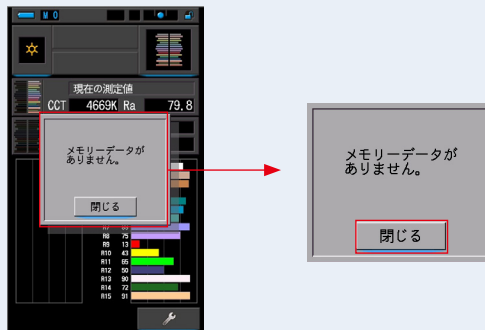
5. [メモリー選択] アイコンをタッチします。

[CRI 比較メモリー選択] 画面が表示されます。



メモリーにデータが登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる] アイコンをタッチしてください。CRI 比較画面に戻ります。

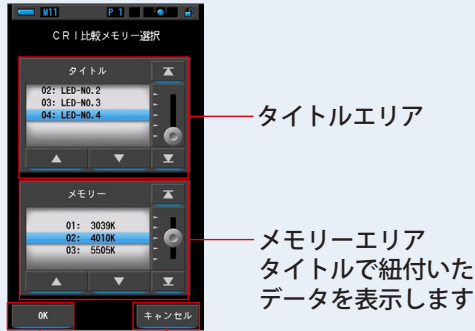
データをメモリー後、再度選択してください。

6. 比較するメモリー値を選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。
比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

CRI 比較メモリー選択画面



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

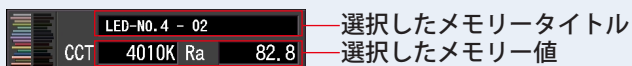
7. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して CRI 比較画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

8. CRI 比較画面に、選択されたメモリーのタイトルと測定値を表示します。

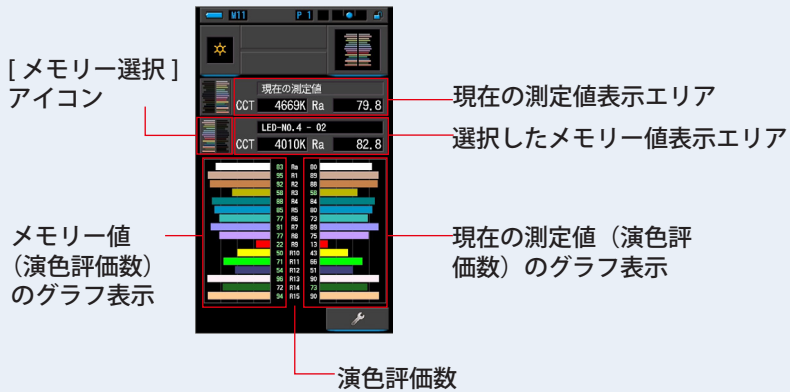
メモリー表示



9. CRI 比較画面に選択したメモリー値とグラフを表示します。

現在の測定値は画面右側に表示され、メモリー値は画面左側に表示されます。

CRI 比較画面



10. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(➡P108)

4-4-6 TM-30 の評価指数で表示する [TM-30] 画面

4 項目の測定値 (Rf、Rg、CCT、 Δuv) と、カラーベクトルグラフィックを表示します。
(→P187)

最新ファームウェアの C-800 では TM-30-18 が表示されます。

TM-30 画面



操作

1. 表示モード選択画面の [TM-30] アイコンをタッチします。

TM-30 画面が表示されます。(→P30)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(→P22)

3. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

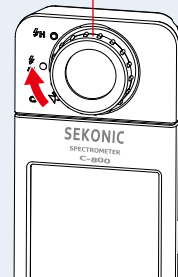
定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。

(→P101、→P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

4. 現在の測定値とカラーベクトルグラフィックで表示されます。

測定値の表示項目は Rf、Rg、CCT、 Δuv です。

カラーベクトルグラフィックは色相と彩度のずれ量を色相毎に 16 分割したデータで視覚的に分かりやすく表示したものです。

測定値は赤の実線で表示されます。

基準光源は黒の円で表示され、測定値との差を矢印で表示します。

白色の円は Rg80、90、110、120 に相当する円となります。

1～16 の数字は色相環を 22.5° 毎に 16 分割したデータの番号で、1 の赤（相当）から 16 の赤紫（相当）まで割り振っています。

TM-30 画面



カラーベクトル
グラフィック表示

5. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン **7** を押してください。（▶P108）

4-4-7 SSI の評価指数で表示する [SSI] 画面

現在の測定値と2点までの参照光源（色温度と Δuv ）を比較し、SSI 評価指数と SSI スペクトルグラフで表示します。参照光源は、基準光源の選択、色温度の入力、メモリー値の3種類から選択可能です。（⇒P187）

SSI 画面



操作

1. 表示モード選択画面の [SSI] アイコンをタッチします。


SSI 画面が表示されます。（⇒P30）

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。（⇒P22）

3. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

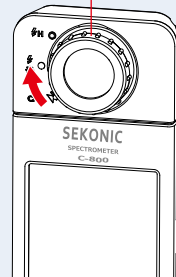
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

（⇒P101、⇒P103）

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

4. 現在の測定値は数値とグラフで表示されます。

5. [SSI 参照光源の選択] アイコンをタッチします。

[SSI 参照光源の選択] 画面が表示されます。

SSI 画面

SSI 参照光源の選択画面



現在の測定値 (SSI)
グラフ表示

6. [SSI 参照光源の選択] には、3 種類の方法があります。

「SSI 基準光源選択」「SSI 色温度入力」「SSI メモリー選択」の 3 種類から比較したい項目を選択します。

SSI 基準光源選択画面

SSI 色温度入力画面

SSI メモリー選択画面



【基準光源の選択】

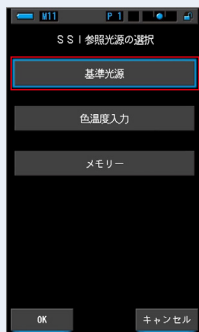
参照光源として基準光源から選択することができます。

SSIの基準光源である「タングステン光 3200K」、補助イルミネント「CIE D55」があり、その他に標準イルミネントとして「CIE A(2856K)」と「CIE D65」、補助イルミネントとして「CIE D50」と「CIE D75」が登録されています。

1. SSI 参照光源の選択画面の「基準光源」をタッチします。

SSI 基準光源選択画面が表示されます。

SSI 参照光源の選択画面



SSI 基準光源選択画面



基準光源エリア

2. 比較する基準光源を選択します。

選択する基準光源を青色背景位置に合わせます。

SSI 基準光源選択画面



選択された基準光源

[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して SSI 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

4. 選択された基準光源が SSI 画面の参照光源表示エリアに表示されます。

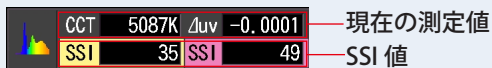
参照光源は、2 つまで設定することができます。

参照光源表示エリア



5. 参照光源に対する現在の測定値の SSI 値を表示します。

現在の測定値表示

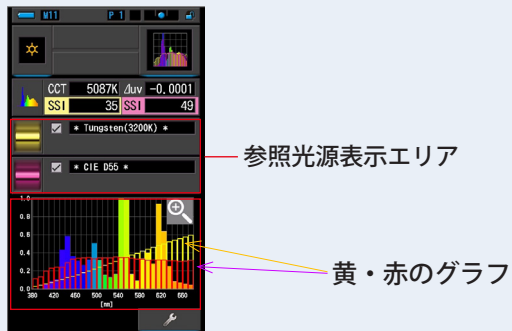


6. SSI スペクトルグラフ上に黄・赤のグラフで表示します。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。

※表示のときに☑します。表示させないときは☐にします。

SSI 画面



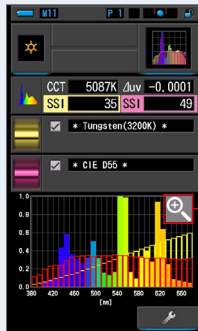
7. [虫メガネ (+)]アイコンをタッチします。

SSI グラフを拡大表示します。

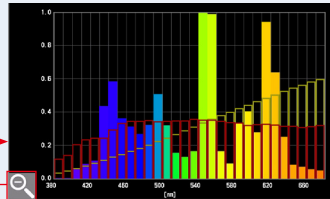
拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

SSI グラフ（拡大）の[虫メガネ (-)]アイコンをタッチすると、SSI 比較画面に戻ります。

SSI 画面



SSI グラフ拡大表示



グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

8. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(➡P108)

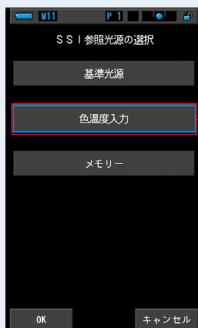
[色温度入力]

2500K ~ 7500K の範囲を 100K ステップで入力することができます。

1. SSI 参照光源の選択画面の「色温度入力」画面をタッチします。

SSI 色温度入力画面が表示されます。

SSI 参照光源の選択画面



SSI 色温度入力画面



2. 比較したい色温度の数値を入力します。

色温度表示部に、入力した数値が表示されます。

SSI 色温度入力画面



3. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して SSI 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。



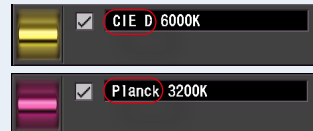
ご参考

選択された色温度により、光源の種類が変更されます。

2,500K ~ 4,900K の範囲は黒体放射での色温度となります。

5,000K ~ 7,500K の範囲は昼光イルミネラントでの色温度となります。

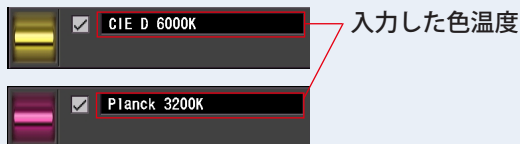
参照光源表示例



4. SSI 画面に、入力した色温度が表示されます。

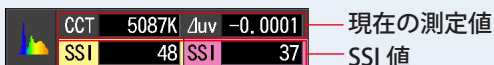
参照光源は、2 つまで設定することができます。

参照光源表示エリア



5. 現在の測定値と参照光源に対する SSI 値を表示します。

現在の測定値表示



6. スペクトルグラフ上に黄・赤のグラフで表示します。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。
※表示のときに☑します。表示させないときは□にします。

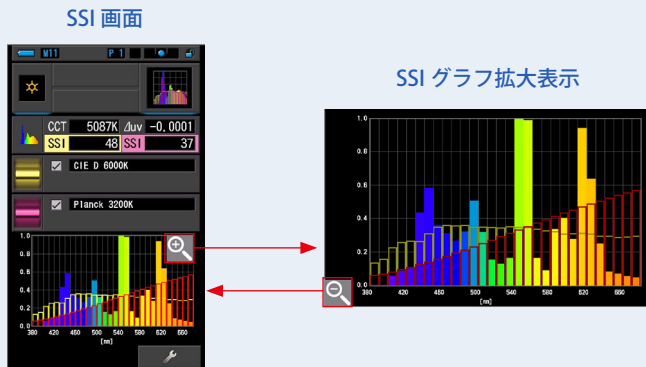


7. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

SSI グラフを拡大表示します。

拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

SSI グラフ（拡大）の[虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、SSI 比較画面に戻ります。



ご注意

グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

8. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(➡P108)

【メモリー光源の選択】

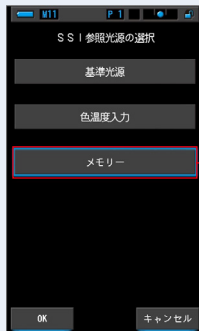
メモリーした測定値から参照光源を選択できます。

基準としたい光源をあらかじめメモリーしておく、メモリーされた光源に対して現在の測定値の質の違いを確認することができます。

1. SSI 参照光源の選択画面の「メモリー」をタッチします。

SSI メモリー選択画面が表示されます。

SSI 参照光源の選択画面



SSI メモリー選択画面



メモリー選択
エリア

2. 比較するメモリーデータを選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。

比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

SSI メモリー選択画面



タイトルエリア

メモリーエリア
タイトルで紐付いた
データを表示します

[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して SSI 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

4. SSI 画面に、選択されたメモリー値を表示します。

参照光源は、2 つまで設定することができます。

参照光源表示エリア



5. 現在の測定値と参照光源に対する SSI 値を表示します。

現在の測定値表示



6. スペクトルグラフ上に黄・赤のグラフで表示します。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。
※表示のときに します。表示させないときは にします。

SSI 画面



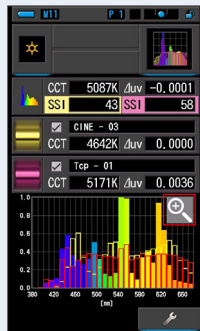
7. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

SSI グラフを拡大表示します。

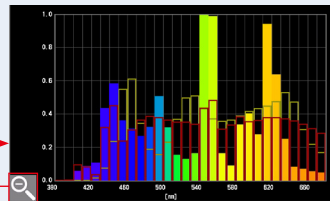
拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

SSI グラフ（拡大）の[虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、SSI 画面に戻ります。

SSI 画面



SSI グラフ拡大表示



ご注意
グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

8. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン **7** を押してください。(➡P108)

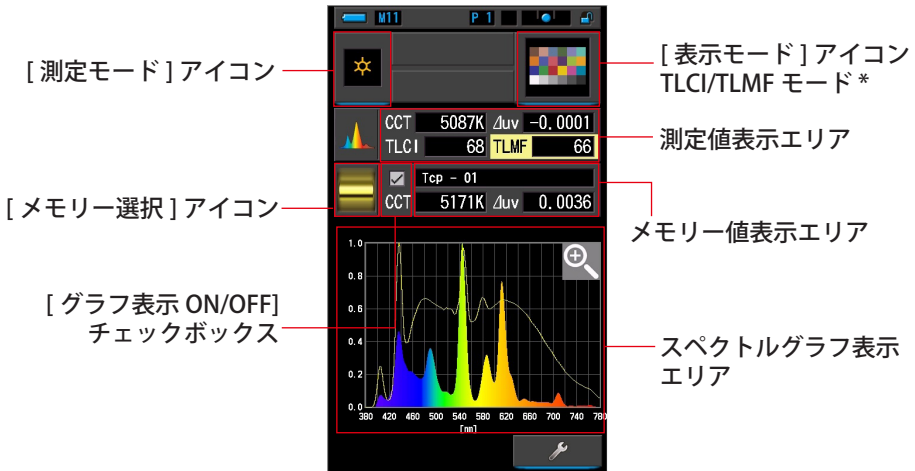
4-4-8 TLCI/TLMF の評価指数で表示する [TLCI/TLMF] 画面

測定値とメモリーした値（色温度および Δuv ）、TLCI と TLMF の測定値をスペクトルグラフと一緒に表示します。

TLCI は現在の測定値に対して表示される評価指数です。

TLMF は基準の光源（メモリーした値）との比較を指数で表示します。（▶P187）

TLCI/TLMF 画面



* X-Rite 社のカラーチェッカーが TLCI/TLMF モードのアイコンに使われています。

操作

1. 表示モード選択画面の [TLCI/TLMF] アイコンをタッチします。


TLCI/TLMF 画面が表示されます。（▶P30）

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。（▶P22）

3. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンズを合わせてください。

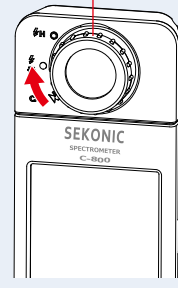
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(⇒P101、⇒P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

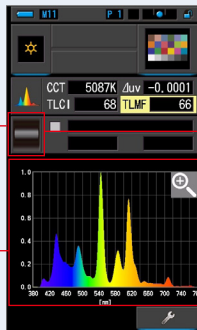
低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

4. 現在の測定値と、スペクトルグラフで表示されます。

5. [メモリー選択] アイコンをタッチします。

[TLCI/TLMF メモリー選択] 画面が表示されます。

TLCI/TLMF 画面



[メモリー選択]
アイコン

現在の測定値スペ
クトルグラフ表示

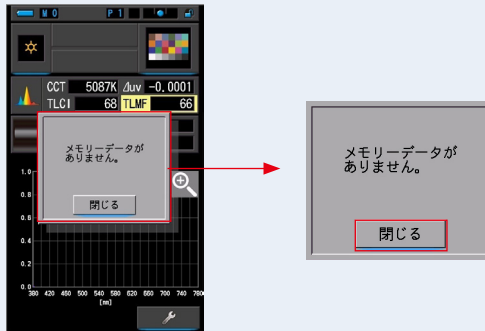
TLCI/TLMF メモリー選択画面



メモリー選択
エリア

メモリーにデータが登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる]アイコンをタッチしてください。TLCI/TLMF画面に戻ります。

データをメモリー後、再度選択してください。

6. TLCI/TLMF メモリー値を選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。表示するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

TLCI/TLMF メモリー選択画面



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

7. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して TLCI/TLMF 画面に戻ります。

[キャンセル]アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

8. TLCI/TLMF 画面に、選択されたメモリー値を表示します。

メモリー表示



9. 選択したメモリー値に対する TLMF 値を表示します。

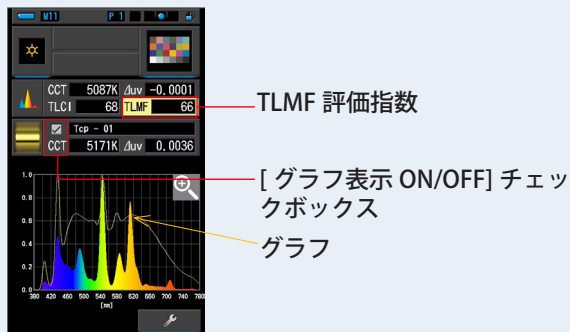
現在の測定値表示



10. スペクトルグラフ上にメモリー値をグラフ表示します（黄線）。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。
※表示のときに☑します。表示させないときは□にします。

TLCI/TLMF 画面

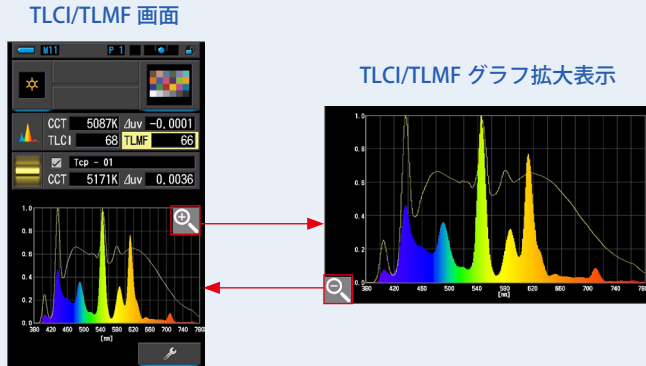


11. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

TLCI/TLMF グラフを拡大表示します。

拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

TLCI/TLMF グラフ（拡大）の [虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、TLCI/TLMF 画面に戻ります。



ご注意

グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

12. 測定内容をメモリーします。

現在の測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(➡P108)

4-4-9 フィルターで表示する [フィルター] 画面

設定した基準色温度と、測定値の差をカメラまたは照明に設定するフィルター名と補正量で表示します。

フィルター表示は[カメラフィルター]と[照明フィルター]を選択できます。

【照明フィルターの場合】

設定した基準色温度と測定値の差を照明に装着するフィルター名称と補正量を表示します。

照明フィルターブランドはこの画面または設定画面から選択できます。

(LEE、ROSCO CINEGEL と、ROSCO E-COLOUR+)



操作

1. 表示モード選択画面の[フィルター]アイコンをタッチします。

照明フィルターまたはカメラフィルター画面が表示されます。(➡P30)

2. フィルターの種類を設定します。

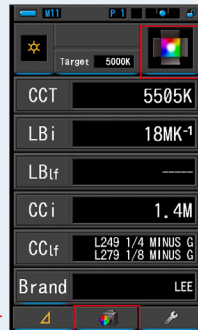
カメラフィルターと照明フィルターは [フィルター切り換え] アイコンをタッチすると画面を切り換えることができます。

フィルター画面がカメラフィルター画面のときは [フィルター切り換え] アイコンをタッチし、照明フィルター画面を表示してください。

カメラフィルター画面

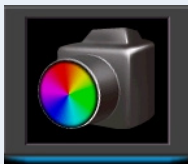


照明フィルター画面

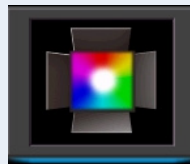


[フィルター切り換え]
アイコン

カメラフィルターモード



照明フィルターモード



3. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(➡P22)

4. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(➡P26)

色温度を設定します。

5. 項目の [Brand] アイコンをタッチします。

照明フィルターブランド選択画面が表示されます。

ご使用となる照明フィルターのブランドを選択します。

LEE、ROSCO CINEGEL または ROSCO E-COLOUR+ を選択できます。

メーターは両方の LB (CTO、CTB) および CC (プラス / マイナスグリーン) のブランドフィルター番号と一般的なフィルター値が表示されます。

照明フィルター画面

照明フィルターブランド選択画面



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン



ご参考

フィルターブランドの設定については本体設定の [カスタマイズする] の 1 ページ目：項目 [照明フィルターブランド] で照明フィルターのブランドを選択できます。(➡P137)


6. [OK] アイコンをタッチします。

[OK] アイコンでカメラフィルター画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、フィルターブランドは変更せずに、照明フィルター画面に戻ります。

7. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

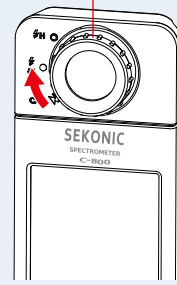
定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。

(➡P101、➡P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

**ご参考**

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

8. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン **7** を押してください。（▶P108）

**ご参考**

LBi（LB 指数補正量）は、基準色温度（Target）と実際の測定値の差分を補正量としてあらわします。CCi（CC 指数補正量）と CC#（CC フィルター番号）は、黒体放射に対してどれだけズレているかの補正量をあらわす数値です。従来機種 C-700 や C-500、その他の撮影用カラーメーターに搭載されていたフィルムモードでは、LBi、CCi や CC# の数値は、実際の照明フィルターやカメラフィルター（LBif：LB 照明フィルター、LBcf：LB カメラフィルター、または CCif：CC 照明フィルター、CCcf：CC カメラフィルター）と関連付けられていましたが、昨今の産業用のスペクトロメーターやデジタルモードでは、LBi、CCi や CC# の数値は、実際の照明フィルターやカメラフィルター（LBif、LBcf、CCif、CCcf）とは関連性がありません。（▶P188）

【カメラフィルターの場合】

設定した基準色温度と測定値の差をカメラのレンズに装着するフィルターの名称と補正量を表示します。

カメラフィルターブランドはこの画面または設定画面から選択できます。

(KODAK WRATTEN 2、FUJIFILM、LEE)



操作

1. 表示モード選択画面の [フィルター] アイコンをタッチします。

カメラフィルターまたは照明フィルター画面が表示されます。(➡P30)

2. フィルターの種類を設定します。

カメラフィルターと照明フィルターは [フィルター切り換え] アイコンをタッチすると画面を切り換えることができます。

フィルター画面が照明フィルター画面のときは [フィルター切り換え] アイコンをタッチし、カメラフィルター画面を表示してください。

照明フィルター画面

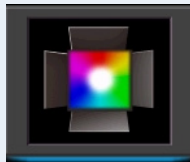


カメラフィルター画面

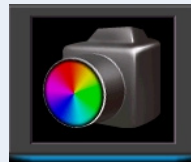


[フィルター切り換え]
アイコン

照明フィルターモード



カメラフィルターモード



3. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(➡P22)

4. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(➡P26)

色温度を設定します。

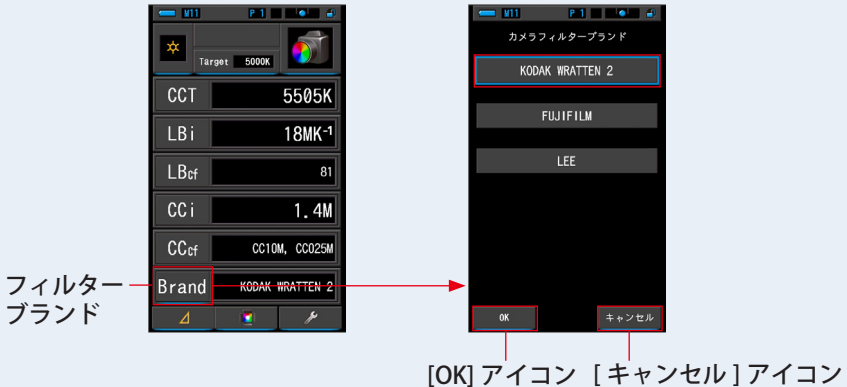
5. 項目の [Brand] アイコンをタッチします。

カメラフィルターブランド選択画面が表示されます。
ご使用となるカメラフィルターブランドを選択します。

カメラフィルターブランドは、コダックラッテン 2、富士フィルムまたは LEE を選択できます。

カメラフィルター画面

カメラフィルターブランド選択画面



ご参考

フィルターブランドの設定については本体設定の [カスタマイズする] の 1 ページ目：項目 [カメラフィルターブランド] でカメラフィルターのブランドを選択できます。(➡P135)


6. [OK] アイコンをタッチします。

[OK] アイコンで照明フィルター画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、フィルターブランドは変更せずに、カメラフィルター画面に戻ります。

7. 測定ボタン⑤を押して測定します。

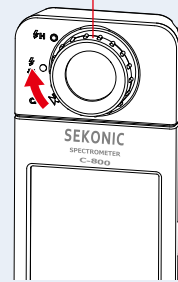
光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L () またはレンジ H () を選択します。
(➡P101、➡P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

**ご参考**

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

8. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン **7** を押してください。（▶P108）

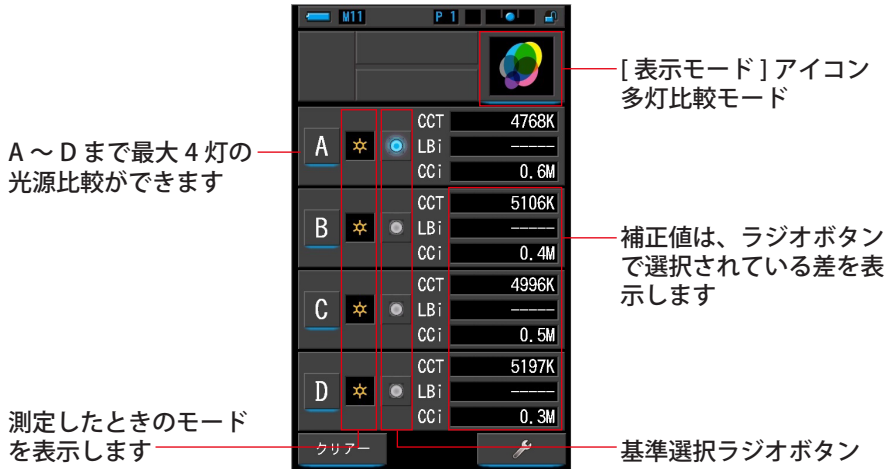
**ご参考**

LBi（LB 指数補正量）は、基準色温度（Target）と実際の測定値の差分を補正量としてあらわします。CCi（CC 指数補正量）と CC#（CC フィルター番号）は、黒体放射に対してどれだけズレているかの補正量をあらわす数値です。従来機種 C-700 や C-500、その他の撮影用カラーメーターに搭載されていたフィルムモードでは、LBi、CCi や CC# の数値は、実際の照明フィルターやカメラフィルター（LBif：LB 照明フィルター、LBcf：LB カメラフィルター、または CCif：CC 照明フィルター、CCcf：CC カメラフィルター）と関連付けられていましたが、昨今の産業用のスペクトロメーターやデジタルモードでは、LBi、CCi や CC# の数値は、実際の照明フィルターやカメラフィルター（LBif、LBcf、CCif、CCcf）とは関連性がありません。（▶P188）

4-4-10 光源を比較して表示する [多灯比較]画面

複数の光源を測定し、その中の一つの光源を基準として他の光源を合わせる場合に使用します。

多灯比較画面



操作

1. 表示モード選択画面の [多灯比較] アイコンをタッチします。

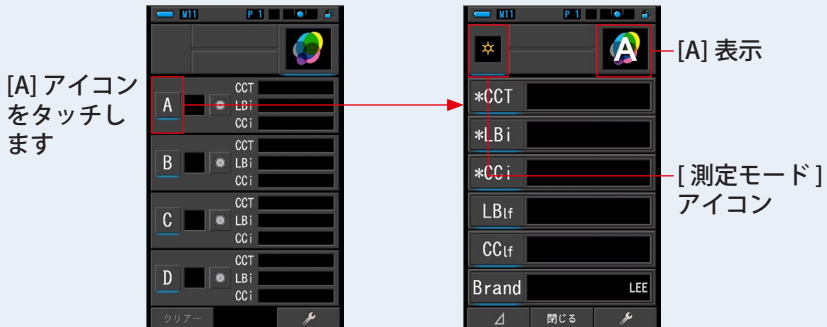
多灯比較画面が表示されます。(⇒ P30)

2. [A] アイコンをタッチします。

[A] の測定画面が表示されます。


多灯比較画面


多灯比較の測定画面 [A]



3. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンズを合わせてください。

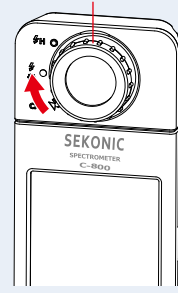
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH  () を選択します。

(⇒P101、⇒P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

多灯比較の測定結果画面

	U11	P 1	
			
	*CCT	4768K	
	*LBi	----	
	*CCi	0.6M	
フィルター 名称	LBIf	L218 1/8 CTB	
	CCIf	L279 1/8 MINUS G	
フィルター ブランド	Brand	LEE	
		閉じる	 [閉じる]アイコン



ご参考

- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- 多灯比較の測定画面で測定した値をメモリー保存することができます。

4. 多灯比較の測定画面の [項目] アイコンをタッチします。

多灯比較の表示項目が表示されます。
選択されたアイコンは青枠表示されます。



5. ご使用になる表示項目を選択し、[OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、多灯比較の測定画面に戻ります。

内容を変更せず、多灯比較の測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

*で表示された3つの項目は、多灯比較画面に表示されます。





ご参考

- CCi** CC 指数は、黒体放射軌跡からの差分を指数で表示します。
- ΔCi** ΔCC 指数は、基準になる光源の CC 指数から他の測定した光源の CC 指数の差分を指数で表示します。
- CC#** CC フィルター番号は黒体放射軌跡からの差分をフィルター番号で表示します。
- ΔCC#** ΔCC フィルター番号は基準になる光源の ΔCC# フィルター番号から他の測定した ΔCC# フィルター番号の差分を表示します。
基準とした光源に CC 補正フィルターでの補正ができない場合（例えば天井に付けられた蛍光灯など）、他の光源を基準になる光源に合わせるのに便利です。
- LBIf** LB 照明フィルターは設定された色温度（黒体放射軌跡）からの差分を補正フィルター名で表示します。
- CCIf** CC 照明フィルターは、黒体放射軌跡からの差分を CC 補正フィルターの番号で表示します。
- ΔLIf** ΔLIf フィルターは基準になる光源の色温度と他の測定した補正フィルター名で表示します。
基準とした光源に LB フィルターでの補正ができない場合（例えば天井に付けられた蛍光灯など）、他の光源を基準になる光源に合わせるのに便利です。
- ΔCCf** ΔCC 照明フィルターは、基準になる光源の CC 補正值から他の測定した光源の CC 補正值の差分をフィルターの番号で表示します。基準とした光源に CC 補正フィルターでの補正ができない場合（例えば天井に付けられた蛍光灯など）、他の光源を基準になる光源に合わせるのに便利です。



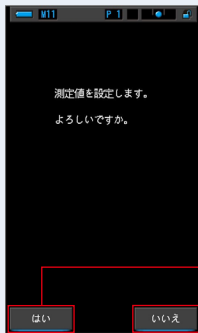
ご参考

LBi (LB 指数補正量) は、基準色温度 (Target) と実際の測定値の差分を補正量としてあらわします。CCi (CC 指数補正量) と CC# (CC フィルター番号) は、黒体放射に対してどれだけズレているかの補正量をあらわす数値です。従来機種種の C-700 や C-500、その他の撮影用カラーメーターに搭載されていたフィルムモードでは、LBi、CCi や CC# の数値は、実際の照明フィルターやカメラフィルター (LBIf: LB 照明フィルター、LBcf: LB カメラフィルター、または CCIf: CC 照明フィルター、CCcf: CC カメラフィルター) と関連付けられていましたが、昨今の産業用のスペクトロメーターやデジタルモードでは、LBi、CCi や CC# の数値は、実際の照明フィルターやカメラフィルター (LBIf、LBcf、CCIf、CCcf) とは関連性がありません。(▶P188)

6. 測定画面 [A] の [閉じる] アイコンをタッチします。

「測定値を設定します。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

メッセージ確認画面



[はい] アイコン

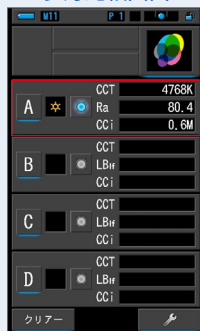
[いいえ] アイコン

7. [はい] アイコンをタッチします。

多灯比較画面に戻ります。(光源 [A] に測定内容が反映されます)

内容を反映せず、多灯比較画面に戻る場合は、[いいえ] アイコンをタッチします。

多灯比較画面



測定内容が反映されました

8. [A] アイコンと同様にその他の光源を測定します。

A～Dまでの最大4灯の光源比較ができます。



ご参考

- 測定した内容を確認するときは、A～Dアイコンをタッチしてください。測定内容を確認できます。
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- 多灯比較の測定画面で測定した値をメモリー保存することができます。

9. 基準とする光源のラジオボタンにタッチします。

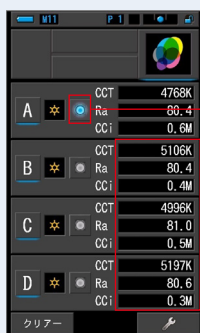
(●：選択状態、○：非選択状態)

ラジオボタンで選択した任意の光源に対するそれぞれの光源の補正値が表示されます。補正値は項目選択画面で選択された値で表示されます。

LB/CC 指数もしくは LB/CC 照明フィルターを選択しても選択した基準光源は「----」が表示されます。

また、基準光源に対する指示値に差がない場合も「----」が表示されます。

多灯比較画面



基準選択ラジオボタン
選択状態

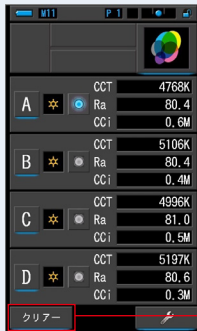
補正量表示


 ご参考

測定した内容をクリアし、最初から測定しなおす場合は、[クリア]アイコンをタッチします。

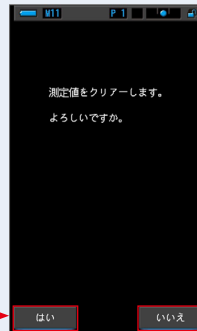
多灯比較クリア確認画面を表示します。

多灯比較画面



[クリア]アイコン

クリア確認画面



[はい]アイコン [いいえ]アイコン

[はい]アイコンをタッチします。

全て (A～D) のメモリーを削除して多灯比較画面に戻ります。

[いいえ]アイコンをタッチすると削除せずに多灯比較画面に戻ります。

4-4-11 ホワイトバランスグラフで表示する [WB 補正] 画面

測定値と基準色温度の差をホワイトバランスのグラフ上で表示します。



ご参考

本体設定の[カスタマイズする]の1ページ目:項目[ホワイトバランスステップ]で1マスあたりの数値が変更できます。ご使用となるカメラの数値に合わせてください。(➡P139)

操作

1. 表示モード選択画面の[WB 補正]アイコンをタッチします。

WB 補正画面が表示されます。(➡P30)

2. [測定モード]アイコンをタッチします。


測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(➡P22)

3. [Target (基準色温度)]アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 入力画面が表示されます。(➡P26)
色温度を設定します。

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンズを合わせてください。

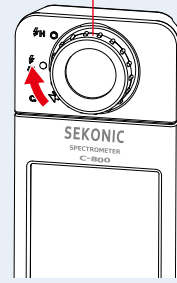
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(⇒P101、⇒P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



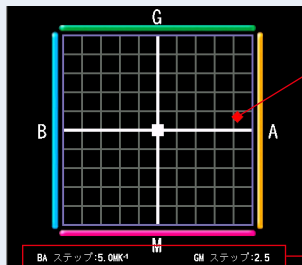
測定ボタン⑤



ご参考

低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

5. 赤い点が基準に対する補正量を示しています。



補正量を表示

1マスあたりの数値を表示

6. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(⇒P108)

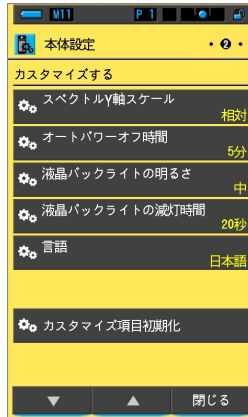
4-4-12 本体設定を表示する [本体設定]画面

本体の設定内容を表示します。ご使用方法に合わせて内容を変更することもできます。本体設定の設定方法や仕様の詳細については、「7-1-1 項目一覧」を参照してください。(⇒P127)

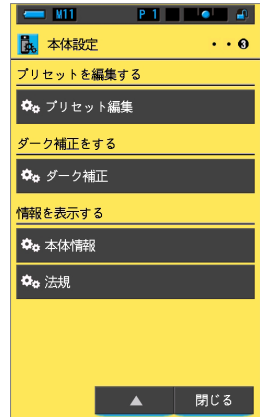
本体設定画面
1 ページ



本体設定画面
2 ページ

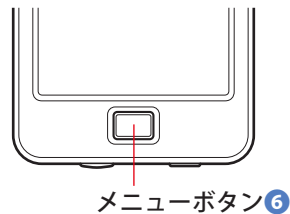


本体設定画面
3 ページ



ご参考

測定画面を表示中でも、本体のメニューボタン⑥を押すと、操作中の設定を中断して表示モード選択画面に移ります。



操作

1. 表示モード選択画面の[本体設定]アイコンをタッチします。

本体設定画面が表示されます。

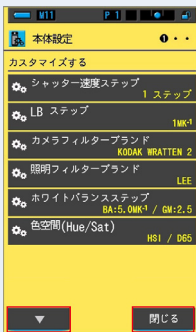
表示モード選択画面



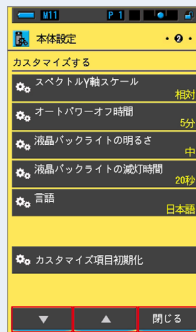
本体設定画面 1 ページ



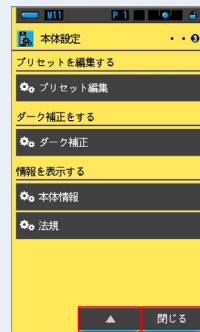
2. 本体設定は項目（白文字）と設定内容（黄文字）が表示されています。各項目にタッチすると設定を変更できます。

本体設定画面
1 ページ

2 ページへ

本体設定画面
2 ページ

3 ページへ 1 ページへ

本体設定画面
3 ページ

2 ページへ

[閉じる] アイコン

[閉じる] アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。本体設定の設定方法や仕様の詳細については、「7-1-1 項目一覧」を参照してください。(➡P127)

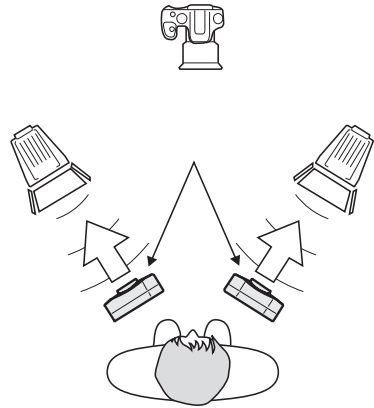
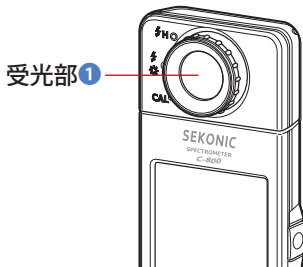
5. 光源を測定する [測定画面]

5-1 測定方法

5-1-1 光源の色温度を合わせる場合

複数の光源を使用した撮影の場合は、光源ごとの色温度のバランスを合わせてから撮影することが重要です。色温度の違う光源を左右に配置して撮影すると、被写体の左右で色味が違ってしまいます。

光源の色温度を正しく測る場合は、受光部①を光源に向けて測定してください。



⚠️ ご注意

- 光源の色を正しく測定するために、色のついた物体からの反射光や他の光源が受光部①に入らないように注意してください。
- 精度に影響を与える恐れがありますので、受光部①の白色板には傷や汚れを付けないように扱ってください。受光部①が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。
- フラッシュ光等の強い光に敏感な方（光線過敏）で、光が原因で体に異常を感じる体質の人がいます。症状悪化の原因となることがありますので、測定時に周囲に人がいる場合にはご注意ください。

5-2 定常光モードでの測定

自然光（太陽光）やLED・タングステンランプ・蛍光灯のような連続光は、定常光モードで測定を行います。

警告

測定時に、太陽やその他の強い光線を直視しないようご注意ください。目に重傷を負ったり失明に至る場合もあります。

操作

1. 測定画面で[測定モード]アイコンの[定常光モード]アイコンをタッチします。

測定モードを選択します。(⇒ P22)



2. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

Target (基準色温度) 画面が表示されます。(▶P26)
色温度を設定します。




ご参考

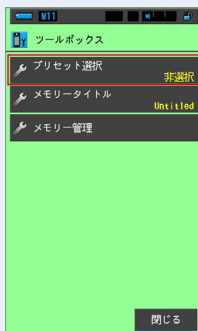
LB 指数 / フィルター、CC / フィルターをお使いにならない方は基準色温度の設定を省略することができます。
「スペクトル比較」「CRI」「CRI 比較」「SSI」「TLCI/TLMF」「多灯比較」モードでは基準色温度の設定はできません。



ご参考

必要があれば、ツールボックス () のプリセットの選択より、あらかじめ設定してあるプリセットを呼び出して設定することができます。(▶P155)

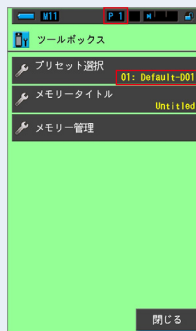
ツールボックス画面



プリセット選択画面



ツールボックス画面





選択した箇所は青色
背景表示されます

設定されている内容がアイコンの
右下に黄色文字で表示されます

プリセット登録していないときは、ツールボックスの [プリセット選択] アイコンをタッチしても、選択できません。
必要がなければ省略できます。

3. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、必ずレンジL ( ) を選択してください。

光量切り換えリング②

レンジL



測定ボタン⑤

4. 測定ボタン⑤を押します。

測定が開始され、指示値が表示されます。
ボタンを押している間は連続的に測定が行われます。
ボタンを放すと測定を終了し、放した時点の指示値が表示されます。



ご参考

- 本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。
この場合は明るさ、または色温度を調整してください。
- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

定常光モードでの測定が完了しました。

5-3 フラッシュ光コードレスモードでの測定

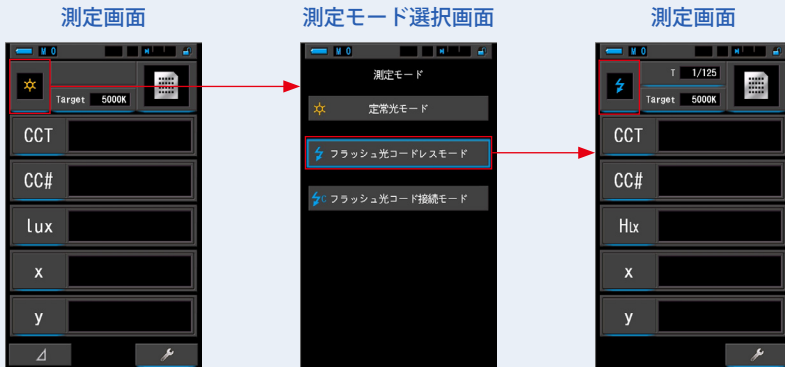
一般的にフラッシュと本機に距離がありシンクロコードが届かない場合や、シンクロコードを使用せずにフラッシュ光を測定したい場合に使用します。

この測定モードは、本機を測定待機状態（90秒間）にセットし、この間にフラッシュを発光させて測定します。

操作

1. 測定画面で[測定モード]アイコンの[フラッシュ光コードレスモード]アイコンをタッチします。

測定モードを選択します。(⇒P22)



2. [Target (基準色温度)]アイコンをタッチします。

Target (基準色温度)画面が表示されます。(⇒P26)

色温度を設定します。



 **ご参考**

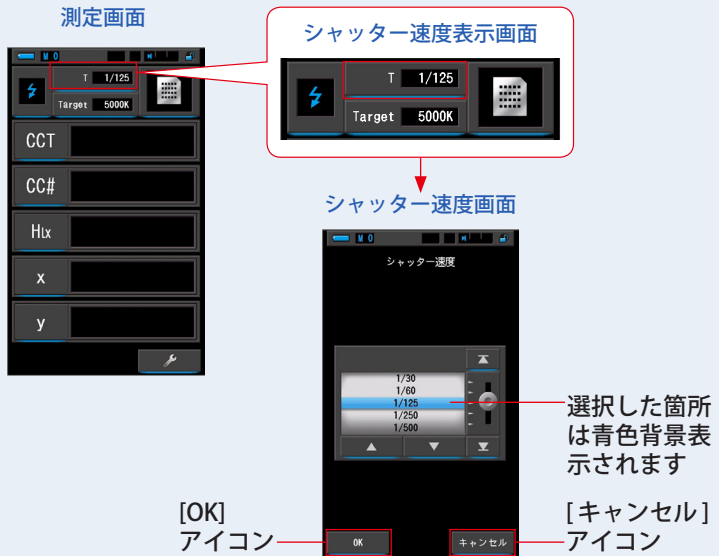
LB 指数 / フィルター、CC / フィルターをお使いにならない方は基準色温度の設定を省略することができます。

「スペクトル比較」「CRI」「CRI 比較」「SSI」「TLCI/TLMF」「多灯比較」モードでは基準色温度の設定はできません。

3. 測定画面の、[シャッター速度]アイコンをタッチします。

測定に使用するシャッター速度を設定します。(⇒ P24)






スライド操作で、設定したいシャッター速度を青色背景位置に合わせます。

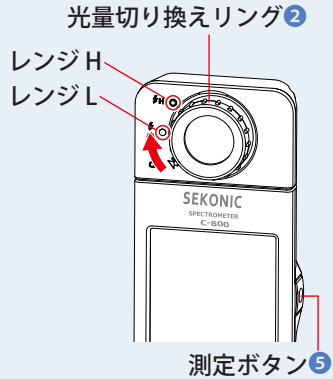


 **ご注意**






シャッター速度は、ご使用となる機器の同調範囲内で設定してください。

4. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、光量によってレンジL   () またはレンジH  H () を選択してください。



ご参考

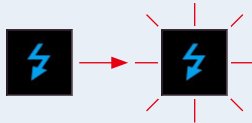
- レンジL   () : フラッシュ光量が小さい (~ 640 lx·s) ときに選択します。測光時、光量がオーバーのときは [Over] が表示されます。このときは、レンジをLからHに切り換えて使用します。
- レンジH  H () : フラッシュ光量が大きい (580 lx·s ~) ときに選択します。測光時、光量がアンダーのときは [Under] が表示されます。このときは、レンジをHからLに切り換えて使用します。

5. 測定ボタン⑤を押します。

測光待機状態になります。

アイコン点滅中にフラッシュ光を手動で発光させます。

測定中は、[測定モード]アイコンが90秒間点滅します。



測定待機中は測定に影響するため、LCDバックライトが暗くなります。故障ではありません。

フラッシュ光が発光されると、3秒間測定値を表示し、測定待機状態に戻ります。

待機状態を解除したい場合は、画面にタッチまたはメニューボタン⑥を押してください。



ご参考

フラッシュ光を発光する前にアイコンの点滅が終了したときや、もう一度測定をやり直したいときは、測定ボタン⑤を押してください。

フラッシュ光コードレスモードでの測定が完了しました。

注意

- フラッシュ発光部に皮膚や物を密着させての発光はしないでください。フラッシュ連続発光後、フラッシュ発光部に触らないでください。(火傷の恐れがあります。)
- フラッシュを人や動物の目に近づけて発光しないでください。(一時的に視力に影響を与える恐れがあります。)
- フラッシュが突然発光する場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。

ご注意

- フラッシュ光コードレスモードでは、測定待機中に液晶画面のバックライトは減灯し、測定後3秒間だけ液晶バックライトが点灯します。待機状態を解除したい場合は、画面にタッチまたはメニューボタン⑥を押してください。
- 下記の場合は、「5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定」で測定してください。(➡P94)
 - ・フラッシュを発光させても周囲光に比べてフラッシュの光量が少ない場合は、光を感じない時があります。
 - ・ラピッドスタート型蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの光をフラッシュ光として判別し、測定してしまうことがあります。
 - ・測定待機中にフラッシュを発光させなくても、受光部①に急激な光の変化が起きると測定してしまうことがあります。
 - ・フラッシュバルブ(閃光電球)は発光波形がなだらかなため、コードレス測定では光を感じません。

ご参考

- フラッシュ光コードレスモードを使用する場合、三脚固定ネジ穴⑩を利用して本体を三脚またはスタンドに固定し、測定を行うと便利です。
- 本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。この場合は明るさ、または色温度を調整するか、レンジを切り換えてください。(➡P101)

5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定

フラッシュとの同調を確実にやりたい場合やフラッシュバルブ（閃光電球）で発光する場合に使用します。

この測定モードは、フラッシュと本機をシンクロコード（別売り）で接続して測定を行います。

⚠ 注意

- 雨中、水しぶきがかかる場所や製品の水没、または水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。また、製品が故障する原因となる場合があります。
- 高電圧を使用したフラッシュを使用しての測定を行うとき、シンクロターミナル 12 の接触状態によって感電の危険があります。測定に使用する際のフラッシュの取扱いにも十分ご注意ください。

操作

1. 測定画面で[測定モード]アイコンの[フラッシュ光コード接続モード]アイコンをタッチします。

測定モードを選択します。(⇒ P22)



2. [Target (基準色温度)] アイコンをタッチします。

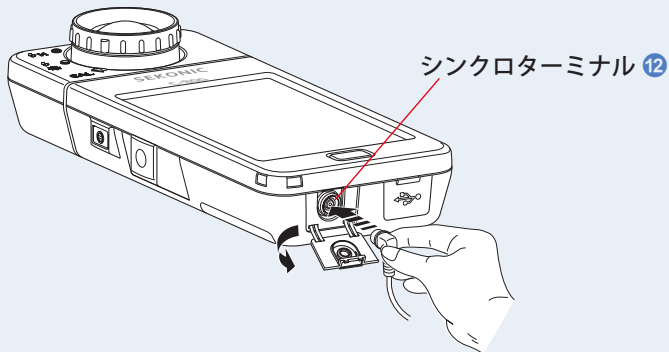
Target (基準色温度) 画面が表示されます。(▶P26)
色温度を設定します。



ご参考

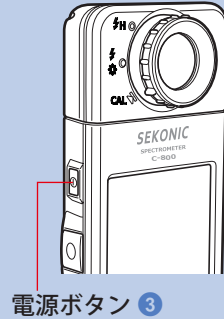
LB 指数 / フィルター、CC / フィルターをお使いにならない方は基準色温度の設定を省略することができます。
「スペクトル比較」「CRI」「CRI 比較」「SSI」「TLCI/TLMF」「多灯比較」モードでは基準色温度の設定はできません。

3. フラッシュのシンクロコード (別売り) を本機のシンクロターミナル 12 に接続します。



⚠ 注意

シンクロターミナル ⑫ にシンクロコードを接続したときや本機の電源ボタン ③ を操作した場合、フラッシュによっては発光してしまう場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。



4. 測定モード画面の、[シャッター速度]アイコンをタッチします。

測定に使用するシャッター速度を設定します。(⇒ P24)

スライド操作で、設定したいシャッター速度を青色背景位置に合わせます。

測定画面

シャッター速度表示画面

シャッター速度画面

選択した箇所は青色背景表示されます



[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン



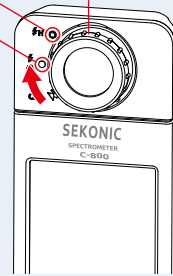
シャッター速度は、ご使用となる機器の同調範囲内で設定してください。

5. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、光量によってレンジL  またはレンジH  を選択してください。





光量切り換えリング **2**

レンジ H
レンジ L



測定ボタン **5**



- レンジ L  () : フラッシュ光量が小さい (~ 640 lx·s) ときに選択します。測光時、光量がオーバーのときは [Over] が表示されます。このときは、レンジを L から H に切り換えて使用します。
- レンジ H  () : フラッシュ光量が大きい (580 lx·s ~) ときに選択します。測光時、光量がアンダーのときは [Under] が表示されます。このときは、レンジを H から L に切り換えて使用します。

6. 測定ボタン **5** を押します。

測定が開始され、フラッシュが発光して指示値が表示されます。

測定中は測定に影響するため、LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

フラッシュ光コード接続モードでの測定が完了しました。

注意

- シンクローターミナル ⑫ にシンクロコードを接続したときや本機の電源ボタン ③ を操作した場合、フラッシュによっては発光してしまう場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。
- フラッシュ発光部に皮膚や物を密着させての発光はしないでください。フラッシュ連続発光後、フラッシュ発光部に触らないでください。(火傷の恐れがあります。)
- フラッシュを人や動物の目に近づけて発光しないでください。(一時的に視力に影響を与える恐れがあります。)
- フラッシュが突然発光する場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。

ご注意

- 極端にトリガ電圧が低いフラッシュ等では、発光しない場合があります。この場合は「5-3 フラッシュ光コードレスモードでの測定」で測定してください。(▶ P90)
- フラッシュバルブ (閃光電球) を発光させて測定するときは、同調範囲を確認してシャッター速度を設定してください。



ご参考

本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。

この場合は明るさ、または色温度を調整するか、レンジを切り換えてください。(▶ P101)

5-5 モニター機能（定常光モードのみ）

次の表示モードの全項目（フィルター名除く）において、モニター機能が使えます：テキスト、スペクトル、CRI、TM-30、フィルターおよびWB補正モード。

[差分測定]アイコン（）をタッチすると、[差分測定]アイコンが（）に変わります。

この表示になっているときは、測定ボタン⑤を押している間、基準値との差を表示します。

基準値とは、差分測定アイコンを押したときの測定値となります。

測定ボタン⑤を放したときは基準値が表示されます。

スペクトル、CRI、TM-30、WB補正モードのグラフはモニター機能の場合でも、基準値のみを表示します。

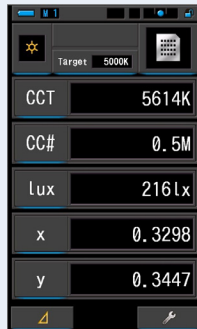


操作

1. 測定ボタン⑤を押して測定を開始します。

測定結果が表示されます。

測定画面




ご参考

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。



2. [差分測定] () アイコンをタッチします。

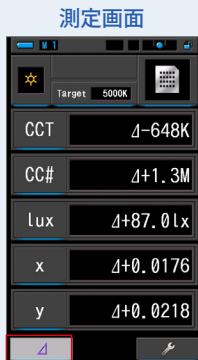
タッチする直前の測定結果が基準値となります。

[差分測定] () アイコンに換わります。



3. 測定ボタン を押します。


[差分測定] () アイコンを表示中は測定ボタン  を押している間、基準値との差を表示します。



4. 差分測定を終了します。




測定ボタン  を放すと、基準値を表示します。

5. [差分測定] () アイコンをタッチします。

[差分測定] () アイコンに換わります。



ご参考

- 測定前の[差分測定]アイコン() をタッチしても、差分測定はできません。
- [差分測定]アイコン () は電源を OFF すると解除されます。
- [差分測定]アイコンを表示中はメモリーボタン  は無効です。

5-6

[Over]、[Under]、[Filter N/A] または赤字表示のときは


[Over] または [Under] が表示しているときは、光源の色温度が測定範囲外です。
[Filter N/A] が表示しているときは、表示範囲外です。

5-6-1

[Over]、[Under]、[Filter N/A] または赤字表示

[Over] が表示された場合：


フラッシュ光測定時に指示値が本機の測定範囲の上限を超えた場合は、[Over] が表示されます。

光量切り換えリング ② を回して、レンジを H H () に合わせても [Over] が表示される場合は、測定範囲外です。この場合はフラッシュの光量を調節（光量を小さく）して再測定してください。

[Under] が表示された場合：

定常光およびフラッシュ光測定時に指示値が本機の測定範囲の下限を超えた場合は、[Under] が表示されます。

定常光測定の場合は、光源に近づいて再測定してください。

フラッシュ光測定時の場合は、光量切り換えリング ② を回して、レンジを L L () に合わせても [Under] が表示される場合は、測定範囲外です。

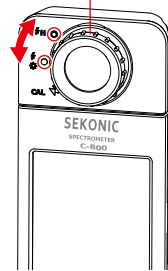
この場合はフラッシュの光量を調節（光量を大きく）して再測定してください。または光源に近づいて再測定してください。

[Filter N/A] が表示された場合：

主にフィルター番号表示部に、[Filter N/A] が表示される場合は、フィルタ番号の表示（組み合わせ）が表示範囲外です。

この場合は基準色温度などの設定値を変更して再測定してください。

光量切り換えリング ②



測定ボタン ⑤



ご参考

低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。








ご参考

本機が表示できる範囲：

撮影用途色温度	: 1,600 K ~ 40,000 K
LB 指数	: -500 ~ +500 MK ¹
LB フィルター番号	
カメラフィルター	
Kodak WRATTEN 2/LEE	: 80A+80B ~ 85B+85
FUJIFILM LBA/LBB	: LBB-20 + LBB-16 ~ LBA-20 + LBA-16
照明フィルター	
LEE	: L287 DOUBLE CTO + L204 FULL CTO ~ L200 DOUBLE CTB + L283 1.5 CTB
ROSCO CINEGEL	: R3420 DOUBLE CTO + R3407 FULL CTO ~ R3220 DOUBLE CTB + R3202 FULL CTB
ROSCO E-COLOUR+	: E287 DOUBLE CTO + E204 FULL CTO ~ E200 DOUBLE CTB + E283 1.5 CTB
CC 指数	: 80 G ~ 80 M
CC フィルター番号	: 200 G ~ 200 M
カメラフィルター	
Kodak WRATTEN 2/LEE	: CC50M + CC40M ~ CC50G + CC40G
FUJIFILM CC	: CC-50M + CC-40M ~ CC-50G + CC-40G
照明フィルター	
LEE	: L247 MINUS GREEN + L248 1/2 MINUS GREEN ~ L244 PLUS GREEN + L245 1/2 PLUS GREEN
ROSCO CINEGEL	: R3308 MINUS GREEN + R3309 3/4 MINUS GREEN ~ R3304 PLUS GREEN + R3315 1/2 PLUS GREEN
ROSCO E-COLOUR+	: E247 MINUS GREEN + E248 1/2 MINUS GREEN ~ E244 PLUS GREEN + E245 1/2 PLUS GREEN
照度 ルクス	: 1 lx ~ 200,000 lx
露光量 ルクス秒	: 20 lx・s ~ 20,500 lx・s

5-6-2 レンジを切り換える

フラッシュ光の強さ、定常光の輝線の強さに応じて、レンジを切り換えて使用します。

光量切り換えリング (ステータスバー表示)			内容
ダーク補正位置		CAL	測光時には、使用しません。 ダーク補正を行うときに選択します。
レンジ L			定常光測定の場合は、必ずレンジ L を選択します。フラッシュ光測定の場合は、光量が小さい ($\sim 640 \text{ lx}\cdot\text{s}$) ときに選択します。 定常光を測定する基準の選択です。
レンジ H			フラッシュ光測定の場合に、光量が多い ($580 \text{ lx}\cdot\text{s} \sim$) ときに選択します。 定常光測定では使用しません。

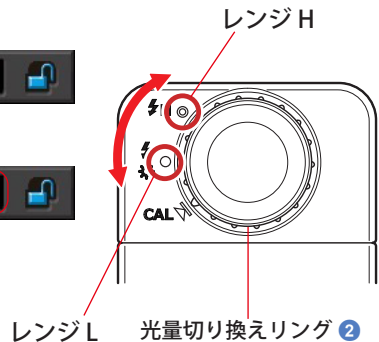
光量切り換えリング ② を回して目的のレンジを選択します。
設定されたレンジが液晶画面のステータスバーに表示されます。

ステータスバー

レンジ L の場合




レンジ H の場合



6. 測定のツール [ツールボックス]画面

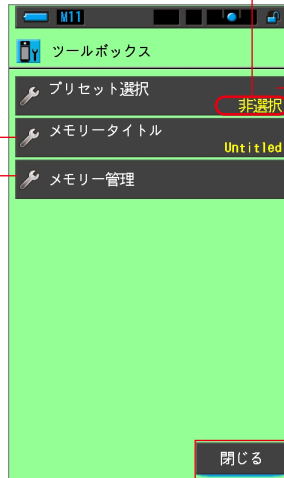
ツールボックスの画面切り換え

測定画面の[ツールボックス ()]アイコンをタッチすると、ツールボックス画面へ切り換わります。(⇒P15) ツールボックスからの画面切り換えは以下の通りです。

メモリータイトル
(⇒P109)



ツールボックス



設定されている内容が
ボタンの右下に黄文字
で表示されます。

プリセット選択
(⇒P105)



メモリー管理
(⇒P112)



[閉じる]アイコン
で[測定画面]
に戻ります

6-1 プリセット内容の設定 [プリセット選択]画面

撮影情景によって指示値通りのフィルター補正では正しい色再現ができない場合や、意図的に好みの色調で撮影したい場合、フィルターの指示値を補正することができます。このような場合、撮影意図に応じた補正値をプリセット値として設定しておくことにより、これらを反映した指示値を得ることができます。(▶P155)
また、複数の基準色温度を使う場合に、プリセット編集であらかじめ設定しておく、プリセット選択によって簡単に基準色温度を切り換えることができます。

プリセット選択画面



「本体設定」の「プリセット編集」であらかじめ「表示」に設定されているプリセットがリスト表示されます

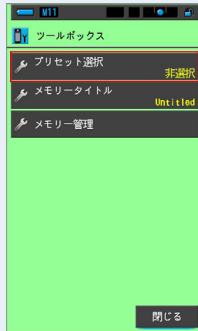
選択されているプリセットの補正量が表示されます

操作

1. ツールボックスの[プリセット選択]アイコンをタッチします。

プリセット選択画面が表示されます。

ツールボックス画面



プリセット選択画面



選択した箇所は青色背景表示されます

ご注意

プリセット選択画面を表示させるには、あらかじめ本体設定のプリセット編集にて「プリセット選択リスト表示」を「表示」にしておく必要があります。
 (▶ P155)
 「表示」と設定されているリストがない場合、プリセット選択のボタンは有効になりません。

2. 設定したいプリセット No. (01~19) を青色背景位置に合わせます。

あらかじめ登録してあるプリセットを選択できます。

プリセット選択画面



[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

ご注意

測定の際にプリセット値を使用しない場合は、プリセット No. を非選択にしてください。

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

ステータスバーに設定が反映されます。



選択したプリセット
番号が表示されます

プリセットが設定されました。



ご注意

プリセット機能で設定したプリセット色温度が、基準色温度よりも優先されます。

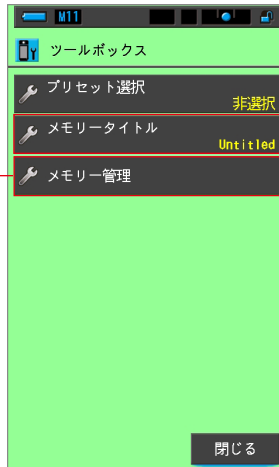
6-2 メモリー機能

メモリー機能は光源の測定データの一つまたはグループで保存し、いつでもリコールすることができます。99個の測定値が保存可能です。また、メモリータイトルに名前を付けたり、保存後にメモリータイトルの名前を変更をしたり、保存された値を削除できます。

メモリー管理画面



ツールボックス画面



メモリータイトル画面



リコール (テキスト) 画面



メモリー編集画面



メモリータイトル名を変更できます

メモリー値を削除します

6-2-1

メモリーした測定値にタイトルを付ける
[メモリータイトル]画面

あらかじめメモリータイトルをつけておくと、メモリーした測定値にタイトル（テキスト）をつけることができます。光源名や日時などを入れるとメモリーした値の管理に便利です。

この機能をご使用になるには、下記の順序で操作が必要です：

- メモリータイトルを入力する
- 光源を測定する
- メモリーボタン ⑦ を押す

メモリータイトル画面



初期設定名は「Untitled」となっています

 ご参考

- タイトルに入力可能な文字数は、英数字で最大 16 文字です。
- 一つのメモリータイトルに対し、複数のメモリー値を保存することができます。
- 登録可能な件数は、最大 99 件です。

操作

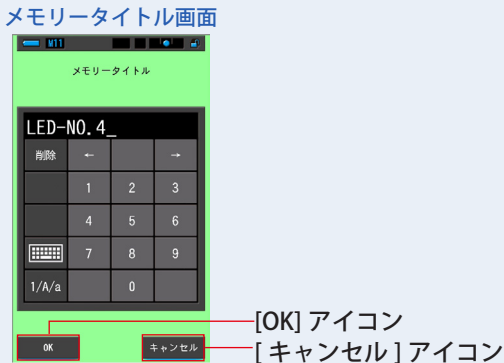
1. ツールボックスの[メモリータイトル]アイコンをタッチして選択します。

メモリータイトル画面が表示されます。



2. メモリータイトルを入力します。(⇒P18)

タイトルを決めて入力することができます。



3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

メモリータイトルが入力されました。





メモリータイトルは、メモリーする前に入力をする必要があります。
タイトルは、メモリーを記憶した後でも変更することができます。(⇒P117)

4. 光源を測定します。

測定ボタン **5** を押し、測定を行います。

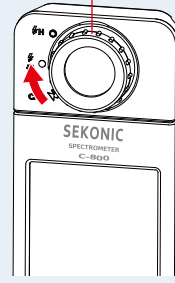
光量切り換えリング **2** を回してレンズを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ **L** () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ **L** () またはレンジ **H** () を選択します。

(⇒ P101、⇒ P103)

光量切り換えリング **2**

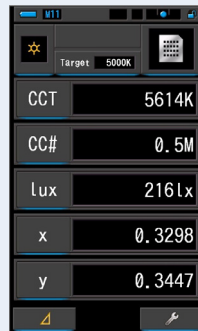


測定ボタン **5**

測定画面



測定 →



5. メモリーボタン **7** を押し、入力したメモリータイトルに紐づいて測定値がメモリーされます。

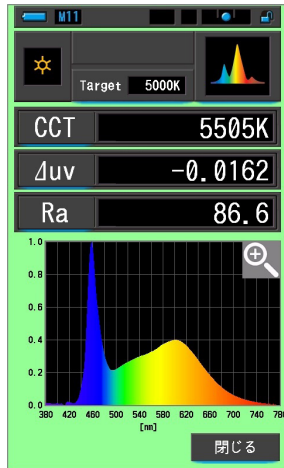


メモリーボタン **7**

6-2-2 測定結果を呼び出す [メモリーリコール]画面

メモリーされた測定値はメモリー管理アイコンをタッチすることで呼び出すことができます。メモリー管理画面のリコールで呼び出されたメモリー値は、任意の表示モードで再表示させることができます。

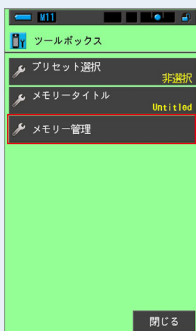
例) メモリーリコールモードスペクトル画面



操作

1. ツールボックスの [メモリー管理] アイコンをタッチします。
メモリー管理画面が表示されます。
2. 呼び出す「タイトル」と「メモリー」を背景青色位置に合わせます。
呼び出すメモリーを設定できます。

ツールボックス画面



メモリー管理画面



選択した箇所は背景青色表示されます

[リコール] アイコン

[閉じる] アイコン

3. [リコール]アイコンをタッチします。

内容が確定され、メモリーリコールモードで測定画面に移ります。

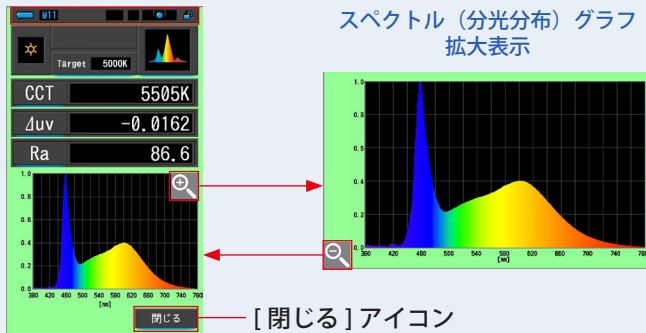
内容を変更せず、ツールボックス画面に戻る場合は、[閉じる]アイコンをタッチします。

4. メモリー内容を確認します。

メモリーリコールは、測定したときの表示モードで表示します。

メモリーリコールモードを表示中は、背景が緑色で表示されます。メモリーリコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り換わります。

例) メモリーリコールモード
 スペクトル画面



⚠️ ご注意

- [スペクトル比較]でメモリーした場合は、現在の測定値のみがメモリーされるため、メモリーリコールモードでは[スペクトル比較]画面は表示できません。[スペクトル]画面で表示します。
- メモリーリコールモードでは、測定できません。

5. [閉じる]アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。メモリー管理画面の[閉じる]アイコンをタッチするとツールボックス画面に戻ります。

メモリーリコールの表示モードを変更する

メモリーリコールモードで[表示モード]アイコンをタッチすると、メモリーリコール可能なアイコンが表示されます。各アイコンにタッチすると、指定した表示モード(メモリーリコールモード)で表示します。リコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り替わります。

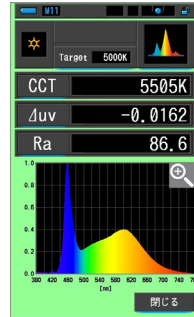
メモリーリコールモード表示モード選択画面



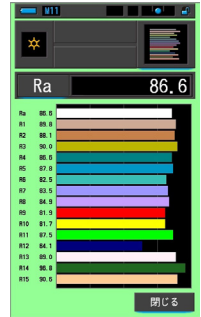
1 メモリーリコールモードテキスト画面



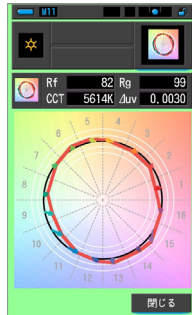
2 メモリーリコールモードスペクトル画面



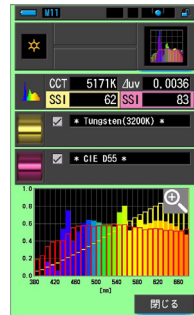
3 メモリーリコールモードCRI画面



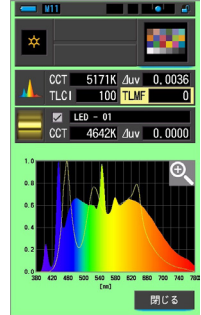
4 メモリーリコールモードTM-30画面



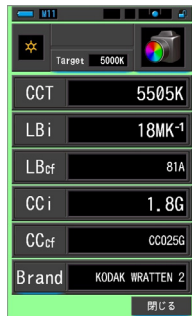
5 メモリーリコールモードSSI画面



6 メモリーリコールモードTLCI/TLMF画面



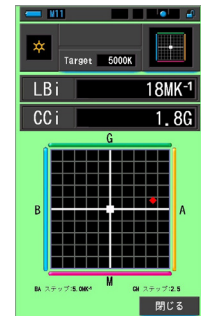
7 メモリーリコールモードカメラフィルター画面



8 メモリーリコールモード照明フィルター画面



9 メモリーリコールモードWB補正画面



No.	表示モード アイコン	名称	説明
1	 テキスト	メモリーリコールモード [テキスト]アイコン	各測定値から 5 項目を選択して数値で表示 します。(➡P34)
2	 スペクトル	メモリーリコールモード [スペクトル]アイコン	3 項目の測定値 (選択可能) とスペクトル (分 光分布) グラフを表示します。(➡P37)
3	 CRI	メモリーリコールモード [CRI]アイコン	選択した平均演色評価数 (Ra) または個々 の演色評価数 (R1 ~ R15) を表示します。 また各演色評価数もグラフで表示します。 (➡P43)
4	 TM-30	メモリーリコールモード [TM-30]アイコン	4 項目の測定値 (Rf、Rg、CCT、 Δuv) と、 カラーベクトルグラフィックを表示します。 (➡P50)
5	 SSI	メモリーリコールモード [SSI]アイコン	現在の測定値と 2 点までの参照光源 (色温 度と Δuv) を比較し、SSI 評価指数と SSI ス ペクトルグラフで表示します。(➡P52)
6	 TLCI/TLMF	[TLCI/TLMF]アイコン	測定値とメモリーした値 (色温度、 Δuv)、 TLCI と TLMF の測定値をスペクトルグラフ と一緒に表示します。(➡P62)
7	 カメラ フィルター	メモリーリコールモード [カメラフィルター]アイコン	設定した基準色温度と測定値の差をカメラ に設定するフィルター名と補正量で表示し ます。(➡P71)
8	 照明 フィルター	メモリーリコールモード [照明フィルター]アイコン	設定した基準色温度と測定値の差を照明に 設定するフィルター名と補正量で表示し ます。(➡P67)
9	 WB補正	メモリーリコールモード [WB補正]アイコン	測定値と基準色温度の差をホワイトバラン スのグラフ上で表示します。(➡P82)



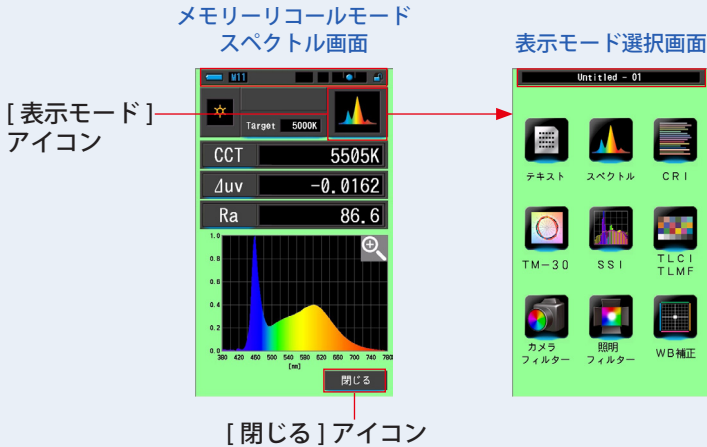
ご参考

メモリーリコールモードでの表示内容は各表示モードで現在設定されている項目が表示され
れます。

操作

1. メモリーリコールモードの [表示モード] アイコンをタッチします。

メモリーリコールモードの表示モードが表示されます。リコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り換わります。



2. 表示したい [表示モード] アイコンをタッチします。

各表示モード画面に切り換わります。

3. [閉じる] アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。メモリー管理画面の [閉じる] アイコンをタッチすると測定画面に戻ります。

6-2-3 メモリータイトルを変更する [メモリーリネーム]画面

メモリーされた測定値のタイトルを変更できます。

メモリーリネーム画面



[OK] アイコン

キャンセル

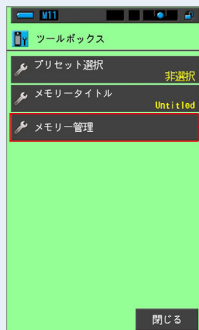
[キャンセル] アイコン

操作

1. ツールボックスの [メモリー管理] アイコンをタッチします。

メモリー管理画面が表示されます。

ツールボックス画面



メモリー管理画面

[閉じる]
アイコン

[リコール] アイコン [編集] アイコン

2. [編集]アイコンをタッチします。

メモリー編集画面が表示されます。



3. 変更するタイトルを背景青色位置に合わせます。

呼び出すメモリーを設定できます。

4. [リネーム]アイコンをタッチします。

メモリーリネーム画面が表示されます。



5. 変更するメモリータイトルを入力します。(⇒P18)

タイトルを決めて入力することができます。

メモリーリネーム画面



[OK]

アイコン



[キャンセル]アイコン

6. [OK] アイコンをタッチします。

タイトルが確定され、メモリー編集画面に戻ります。

タイトルを変更せずメモリー編集画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。メモリー編集画面に戻ります。

7. [閉じる] アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。

メモリー編集画面



メモリー管理画面

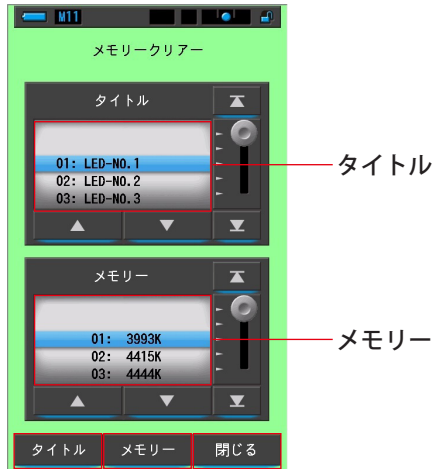


6-2-4 保存した測定結果を削除する [メモリークリアー]画面

メモリーされた測定値を、個別削除、またはメモリータイトルごと削除ができません。

メモリークリアーには、タイトルとメモリー内容（メモリー番号と測定値）が、登録された順序で表示されます。

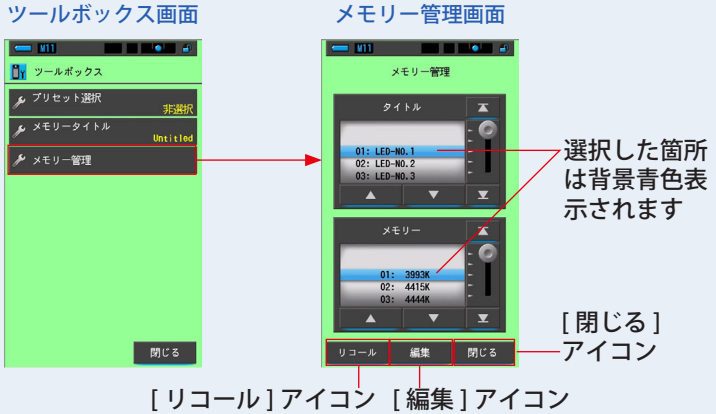
メモリークリアー画面



[タイトル]アイコン [閉じる]アイコン
[メモリー]アイコン

操作

1. ツールボックスの[メモリー管理]アイコンをタッチして選択します。
メモリー管理画面が表示されます。



2. [編集]アイコンにタッチします。
メモリー編集画面が表示されます。



3. 変更する「タイトル」と「メモリー」を背景青色位置に合わせます。

4. [クリアー]アイコンをタッチします。

メモリークリアー画面が表示されます。



【個別消去の場合】

1. 削除する「タイトル」に紐付いている「メモリー」を背景青色位置に合わせます。

削除する「タイトル」に紐付いている「メモリー」を選択します。

2. [メモリー]アイコンをタッチします。

メモリーを削除します。タイトルに紐付いている[メモリー]を削除します。

メモリークリアー確認画面に「選択されたメモリーデータを削除します。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。



3. [はい]アイコンをタッチします。

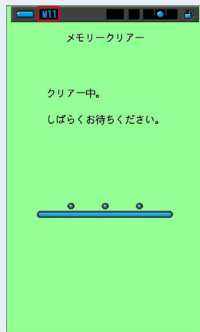
「クリアー中。しばらくお待ちください。」とメッセージが表示されます。削除終了後は、メモリークリアー画面に戻ります。

プログレスバーが起動している間は、削除中です。削除するメモリー数によっては時間がかかる場合もあります。他の作業はしないでください。

手順1～3を繰り返して、追加のメモリーを削除することができます。

削除を実施しない場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。メモリークリアー画面に戻ります。

メモリークリアー中画面



メモリークリアー画面



メモリー数が
変更されます

[閉じる]
アイコン

選択されたメモリーが削除され、
番号をひとつ詰めて表示されます

4. [閉じる]アイコンをタッチします。

メモリー編集画面に戻ります。

測定画面に戻るまで[閉じる]ボタンをタッチします。

【メモリータイトルごと削除の場合】

1. 削除する「タイトル」を背景青色位置に合わせます。

削除する「タイトル」を選択します。

2. タイトルを削除するとき、[タイトル]アイコンをタッチします。

タイトルを削除します。選択したタイトルに紐付いているメモリーも全て削除します。

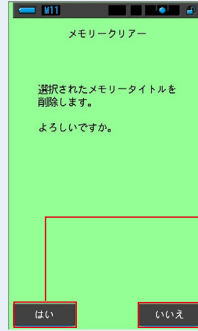
メモリークリアー確認画面に「選択されたメモリータイトルを削除します。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

メモリークリアー画面

メモリークリアー確認画面

選択した箇所は
背景青色表示
されます

選択したタイト
ルに紐付いて
いるメモリーが
表示されます



[はい]
アイコン

[いいえ]
アイコン

[タイトル]アイコン

3. [はい]アイコンをタッチします。

「クリアー中。しばらくお待ちください。」とメッセージが表示されます。削除終了後は、メモリークリアー画面に戻ります。

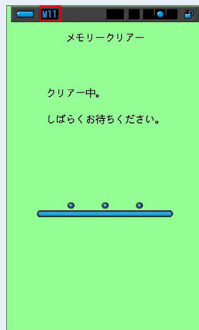
プログレスバーが起動している間は、削除中です。削除するメモリー数によっては時間がかかる場合もあります。他の作業はしないでください。

手順1～3を繰り返して、追加のメモリーを削除することができます。

削除を実施しない場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。メモリークリアー画面に戻ります。

メモリークリアー中画面

メモリークリアー画面



メモリー数が
変更されます

選択したメモ
リーとその紐
付けデータが
削除される
と、タイトル
01内を表示
します

[閉じる]
アイコン

4. [閉じる]アイコンをタッチします。

メモリー編集画面に戻ります。

測定画面に戻るまで[閉じる]ボタンをタッチします。

7. 本体の設定 [本体設定]画面

7-1 本体設定の項目

本体設定では、機能や表示の内容をあらかじめ設定または編集することができます。

表示モード選択画面



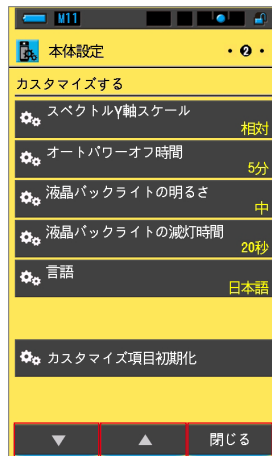
[本体設定]アイコン

本体設定
1 ページ画面



2 ページへ

本体設定
2 ページ画面



3 ページへ 1 ページへ

本体設定
3 ページ画面



2 ページへ

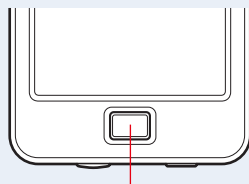
[閉じる]アイコン

操作

1. 表示モードの[本体設定]アイコンをタッチして選択します。
本体設定が表示されます。
2. [▲][▼]ワンステップアイコンをタッチして、目的のページを表示します。
3. 目的の各設定名をタッチします。
各設定画面が表示されます。
[閉じる]アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。

ご参考

測定画面を表示中でも、本体のメニューボタン⁶を押すと、操作中の設定を中断して表示モード選択画面に移ります。



メニューボタン⁶

7-1-1 項目一覧

本体設定画面の項目は以下の通りです。

項目名称	説明
カスタマイズする	
シャッター速度ステップ	シャッター速度を1ステップ、1/3ステップ、1/2ステップから選択できます。(➡P130)
LBステップ	LB指数の表示ステップを1MK ⁻¹ ステップ、1daMK ⁻¹ (小数点なし)ステップ、0.1daMK ⁻¹ (小数点あり)ステップから選択できます。(➡P133)
カメラフィルターブランド	カメラフィルターブランドについてKODAK WRATTEN 2、FUJIFILMまたはLEEを選択できます。(➡P135)
照明フィルターブランド	照明フィルターブランドについてLEE、ROSCO CINEGELまたはROSCO E-COLOUR+を選択できます。(➡P137)
ホワイトバランスステップ	WB補正画面における1マスのステップを下記の範囲で設定できます。 BA: 0.5 ~ 100.0 MK ⁻¹ GM: 0.5 ~ 20.0 を選択できます。(➡P139)
色空間 (Hue/Sat)	Hue/Sat (色相 / 彩度) 測定に使用する色空間と白色点を下記の範囲で設定します。(➡P141) 色空間: HSV、HSI 白色点: D65、D55、D50、3200K、2800K
スペクトルY軸スケール	相対、オート、分光放射照度より選択できます。(➡P143)
オートパワーオフ時間	何も操作されなかったときに、自動電源OFF機能が働くまでの時間を5分、10分、20分、なし、から選択できます。なしに設定した場合は、電源は自動的に切れません。(➡P146)
液晶バックライトの明るさ	電力の消費を抑えるためまたは環境光によって見え具合を調整するため液晶バックライトの明るさを暗、中、明から選択できます。(➡P148)
液晶バックライトの減灯時間	電力の消費を抑えるために操作をしなくなってからバックライトを減灯するまでの時間を20秒、40秒、60秒、減灯しない、から選択できます。(➡P150)
言語	タッチパネルに表示する言語の種類をEnglish、日本語、中国語から選択できます。(➡P152)
カスタマイズ項目初期化	本体設定の「カスタマイズする」の内容(11の項目)を工場出荷時の状態に初期化(リセット)します。(➡P154)
プリセットを編集する	
プリセット編集	プリセットの編集をすることができます。(➡P155)
ダーク補正をする	
ダーク補正	ダーク補正画面を表示し、ダーク補正を開始します。(➡P169)
情報を表示する	
本体情報	本体の情報表示画面を表示します。(➡P172)
法規	認証表示画面を表示します。(➡P174)

7-2 カスタマイズする

カスタマイズする（本体設定の1～2ページ）では、11項目の表示内容をご使用になる機材や目的に合わせて設定することができます。

各項目において現在設定されている内容が黄文字で表示されます。



操作

1. 表示モードの [本体設定] アイコンをタッチして選択します。
本体設定が表示されます。
2. [▲] [▼] ワンステップアイコンをタッチして、目的のページを表示します。
3. 目的の各項目をタッチします。
各項目画面が表示されます。
[閉じる] アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。

7-2-1 各項目の仕様

「カスタマイズする」の各項目の仕様は以下の通りです。

No.	本体設定名称	項目				出荷時
1	シャッター速度 ステップ	1ステップ	1/3 ステップ	1/2 ステップ	—	1ステップ
2	LB ステップ	1MK ⁻¹ ステップ	1daMK ⁻¹ ステップ	0.1daMK ⁻¹ ステップ	—	1MK ⁻¹ ステップ
3	カメラフィルター ブランド	KODAK WRATTEN 2	FUJIFILM	LEE	—	KODAK WRATTEN 2
4	照明フィルター ブランド	LEE	ROSCO CINEGEL	ROSCO E-COLOUR+	—	LEE
5	ホワイトバランス ステップ	BA : 0.5 ~ 100.0 MK ⁻¹ GM : 0.5 ~ 20.0				BA : 5 MK ⁻¹ GM : 2.5
6	色空間 (Hue/Sat)	色空間 : HSV、HSI 白色点 : D65、D55、D50、3200K、2800K				色空間 : HSI 白色点 : D65
7	スペクトルY軸 スケール	相対	オート	分光放射照度 1.0 μW ~ 100W·m ⁻² ·nm ⁻¹		相対
8	オートパワーオフ 時間	5分	10分	20分	なし	5分
9	液晶バックライト の明るさ	暗	中	明	—	中
10	液晶バックライト の減灯時間	20秒	40秒	60秒	減灯しない	20秒
11	言語	English	日本語	中文(簡体字)	—	初期設定で選択
12	カスタマイズ項目 初期化	[OK] アイコンをタッチすると本体設定の内容を初期状態にする				—



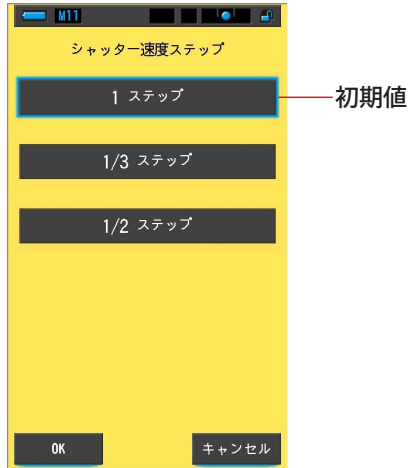
ご参考

- 1 MK⁻¹ は 1 ミレッド (MIRE) に相当します。
- 従来使われていたミレッド (MIRE) という単位は現在、国際単位系 (SI 単位系) に基づき毎メガケルビン (MK⁻¹) に統一されています。本機は最新の単位表記を採用しています。

7-2-2 シャッター速度のステップの選択

シャッター速度を1ステップ、1/3ステップ、1/2ステップから選択できます。

シャッター速度ステップ画面



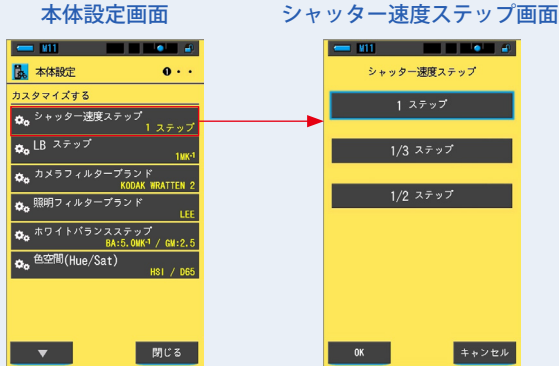
選択可能なシャッター速度 (単位：秒)

1ステップ (初期値)	1、1/2、1/4、1/8、1/15、1/30、1/60、1/125、1/250、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400
1/3ステップ	1、0.8、0.6、0.5、0.4、0.3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400
1/2ステップ	1、0.7、1/2、1/3、1/4、1/6、1/8、1/10、1/15、1/20、1/30、1/45、1/60、1/90、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、1/400

操作

1. 本体設定の1ページ目：項目[シャッター速度ステップ]アイコンをタッチします。

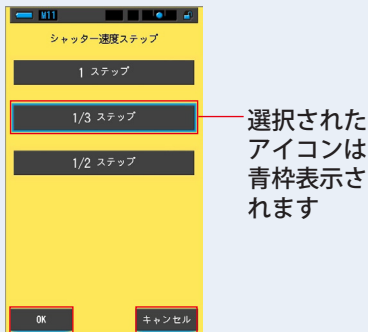
シャッター速度ステップが表示されます。



2. シャッター速度ステップの[ステップ]アイコンをタッチします。

1 ステップ、1/3 ステップ、1/2 ステップから選択します。

シャッター速度ステップ画面



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

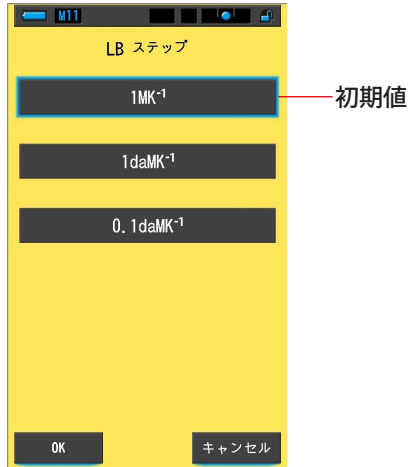
シャッター速度ステップが設定されました。

7-2-3 LB ステップの選択

LB 指数の表示ステップを 1MK^{-1} ステップ、 1daMK^{-1} (小数点なし) ステップ、 0.1daMK^{-1} (小数点あり) ステップから選択できます。

例) 38MK^{-1} は 1MK^{-1} ステップで 38MK^{-1} 、 1daMK^{-1} ステップで 4MK^{-1} 、 0.1daMK^{-1} ステップで 3.8MK^{-1} と表示されます。

LB ステップ画面



操作

1. 本体設定の1ページ目：項目 [LB ステップ] アイコンをタッチします。

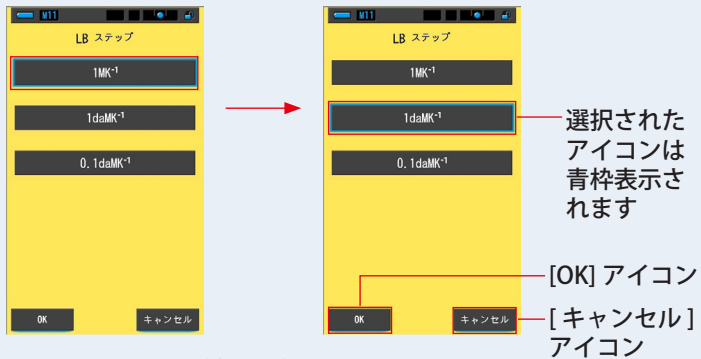
LB ステップが表示されます。



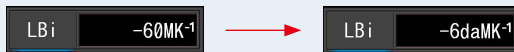
2. [LB ステップ] アイコンをタッチします。

LB ステップ値を選択します。

LB ステップ画面



測定画面表示例

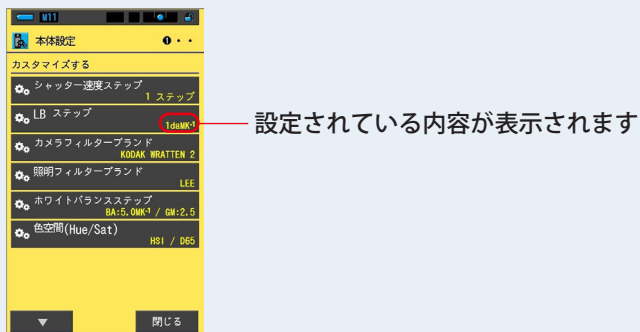


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



LB ステップが設定されました。

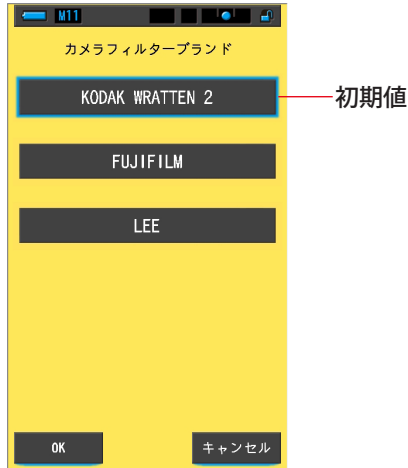


- 1 MK⁻¹ は 1 ミレッド (MIRE) に相当します。
- 従来使われていたミレッド (MIRE) という単位は現在、国際単位系 (SI 単位系) に基づき毎メガケルビン (MK⁻¹) に統一されています。本機は最新の単位表記を採用しています。

7-2-4 カメラフィルターブランドの選択

カメラフィルターブランドについて KODAK WRATTEN 2、FUJIFILM (富士フィルム) および LEE を選択できます。

カメラフィルターブランド画面

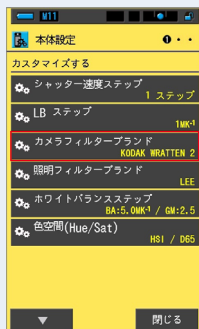


操作

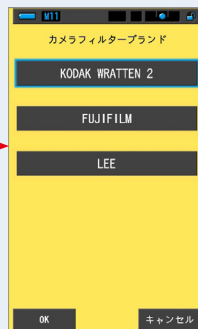
1. 本体設定の1ページ目：項目[カメラフィルターブランド]アイコンをタッチします。

カメラフィルターブランドが表示されます。

本体設定画面



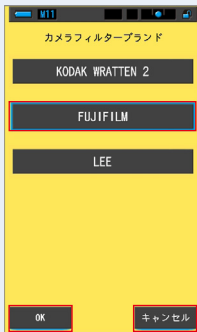
カメラフィルターブランド画面



2. [カメラフィルターブランド]アイコンをタッチします。

ご使用となるカメラのフィルターブランドを選択します。

カメラフィルターブランド画面



選択された
アイコンは
青枠表示さ
れます

[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

カメラフィルターブランドが設定されました。

7-2-5 照明フィルターブランドの選択

照明フィルターブランドについて LEE、ROSCO CINEGEL または ROSCO E-COLOUR+ を選択できます。

照明フィルターブランド画面

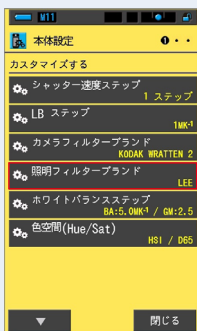


操作

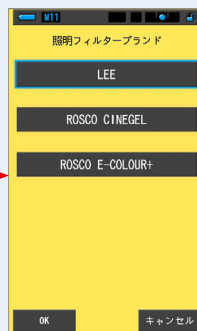
1. 本体設定の1ページ目：項目 [照明フィルターブランド] アイコンをタッチします。

照明フィルターブランドが表示されます。

本体設定画面



照明フィルターブランド画面



2. [照明フィルターブランド]アイコンをタッチします。

ご使用となる照明のフィルターブランドを選択します。

照明フィルターブランド画面



選択された
アイコンは
青枠表示さ
れます

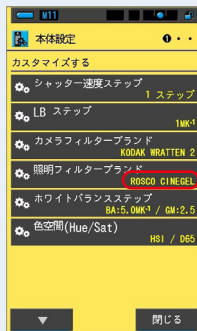
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

照明フィルターブランドが設定されました。

7-2-6 ホワイトバランスのステップの選択

測定画面の WB（ホワイトバランス）補正モードで表示されるマス目の 1 ステップの単位を BA：0.5 ～ 100.0 MK¹、GM：0.5 ～ 20.0 の範囲で選択できます。デジタルカメラの中には WB（ホワイトバランス）補正機能があるカメラがあります。カメラの設定はメーカーや機種ごとで違うため、ご使用になるカメラの設定に合わせてください。

ホワイトバランスステップ画面



操作

1. 本体設定の 1 ページ目：項目 [ホワイトバランスステップ] アイコンをタッチします。

ホワイトバランスステップが表示されます。

本体設定画面

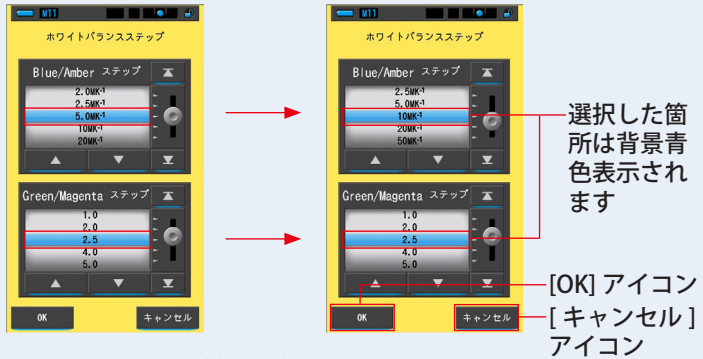
ホワイトバランスステップ画面



2. ご使用となるホワイトバランスステップを選択します。

ホワイトバランスを変更できます。

ホワイトバランスステップ画面

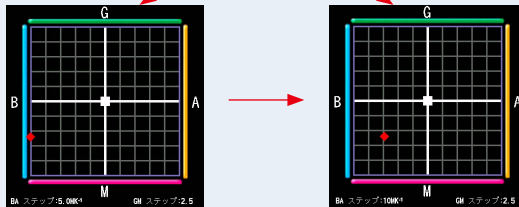


測定画面表示例

BA5.0MK⁻¹ GM2.5
(初期値)

BA10MK⁻¹ GM2.5
(変更後)

LB 指数 : 30MK⁻¹
CC 指数 : 6

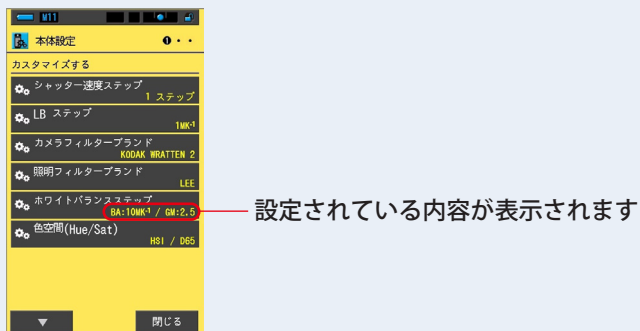


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面

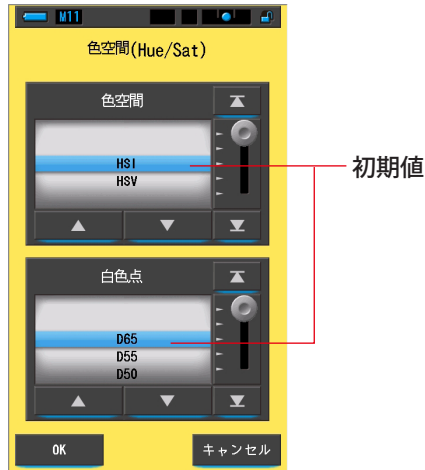


ホワイトバランスステップが設定されました。

7-2-7 色空間 (Hue/Sat) の選択

Hue/Sat を測定するとき使用する色空間：HSI、HSV、白色点：D65、D55、3200K、2800K を選択できます。

色空間 (Hue/Sat) 画面



操作

1. 本体設定の1ページ目：項目 [色空間 (Hue/Sat)] アイコンをタッチします。

色空間 (Hue/Sat) と白色点画面が表示されます。

本体設定画面



色空間 (Hue/Sat) 画面



2. ご使用となる色空間：HSI、HSV、白色点：D65、D55、3200K、2800K を選択します。

色空間 (Hue/Sat) 画面



選択されたアイコンは青枠表示されます

[OK] アイコン

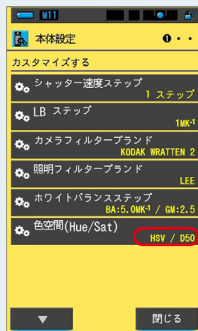
[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

色空間 (Hue/Sat) が設定されました。



ご参考

色空間を算出するために使用する、三原色の R/G/B 値はセコニック独自の値となります。

また、白色点の設定値の違いにより、ご使用となる照明器具の設定値と測定値に差が出る場合があります。

7-2-8 スペクトルY軸スケールの選択

スペクトルY軸の最大表示値を相対、オート、分光放射照度から選択できます。

スペクトルY軸スケール画面

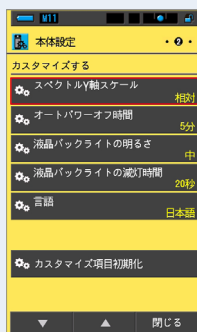


操作

1. 本体設定の2ページ目：項目 [スペクトルY軸スケール] アイコンをタッチします。

スペクトルY軸スケールの最大表示値が表示されます。

本体設定画面



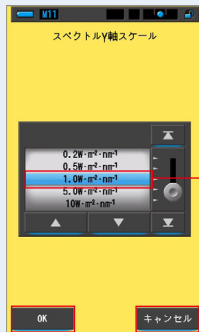
スペクトルY軸スケール画面



2. ご使用となるスペクトルY軸スケールを選択します。

相対、オート、分光放射照度から選択します。

スペクトルY軸スケール画面



選択した箇所は背景青色表示されます

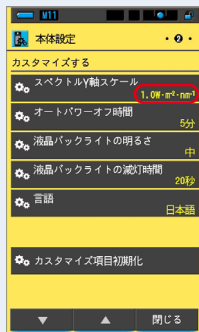
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

スペクトルY軸スケールが設定されました。

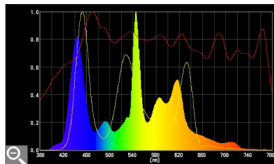


相対……………光源のスペクトル波形を比べるため、光源の明るさにかかわらず測定値とメモリー値（最大2つまで）のそれぞれの明るさの最大値を 1.0 とみなし比較します。

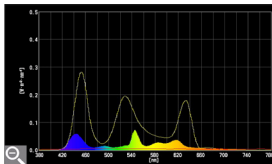
オート……………適切な Y 軸の値が自動的に選ばれ分光放射照度が比較できます。

分光放射照度…… 1.0 μ ~ 100 $W \cdot m^{-2} \cdot nm^{-1}$ まで Y 軸の値を指定することができます。

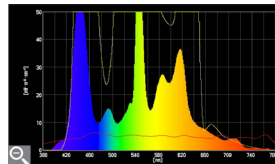
相対



オート



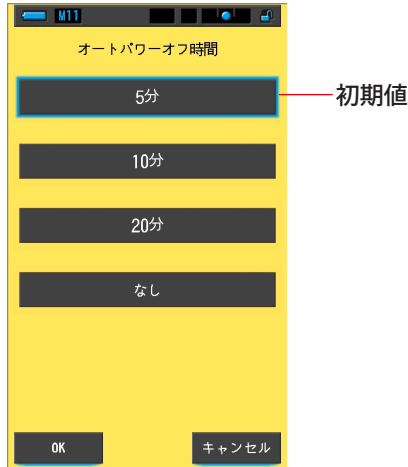
分光放射照度



7-2-9 オートパワーオフ時間の選択

何も操作されなかったときに、自動電源 OFF 機能が働くまでの時間を 5 分、10 分、20 分、なし、から選択できます。なし設定した場合は、電源は自動的に切れません。

オートパワーオフ時間画面

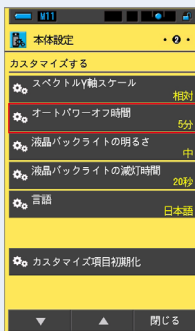


操作

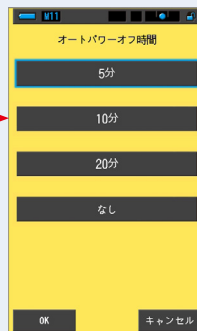
1. 本体設定の 2 ページ目：項目 [オートパワーオフ時間] アイコンをタッチします。

オートパワーオフ時間が表示されます。

本体設定画面



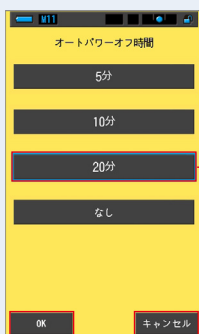
オートパワーオフ時間画面



2. オートパワーオフ時間の [時間] アイコンをタッチします。

5分、10分、20分、なし、から選択します。

オートパワーオフ時間画面



選択された
アイコンは
青枠表示
されます

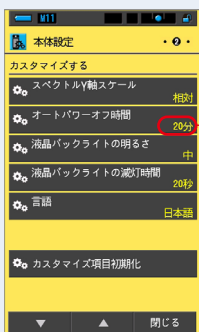
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



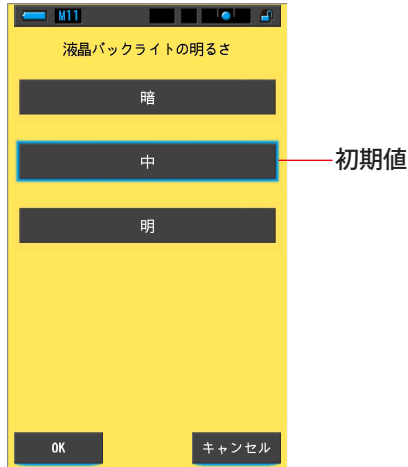
設定されている内容が表示されます

オートパワーオフ時間が設定されました。

7-2-10 液晶バックライト明るさの選択

電池の節約や、環境光の条件によって視認性を調整するため、タッチパネルのバックライトの明るさを暗、中、明から選択できます。

液晶バックライトの明るさ画面

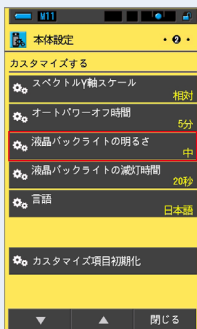


操作

1. 本体設定の2ページ目：項目 [液晶バックライトの明るさ] アイコンをタッチします。

液晶バックライトの明るさが表示されます。

本体設定画面



液晶バックライトの明るさ画面



2. 液晶バックライトの明るさの[明るさ]アイコンをタッチします。
暗、中、明、から選択します。

液晶バックライトの明るさ画面



選択された
アイコンは
青枠表示さ
れます

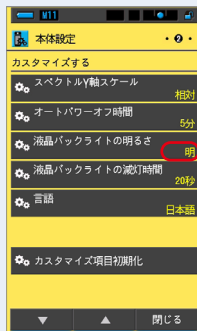
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

バックライトの明るさが設定されました。

7-2-11 液晶バックライト減灯時間の選択

電力の消費を抑えるために操作をしなくなってからバックライトを減灯するまでの時間を 20 秒、40 秒、60 秒、減灯しない、から選択できます。

液晶バックライトの減灯時間画面

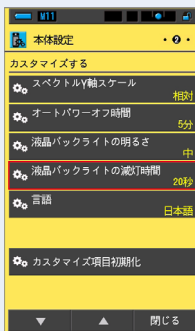


操作

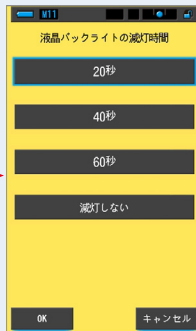
1. 本体設定の 2 ページ目：項目 [液晶バックライトの減灯時間] アイコンをタッチします。

液晶バックライトの減灯時間が表示されます。

本体設定画面



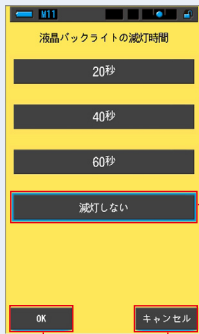
液晶バックライトの減灯時間画面



2. 液晶バックライトの減灯時間の [時間] アイコンをタッチします。

20 秒、40 秒、60 秒、減灯しない、から選択します。

液晶バックライトの減灯時間画面



選択された
アイコンは
青枠表示さ
れます

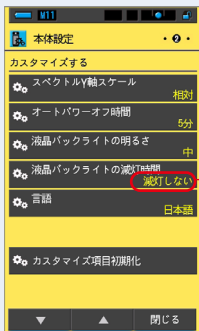
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

液晶バックライトの減灯時間が設定されました。

7-2-12

言語の選択

本体に表示する言語の種類を English、日本語、中国語から選択できます。



操作

1. 本体設定の2ページ目：項目 [言語] アイコンをタッチします。

言語が表示されます。

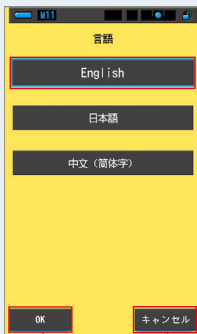
※初回電源投入時に設定した言語を変更できます。



2. [言語]をタッチします。

English、日本語、中国語から選択します。

言語画面



選択された
アイコンは
青枠表示さ
れます

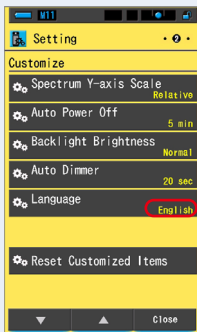
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



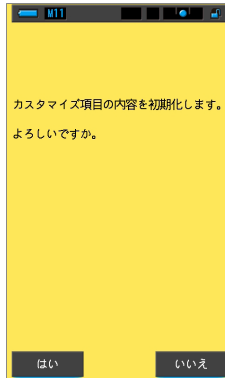
設定されている内容が表示されます

言語が設定されました。

7-2-13 カスタマイズ項目初期化

本体設定「カスタマイズする」の項目のみ、工場出荷時の状態に初期化（リセット）します。

カスタマイズ項目初期化画面

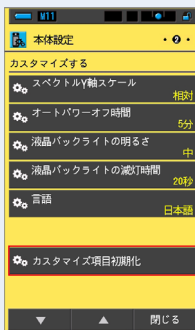


操作

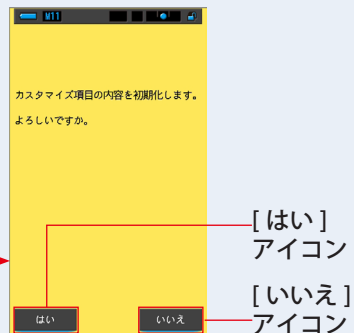
1. 本体設定の2ページ目：項目 [カスタマイズ項目初期化] をタッチします。

「カスタマイズ項目とプリセット編集の内容を初期化します。よろしいですか。」と表示されます。

本体設定画面



カスタマイズ項目初期化画面



2. [はい] アイコンをタッチします。

カスタム設定が初期化されます。初期化終了後は、本体設定に戻ります。

初期化を行わず、本体設定に戻る場合は、[いいえ] アイコンをタッチします。

7-3 プリセットの編集

あらかじめ入力したプリセットを測定の際に選択すると、測定値に補正量が反映されたり、入力の手間を省いたりすることができます。

本機は当社の基準により校正がされていますが、撮影条件によって指示通りのフィルター補正では正しい色再現ができない場合や、意図的に好みの色調で撮影したい場合、フィルターの指示値を補正する必要があります。

このような場合、あらかじめ指示値に対する補正量をプリセットとして登録して測定すると、補正量を加味した値で表示が行われます。

また、複数の基準色温度をお使いになる場合は、プリセット編集で設定しておけば、測定の度に入力することなく、プリセット選択することで簡単に基準色温度を設定することができます。

プリセット編集画面

The screenshot shows the 'Preset Edit' screen with the following fields and values:

プリセット編集	
プリセット番号	1
プリセット選択リスト表示	非表示
プリセット名	Default-D01
基準色温度	5000K
LB指数補正值	0MK ⁻¹
CC指数補正值	0.0
閉じる	

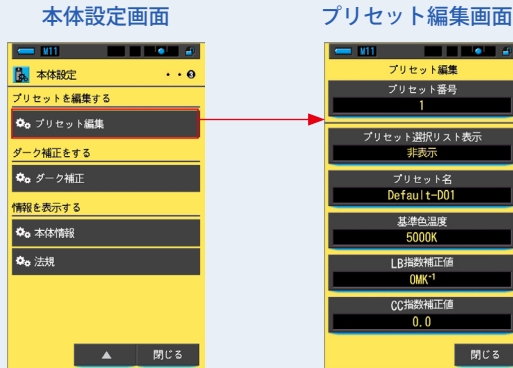


ご参考

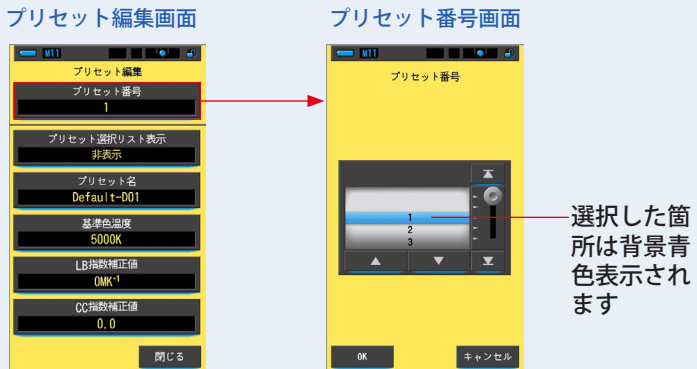
プリセットの登録は、最大 19 件まで可能です。

操作

1. 本体設定の3ページ目：項目[プリセット編集]をタッチします。
本体設定のプリセット編集画面が表示されます。

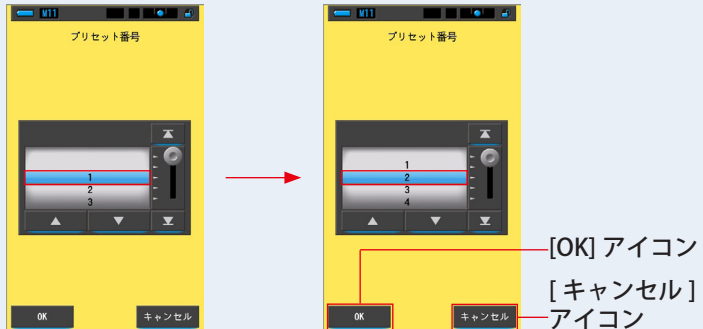


2. [プリセット番号]アイコンをタッチします。
プリセット番号が表示されます。



3. プリセット番号 (1 ~ 19) を選択します。青色背景位置に合わせます。

プリセット番号画面



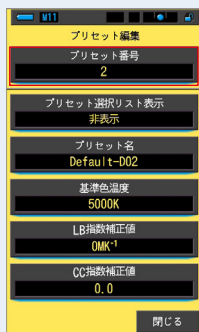
4. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集に戻ります。

登録または編集するプリセット番号が表示されます。

内容を変更せず、プリセット編集に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

プリセット編集画面



5. 各設定項目を編集します。

各設定項目の編集については、以下の説明ページを参照してください。

- ・プリセット選択リスト表示 (▶P158)
- ・プリセット名 (▶P160)
- ・基準色温度 (▶P162)
- ・LB 補正值 (▶P165)
- ・CC 補正值 (▶P167)

6. [閉じる]アイコンをタッチします。

本体設定画面に戻ります。

プリセット編集が完了しました。

7-3-1

プリセット選択のリスト表示

ツールボックスのプリセット選択リストへの表示・非表示を切り替えます。

プリセット選択リスト表示画面

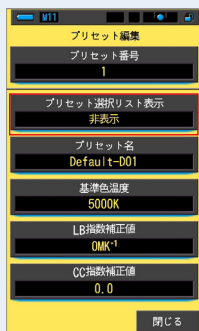


操作

1. [プリセット選択リスト表示]アイコンをタッチします。

表示 / 非表示を選択できます。

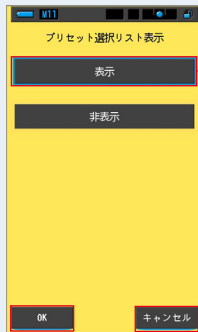
プリセット編集画面

プリセット選択
リスト表示画面

2. 設定するリスト表示を選択します。

選択されたアイコンは青枠表示されます。

プリセット選択リスト表示画面



選択された
アイコンは
青枠表示さ
れます

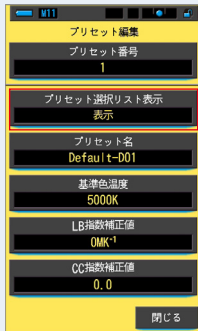
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集画面



リスト表示が設定されました。

7-3-2 プリセット名の設定

プリセット名を編集します。

プリセット名画面



ご参考

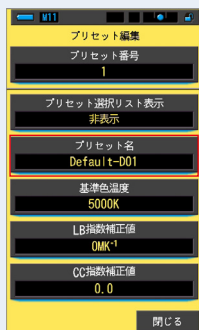
プリセット名の入力は、英数字で最大 16 文字です。

操作

1. [プリセット名]アイコンをタッチします。

プリセット名入力画面が表示されます。

プリセット編集画面



プリセット名画面



2. プリセット名を入力します。(⇒P18)

プリセット名画面



入力されました

キーボード 大文字入力画面



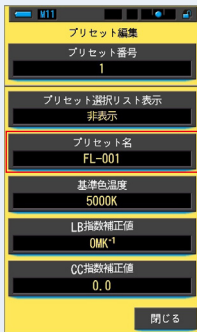
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定(登録/編集)され、プリセット編集に戻ります。

内容を変更(登録/編集)せず、プリセット編集に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集画面



プリセット名が編集されました。

7-3-3

プリセット色温度の設定

プリセットの基準となる色温度を設定します。

基準色温度画面

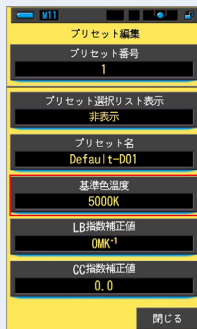


操作

1. [基準色温度] アイコンをタッチします。

基準色温度が表示されます。

プリセット編集画面



基準色温度画面

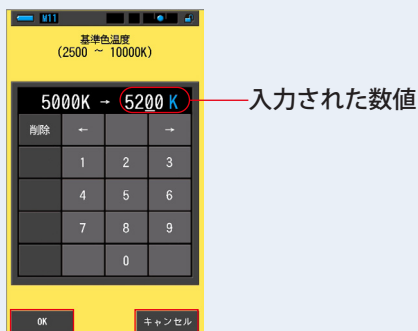


2. 基準色温度の数値を入力します。(⇒ P17)

設定する基準色温度の数値を入力します。

※ 1 の位は、0 固定です。

基準色温度画面



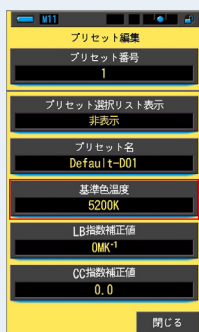
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集画面



基準色温度が編集されました。



ご参考

- ご使用となるカメラにマニュアル設定する色温度と同じ色温度を設定します。ホワイトバランスモードやメーカーによっては忠実色再現のために推奨する色温度があります。ご使用のカメラの説明書をご確認ください。
- 2,500 K～10,000 Kまで設定可能です。
- 複数の基準色温度を使用する頻度が高い場合は、プリセットを使用すると便利です。

7-3-4

LB 指数補正值の設定

プリセットのLB指数補正值を設定します。

LB 指数補正值画面

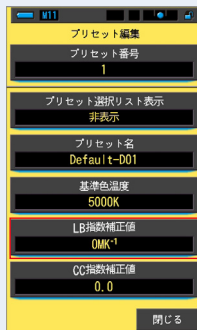


操作

1. [LB 指数補正值] をタッチします。

LB 指数補正值が表示されます。

プリセット編集画面

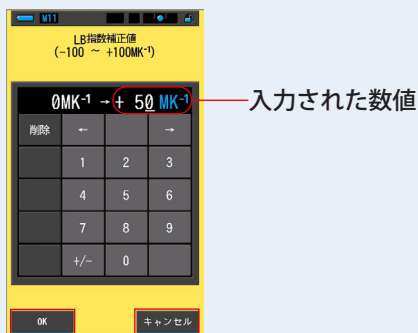


LB 指数補正值画面



2. 補正値を± 100 MK⁻¹ 範囲で設定します。(⇒P17)

LB 指数補正值画面



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン



ご参考

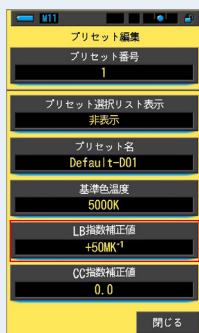
入力時、プラスは自動で出力されます。マイナス、プラスを変更する場合は、数字入力の +/- アイコンを選択してください。

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集画面



LB 指数補正値が編集されました。

7-3-5 CC 指数補正值の設定

プリセットのCC 指数補正值を設定します。

CC 指数補正值画面



操作

1. [プリセット CC 指数補正值] アイコンをタッチします。
CC 指数補正值が表示されます。

プリセット編集画面

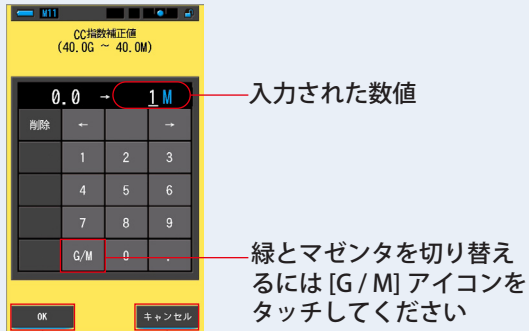


CC 指数補正值画面



2. CC 指数補正値を 40.0 G ~ 40.0 M 範囲で設定します。(⇒ P17)

CC 指数補正值画面



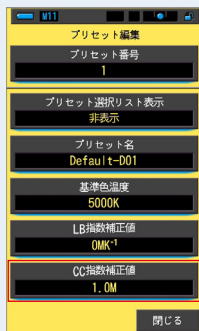
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集画面



CC 指数補正値が編集されました。



CC 指数補正値の単位は指数のため、CC 指数 1 は 2.5 CC フィルター番号に相当します。

7-4 ダーク補正

ダーク補正は「急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。手動でダーク補正をしたい場合はこの画面から行ってください。

ダーク補正実施確認画面

光量フィルター表示内容表

光量フィルター表示		内容
		ダーク補正では使用しません。測定する際に、光源に合わせて使用します。
	CAL	ダーク補正位置です。この位置に設定してダーク補正を実施してください。

操作

1. 本体設定の3ページ目：項目 [ダーク補正] アイコンをタッチします。
「ダーク補正を実施しますか。」とメッセージが表示されます。

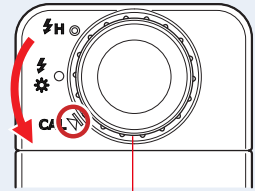
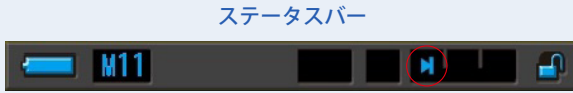
本体設定画面

ダーク補正実施確認画面

2. 光量切り換えリング②を回してダーク補正位置 CAL () に設定します。

ステータスバーにダーク表示されます。

位置を確認してください。



光量切り換えリング②

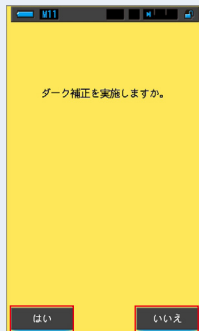
3. [はい]アイコンをタッチします。

ダーク補正が開始され、ダーク補正中画面が表示されます。

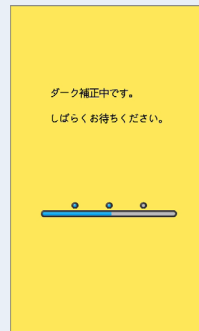
ダーク補正が終了すると、本体設定に戻ります。

ダーク補正をせず、本体設定に戻る場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。

ダーク補正実施確認画面



ダーク補正中画面



[はい]アイコン [いいえ]アイコン






「ダーク補正中です。しばらくお待ちください。」のメッセージの表示中、またはプログレスバーが表示されている間は、電源は切らないでください。


ダーク補正の設定が更新されました。

次の画面が表示されたときは

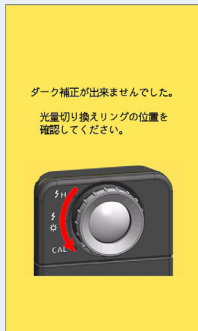
ダーク補正位置確認画面




光量切り換えリング②がレンジ H ( H () またはレンジ L () に設定されており、ダーク補正は実施されませんでした。

光量切り換えリング②をダーク補正位置 CAL () にセットしてから、ダーク補正を行ってください。


ダーク補正確認画面

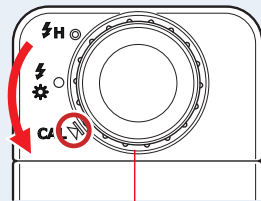


ダーク補正中に光量切り換えリング②の位置が変更されたため、正常に実行できませんでした。

光量切り換えリング②を回してダーク補正位置 CAL () に設定すると、ダーク補正が再開します。

ご参考

- 表示モード選択画面と各測定画面で、光量切り換えリング②をダーク補正位置 CAL () にセットするとダーク補正を行うことができます。
- ダーク補正は「急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。



光量切り換えリング②

7-5 本体情報表示

機器情報表示画面では、測定画面に表示されていない詳細情報を表示します。



No.	項目名称	説明
1	機種名	本機のモデル型番を表示します。
2	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
3	F/W バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
4	ユーザー情報	ユーザー情報を表示します。ハードウェア設定で登録された任意のユーザー情報を表示します。(➡P175)

操作

1. 本体設定の3ページ目：項目[本体情報表示]をタッチします。
本体情報画面が表示されます。



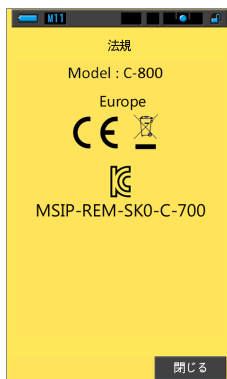
2. [閉じる]アイコンをタッチします。
本体設定画面に戻ります。

7-5-1

法規表示

法規表示画面では、本機が認可を受けた法的規制に対する適合性表示マーク（制度）、承認番号、規定名称を表示します。

法規画面



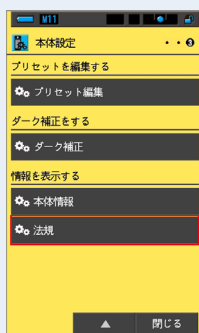
操作

1. 本体設定の3ページ目：項目 [法規] をタッチします。

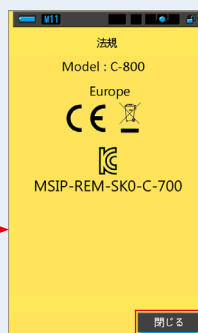
法規画面が表示されます。

お買い求めいただきました商品により、表示内容が異なります。

本体設定画面



法規画面



[閉じる]
アイコン

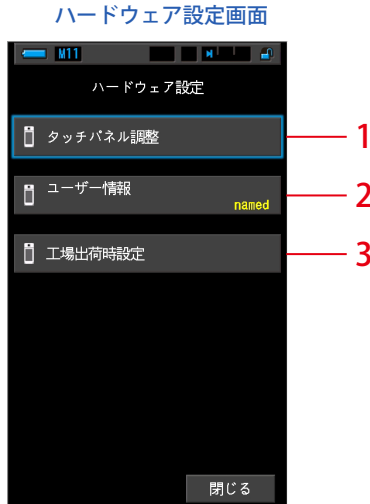
2. [閉じる]アイコンをタッチします。

本体設定画面に戻ります。

8. ハードウェア設定画面

ハードウェア設定画面では、以下の設定を行うことができます。

- タッチパネル調整
- ユーザー情報の編集
- 工場出荷時設定



No.	項目名称	説明
1	タッチパネル調整	タッチパネルのタッチセンサが認識する座標位置を調整できます。(➡P177)
2	ユーザー情報	ユーザー情報を編集できます。変更したユーザー情報は情報画面に表示されます。(➡P180)
3	工場出荷時設定	すべての表示や設定内容を工場出荷時の設定に戻します。(➡P182)

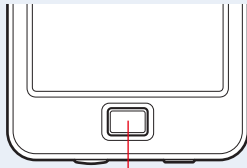
操作

1. メニューボタン ⑥ を押しながら電源ボタン ③ を押して、電源を ON にします。

※ハードウェア設定画面が表示されるまで、メニューボタン ⑥ と電源ボタン ③ を放さないでください。

ハードウェア設定画面が表示される前にボタンを放すと測定画面が表示されます。

ハードウェア設定画面が表示されます。



メニューボタン ⑥



電源ボタン ③

2. 目的のメニュー項目をタッチします。

選択した項目の設定画面が表示されます。

各項目の設定については、次ページからの説明を参照してください。

3. 終了するときは、[閉じる] アイコンをタッチします。

測定画面に戻ります。

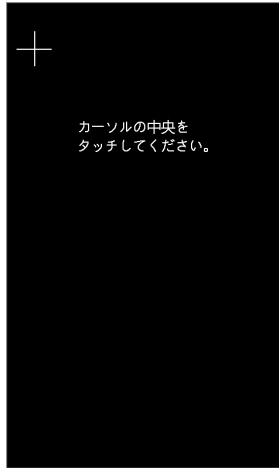
または、電源ボタン ③ を押して、電源を OFF にします。

8-1

タッチパネル調整の調整

タッチパネルのタッチセンサが認識する座標位置を調整できます。

タッチパネル調整画面

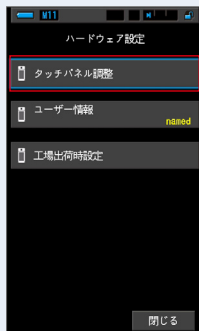


操作

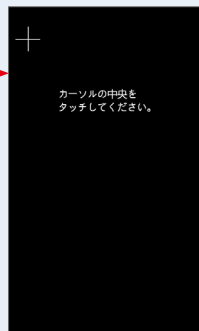
1. ハードウェア設定の [タッチパネル調整] をタッチします。

タッチパネル調整「カーソルの中央をタッチしてください。」とメッセージが表示されます。

ハードウェア設定画面



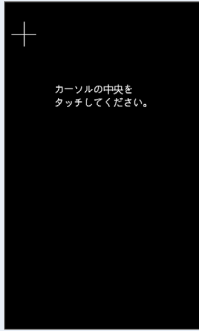
タッチパネル調整画面



2. 画面左上の点灯している白い十字カーソルの中央をタッチします。

タッチ位置が赤い十字カーソルで表示され、順次白い十字カーソル位置が変わり表示されます。

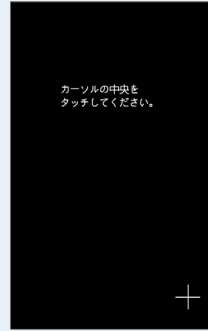
タッチパネル調整画面



タッチ位置は赤い十字カーソルで表示されます



白十字カーソルが移動します

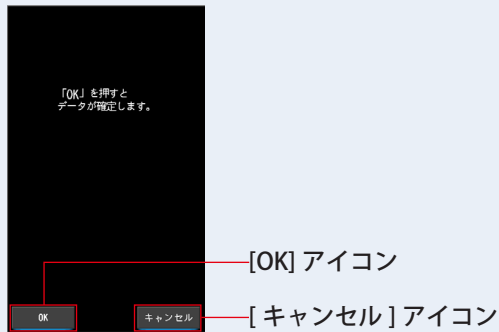


3. 7箇所分繰り返します。

続けて7箇所分繰り返します。

タッチパネル調整確認「[OK]を押すとデータが確定します。」メッセージ確認画面が表示されます。

タッチパネル調整確認画面



4. [OK] アイコンをタッチします。

調整を設定して、ハードウェア設定に戻ります。

調整を設定せず、ハードウェア設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

タッチパネルの調整が完了しました。



白い十字カーソルからはなれた場所をタッチすると、画面は調整の失敗を示すために点滅します。やり直してください。

タッチパネル調整画面



8-2 ユーザー情報の設定

ユーザー情報を編集できます。

ユーザー情報画面



ご参考

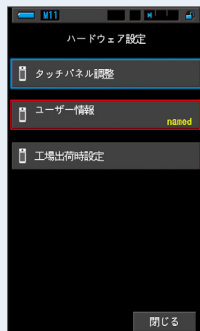
入力可能な文字数は、英数字で最大 16 文字です。

操作

1. ハードウェア設定の [ユーザー情報] をタッチします。

ユーザー情報文字入力画面が表示されます。

ハードウェア設定画面



ユーザー情報文字入力画面



2. ユーザー情報を編集します。(⇒P18)

ユーザー情報文字入力画面



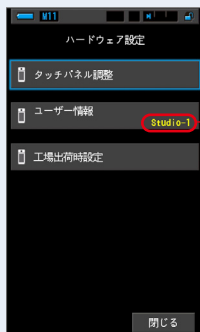
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

ユーザー情報に登録され、ハードウェア設定に戻ります。

ユーザー情報に登録せず、ハードウェア設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

ハードウェア設定画面



設定されている内容が表示されます

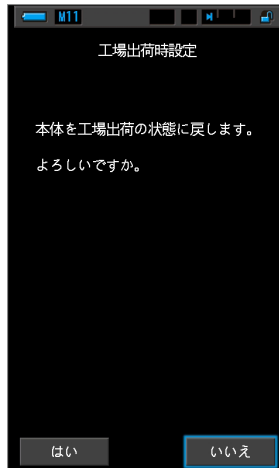
ユーザー情報が更新されました。

8-3

工場出荷時設定

本体のすべての表示や設定内容を工場出荷時の設定に戻すことができます。

工場出荷時設定画面

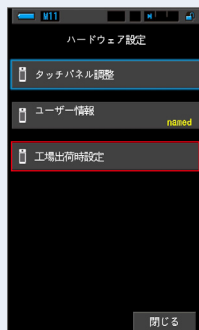


操作

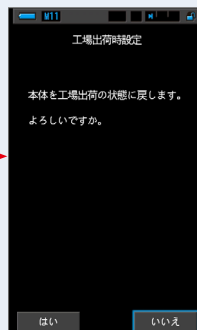
1. ハードウェア設定の [工場出荷時設定] をタッチします。

工場出荷時設定「本体を工場出荷の状態に戻します。よろしいですか。」メッセージが表示されます。

ハードウェア設定画面



工場出荷時設定画面



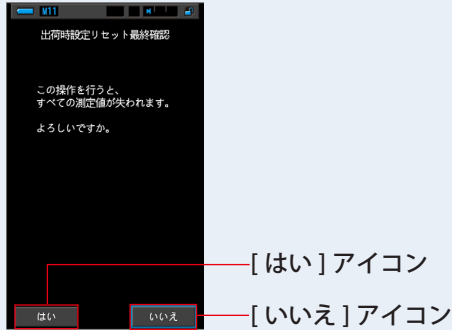
2. [はい]アイコンをタッチします。

出荷時設定リセット最終確認「この操作を行うと、すべての測定値が失われます。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

再確認してください。

工場出荷時設定に戻さず、ハードウェア設定に戻る場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。

出荷設定リセット最終確認画面



3. [はい]アイコンをタッチします。

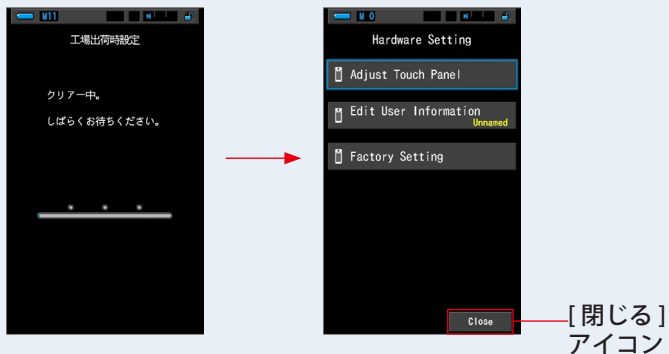


ご注意

「クリアー中。しばらくお待ちください。」のメッセージの表示中、またはプログレスバーが表示されている間は、電源は切らないでください。

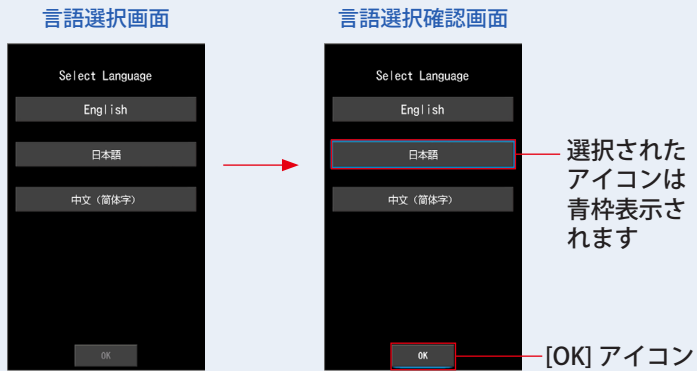
すべての測定値が失われ、ハードウェア設定に戻ります。

工場出荷時設定（クリアー中）画面 ハードウェア設定画面



4. [閉じる]アイコンをタッチします。

言語選択画面が表示されます。ご使用になる言語を選択してください。(→P6)



5. [OK] アイコンをタッチします。

測定画面が表示されます。



工場出荷時の設定に戻りました。

9. 付録

9-1

用語集

用語	説明
色温度	黒体を熱すると、その温度により、発する光（波長）の色が変化します。この光の色に対応した温度を色温度と呼び、単位はケルビン（K）であらわします。色温度が低いほど波長の長い光が多く赤っぽい光、色温度が高いほど波長の短い光が多く青っぽい光となります。 色温度の変化を x y 色度図上にプロットしたものを黒体放射軌跡と呼びます。
相関色温度	光源測定を行うと、すべての光源が黒体放射軌跡に一致するわけではありません。 この場合、測定値と一致する黒体放射軌跡より引かれた等色温度線を用いて求められた色温度のことです。
写真的色温度	フィルムの持つ分光特性に合わせて、測定で得た R・G・B、3種の標準的な特性データからの比率より求めた色温度です。
光（可視光）	電磁波のうち、人間の目で見えると言われている波長（380 nm～780 nm）の物を指します。
黒体	光など、あらゆる波長に渡って完全に吸収し、また熱する事により、色温度に応じた光を発する理論上の物質のことです。
黒体放射	黒体を熱した時に発生する光のことです。 色温度により、各波長のエネルギー量が変わるため、色の見え方が変わってきます。
K	ケルビン絶対温度の単位のこと。「K」と表示します。0（ゼロ）Kは -273.15℃または -459.67°Fになります。
Δuv	黒体放射軌跡に対して、相関色温度のズレ量のこと。 相関色温度が黒体放射軌跡より上に有れば「+」、下に有れば「-」の符号をつけます。

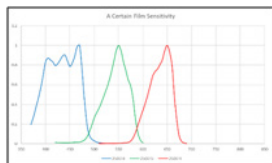
用語	説明
MK ⁻¹	<p>逆数色温度の国際単位系で、毎メガケルビンと呼びます。従来使われていたミレッド(MIRE)という単位と同じです。逆数色温度は 1,000,000 を色温度で割ったものです。</p> <p>逆数色温度 = 1,000,000 ÷ 色温度</p> <p>逆数色温度は色温度が高くなるほど数値は小さくなります。</p> <p>例) 10,000 K=100 MK⁻¹、3200 K=312.5 MK⁻¹</p> <p>相関色温度では、10,000 K での 100 K の変化と 3,200 K における 100 K の変化は、人間の眼で見ると 3,200 K での変化の方が大きく感じます。つまり、同じ色温度量の変化でも色温度の高低により人間の目には感じ方が違うということです。</p> <p>逆数色温度を使用すると人間の目にはどの色温度でも同一数量の変化を同じような変化として感じます。</p>
daMK ⁻¹	<p>MK⁻¹ を 10 で割って表したものです。MK⁻¹ 単位では人間の目に感じる色温度の変化としては非常に少なく、また、補正を行うことも難しいため、実用的な単位として daMK⁻¹ (デカ毎メガケルビン) があります。従来の色温度変換フィルターではこの単位を採用しているものもあります。</p>
LB 指数	<p>基準とする逆数色温度から測定した逆数色温度を引いたものです。単位は MK⁻¹ (MIRE) と同等) または daMK⁻¹ になります。</p>
LB フィルター	<p>写真撮影用の色温度を補正するためのフィルターのことで「Light Balancing Filter」の略です。光源の色温度を高くするにはブルーのフィルターを、低くするにはアンバーのフィルターを使用します。</p> <p>本機ではカスタムセッティング機能で、使用するフィルターブランドに合わせた表示をすることができます。</p>
CC 指数	<p>測定した光源中の R・G・B の G 成分 (緑色の領域) が、色温度の基準となる黒体放射に対してどれだけずれているかを表したものです。CC 指数 1 = 2.5CC フィルター番号相当です。</p>
CC フィルター番号	<p>測定した光源中の R・G・B の G 成分 (緑色の領域) が色温度の基準となる黒体放射に対してどれだけずれているかを表したものです。1CC # は 0.4CC 指数相当です。フィルムが普及していた頃は CC フィルター番号は実際の CC フィルターと関連性がありましたが、人間の目の感度と等しい C-800 のセンサーはフィルムとは異なる感度のため、CC フィルター番号は CC フィルターとは関連性がありません。</p>
CC フィルター	<p>写真撮影用の色を補正するためのフィルターのことで「Color Compensating Filter」の略です。フィルターの種類にはイエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブルー (B)、グリーン (G)、レッド (R) の 6 種類がありますが、本機ではこのうちマゼンタ (M) とグリーン (G) のフィルターを使用します。</p>

用語	説明
CRI	Color Rendering Index の略で、国際照明委員会 (CIE) の Publication 13.3 で定められている国際規格で、光源の演色性 (物体色の見え方) を表した指数。基準の光源に対して、物体色の見え方の違いを数値で表したものです。特殊演色評価数 (R1 to R14、および R15) と R1 ~ R8 までの平均値で表した、平均演色評価数 (Ra) が有ります。初版は蛍光灯が多く使われ始めた 1965 年、最後に改訂されたのが 1974 年です。
TM-30	Technical Memorandum の略で、北米照明協会にて定められている国際規格の一つで、LED 光源の見え方にも対応した評価方法。最新ファームウェアの C-800 では TM-30-18 が表示されます。TM-30-18 の Rf は CIE 224:2017 の Rf と同じ値となります。基準の光源に対して、99 色のカラーサンプルを使って物体色の見え方の違いを数値で表したものです。色の忠実性を見るための指標 (Rf) と光源のもつ鮮やかさの指標 (Rg) が有ります。
SSI	Spectral Similarity Index の略で、映画芸術科学アカデミー (Academy of Motion Picture Arts and Sciences) が提唱した評価方法。基準光源に対して、測定した光源の違いを数値で表したものです。光源の分光的な相似性を評価する指標 (SSI) です。
TLCI-2012	Television Lighting Consistency Index の略で、欧州放送連盟 (EBU) が提唱した評価方法。基準の光源に対して、カメラのセンサー特性を加味して 24 色のカラーサンプルを使って物体色の見え方の違いを数値で表したものです。テレビ用照明器具の整合性を評価する指標 (TLCI) です。
TLMF-2013	Television Luminaire Matching Factor の略で、欧州放送連盟 (EBU) が提唱した評価方法。計算方式は TLCI を流用し、実際に使用する 2 種類の光源間に対して、分光特性の整合性を数値で表したものです。テレビ用照明器具間の整合性を評価する指標 (TLMF) です。
Hue	色相のことで赤・黄・緑・水色・青・赤紫の色違いを表す指標。表示は角度となります。
Sat (Saturation)	彩度のことで色の鮮やかさを表す指標。0% ~ 100% で表され、0% は無彩色、100% で彩度が最大となります。
HSI 色空間	色相 (Hue)、彩度 (Saturation)、輝度 (Intensity) の略で 3 つの成分からなる色空間。C-800 では光源測定のため、輝度 50% での色相と彩度を表示します。
HSV 色空間	色相 (Hue)、彩度 (Saturation)、明度 (Value) の略で 3 つの成分からなる色空間。C-800 では光源測定のため、明度 100% での色相と彩度を表示します。
白色点	色度図で色空間の基準となるの座標のことです。

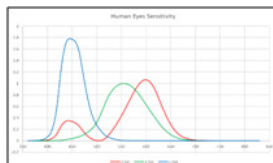


LBi (LB 指数補正量) は、基準色温度 (Target) と実際の測定値の差分を補正量としてあらわします。CCi (CC 指数補正量) と CC# (CC フィルター番号) は、黒体放射に対してどれだけズレているかの補正量をあらわす数値です。従来機種種の C-700 や C-500、その他の撮影用カラーメーターに搭載されていたフィルムモードでは、LBi、CCi や CC# の数値は、実際の照明フィルターやカメラフィルター (LBif: LB 照明フィルター、LBcf: LB カメラフィルター、または CCIf: CC 照明フィルター、CCcf: CC カメラフィルター) と関連付けられていましたが、昨今の産業用のスペクトロメーターやデジタルモードでは、LBi、CCi や CC# の数値は、実際の照明フィルターやカメラフィルター (LBif、LBcf、CCIf、CCcf) とは関連性がありません。これは、照明フィルターやカメラフィルターがフィルム時代に設計されたものであり、その分光感度が青、緑、赤色成分が独立しているフィルムの感度特性に合わせた設計になっているためです。そのため LBi や CCi (CC#) は、計算式を用いて簡単に算出する事ができました。しかしながら、人間の目の感度特性と等しいデジタルモードでは、緑色と赤色成分の感度特性の重なりが多くなっています。この事により、LBi、CCi や CC# の値は、照明フィルターやカメラフィルター番号とは直接の関連性がないので、基準色温度に合わせる為には LB フィルターと CC フィルターの両方を同時に使います。

フィルム感度



人間の目の感度



9-2 フィルターの種類

C-800 で得たフィルターをカメラ側で設定した場合、一般に光量が低下します。単体露出計の露出値からこの低下分をカメラ側で補う場合は、下表の露出段数を参考にして露出を決めることができます。なお、照明フィルターを使用する場合は、既に光量のおちた状態の光をメーターで測定しているため、露出補正は必要ありません。

■ コダック WRATTEN 2 / LEE フィルター [カメラフィルター]

アンバー系		ブルー系	
フィルター番号	露出増加段数 (+EV)	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)
81	1/3	82	1/3
81A	1/3	82A	1/3
81B	1/3	82B	2/3
81C	1/3	82C	2/3
81D	2/3	80D	2/3
81EF	2/3	80C	1
85C	1/3	80B	1 2/3
85	2/3	80A	2
85B	2/3		

マゼンタ系		グリーン系	
フィルター番号	露出増加段数 (+EV)	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)
CC025M	0	CC025G	0
CC05M	1/3	CC05G	1/3
CC10M	1/3	CC10G	1/3
CC20M	1/3	CC20G	1/3
CC30M	2/3	CC30G	2/3
CC40M	2/3	CC40G	2/3
CC50M	1	CC50G	2/3

■ 富士フィルムフィルター [カメラフィルター]

アンバー系		ブルー系	
フィルター番号	露出増加段数 (+EV)	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)
LBA-1	0	LBB-1	0
LBA-2	$1/3$	LBB-2	$1/3$
LBA-3	$1/3$	LBB-3	$1/2$
LBA-4	$1/3$	LBB-4	$2/3$
LBA-6	$2/3$	LBB-6	$2/3$
LBA-8	$2/3$	LBB-8	1
LBA-12	$2/3$	LBB-12	$1\ 2/3$
LBA-16	1	LBB-16	2
LBA-20	1	LBB-20	$2\ 1/3$

マゼンタ系		グリーン系	
フィルター番号	露出増加段数 (+EV)	フィルター番号	露出増加段数 (+EV)
CC-1.25M	0	CC-1.25G	0
CC-2.5M	0	CC-2.5G	0
CC-5M	$1/4$	CC-5G	$1/3$
CC-7.5M	$1/3$	CC-7.5G	$1/3$
CC-10M	$1/3$	CC-10G	$1/2$
CC-20M	$1/2$	CC-20G	$2/3$
CC-30M	$2/3$	CC-30G	$2/3$
CC-40M	$2/3$	CC-40G	1
CC-50M	1	CC-50G	$1\ 1/3$

LEE [照明フィルター]

フィルター番号	フィルター名	色温度 (K)
L218	1/8 CTB	3200 → 3400
L203	1/4 CTB	3200 → 3600
L202	1/2 CTB	3200 → 4300
L281	3/4 CTB	3200 → 5000
L201	FULL CTB	3200 → 5700
L283	ONE AND 1/2 CTB (1.5 CTB)	3200 → 8888
L200	DOUBLE CTB	3200 → 26000
L223	1/8 CTO	6500 → 5550
L206	1/4 CTO	6500 → 4600
L205	1/2 CTO	6500 → 3800
L285	3/4 CTO	6500 → 3600
L204	FULL CTO	6500 → 3200
L286	ONE AND 1/2 CTO (1.5 CTO)	6500 → 2507
L287	DOUBLE CTO	6500 → 2147

フィルター番号	フィルター名	CC フィルター相当
L278	1/8 PLUS GREEN (1/8 PLUS G)	CC 035 Green
L246	1/4 PLUS GREEN (1/4 PLUS G)	CC 075 Green
L245	1/2 PLUS GREEN (1/2 PLUS G)	CC 15 Green
L244	FULL PLUS GREEN (PLUS GREEN)	CC 30 Green
L279	1/8 MINUS GREEN	CC 035 Magenta
L249	1/4 MINUS GREEN	CC 075 Magenta
L248	1/2 MINUS GREEN	CC 15 Magenta
L247	FULL MINUS GREEN	CC 30 Magenta

() カッコ内は C-800 での表示

■ ROSCO CINEGEL [照明フィルター]

フィルター番号	フィルター名	色温度 (K)
R3216	1/8 CTB	3200 → 3300
R3208	1/4 CTB	3200 → 3500
R3206	1/3 CTB	3200 → 3800
R3204	1/2 CTB	3200 → 4100
R3203	3/4 CTB	3200 → 4700
R3202	FULL CTB	3200 → 5500
R3220	DOUBLE CTB	2800 → 10000
R3410	1/8 CTO	5500 → 4900
R3409	1/4 CTO	5500 → 4500
R3408	1/2 CTO	5500 → 3800
R3411	3/4 CTO	5500 → 3200
R3407	FULL CTO	5500 → 2900
R3420	DOUBLE CTO	10000 → 2400

フィルター番号	フィルター名	CC フィルター相当
R3317	1/8 PLUS GREEN (1/8 PLUS G)	CC 035 Green
R3316	1/4 PLUS GREEN (1/4 PLUS G)	CC 075 Green
R3315	1/2 PLUS GREEN (1/2 PLUS G)	CC 15 Green
R3304	PLUS GREEN	CC 30 Green
R3318	1/8 MINUS GREEN (1/8 MINUS G)	CC 035 Magenta
R3314	1/4 MINUS GREEN (1/4 MINUS G)	CC 075 Magenta
R3313	1/2 MINUS GREEN (1/2 MINUS G)	CC 15 Magenta
R3309	3/4 MINUS GREEN (3/4 MINUS G)	CC 22.5 Magenta
R3308	MINUS GREEN	CC 30 Magenta

() カッコ内は C-800 での表示

■ ROSCO E-COLOUR+ [照明フィルター]

フィルター番号	フィルター名	色温度 (K)
E218	1/8 CTB	3200 → 3400
E203	1/4 CTB	3200 → 3600
E202	1/2 CTB	3200 → 4300
E281	3/4 CTB	3200 → 5000
E201	FULL CTB	3200 → 5700
E283	ONE AND 1/2 CTB (1.5 CTB)	3200 → 8900
E200	DOUBLE CTB	2800 → 10000
E223	1/8 CTO	Daylight → 5300
E206	1/4 CTO	Daylight → 4600
E205	1/2 CTO	Daylight → 3800
E285	3/4 CTO	Daylight → 3500
E204	FULL CTO	Daylight → 3200
E286	ONE AND 1/2 CTO (1.5 CTO)	Daylight → 2507
E287	DOUBLE CTO	Daylight → 2120

フィルター番号	フィルター名	CC フィルター相当
E278	1/8 PLUS GREEN	CC 035 Green
E246	1/4 PLUS GREEN	CC 075 Green
E245	1/2 PLUS GREEN	CC 15 Green
E244	FULL PLUS GREEN	CC 30 Green
E279	1/8 MINUS GREEN	CC 035 Magenta
E249	1/4 MINUS GREEN	CC 075 Magenta
E248	1/2 MINUS GREEN	CC 15 Magenta
E247	FULL MINUS GREEN	CC 30 Magenta

() カッコ内は C-800 での表示

9-3

仕様

形式

- CMOS リニアイメージセンサー内蔵デジタルカメラ対応カラーメーター

照度計の階級

- JIS C 1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠

受光方式

- 入射光式

受光部

- 白色拡散板（固定）

測定範囲

- 0.5m ~ ∞

受光素子

- CMOS リニアイメージセンサー 128 画素

測定波長範囲

- 380nm ~ 780nm

スペクトル波長幅

- 約 11nm（半値幅）

測定方式

- | | | |
|---------|---|--|
| • 測定モード | <ul style="list-style-type: none"> • 定常光 • フラッシュ光 | 定常光モード
シンクロコードを用いて測定（接続モード）
シンクロコードなしで測定（コードレスモード） |
| • 測定タイプ | <ul style="list-style-type: none"> • 測色 • 照度 | 等色関数近似による色温度測定（相関色温度）
JIS C1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠 |
| • 表示モード | <ul style="list-style-type: none"> • 測色 | テキストモード、スペクトルモード
スペクトル比較モード、CRI モード
CRI 比較モード、TM-30 モード、
SSI モード、TLCI/TLMF モード、
フィルター（カメラ / 照明）モード、
多灯比較モード、ホワイトバランス補正モード |

測定範囲

• 色温度測定時の明るさ	• 定常光 • フラッシュ光	5lx ~ 200,000lx 20lx・s ~ 20,500lx・s
• 照度 • 露光量	• 定常光 • フラッシュ光	1lx ~ 200,000lx レンジ L : 20lx・s ~ 640lx・s レンジ H : 580lx・s ~ 20,500lx・s
• 相関色温度	• 定常光 • フラッシュ光	1,600K ~ 40,000K 4,000K ~ 10,000K (20ls・s ~ 20,500ls・s、380nm ~ 780nm) 2,500K ~ 4,000K、10,000K ~ 40,000K (20ls・s ~ 10,200ls・s、400nm ~ 700nm)
• 演色評価	• CRI • TM-30 • SSI • TLCI-2012 • TLMF-2013	Ra, R1 ~ R15 -100.0 ~ 100.0 Rf 0 ~ 100 Rg 0 ~ 200 SSI 0 ~ 100 Qa 0 ~ 100 ∠ Qa 0 ~ 100 (5lx ~ 200,000lx)
• 色度座標 x,y	• CIE1931	0.0000 ~ 1.0000 (5lx ~ 200,000lx)
• Hue	• HSV • HSI	0° ~ 359° 0° ~ 359° (5lx ~ 200,000lx)
• Saturation	• HSV • HSI	0% ~ 100% 0% ~ 100% (5lx ~ 200,000lx)

確度

• 照度	指示値の± 5% ± 1digit (JISC1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠)
• 色温度	± 4MK ⁻¹ (A 光源、800lx)

繰り返し性 (2σ)

- | | |
|-------|---|
| • 照度 | 1% + 1digit (A 光源、30lx ~ 200,00lx)、
5% + 1digit (A 光源、1lx ~ 30lx) |
| • 色温度 | 2MK ⁻¹ (A 光源、500lx ~ 100,000lx)
4MK ⁻¹ (A 光源、100lx ~ 500lx)
8MK ⁻¹ (A 光源、30lx ~ 100lx)
17MK ⁻¹ (A 光源、5lx ~ 30lx) |

レンジ L/レンジ H の切り換え

- | | |
|---------|---------------------|
| • 色温度誤差 | ± 8MK ⁻¹ |
|---------|---------------------|

可視域相対分光**応答度特性**

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| • f1' | 9%以下 (JIS C1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠) |
|-------|---------------------------------------|

斜入射光特性

- | | |
|------|---------------------------------------|
| • f2 | 6%以下 (JIS C1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠) |
|------|---------------------------------------|

温度特性

- | | |
|-------|---|
| • 照度 | 指示値の± 5% (JIS C1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠) |
| • 色温度 | ± 12MK ⁻¹ (A 光源、1000 lx) |

湿度特性

- | | |
|-------|---|
| • 照度 | 指示値の± 3% (JIS C1609-1:2006 一般型 A 級照度計に準拠) |
| • 色温度 | ± 12MK ⁻¹ (A 光源、1000lx) |

表示範囲

- | | |
|------------|---|
| • 基準色温度の設定 | 2,500K ~ 10,000K |
| • LB 指数 | <ul style="list-style-type: none"> • 1MK⁻¹ ステップ -500MK⁻¹ ~ +500MK⁻¹ • 1daMK⁻¹ ステップ 少数無し: -50daMK⁻¹ ~ +50daMK⁻¹ • 0.1daMK⁻¹ ステップ 少数有り: -50.0daMK⁻¹ ~ +50.0daMK⁻¹ |
| • CC 指数 | • 80G ~ 80M |
| • 照度 | • 定常光 1lx ~ 200,000lx (上位 3 桁有効) |
| • 露光量 | • フラッシュ光
レンジ L: 20lx・s ~ 640lx・s
レンジ H: 580lx・s ~ 20,500lx・s |

• シャッター速度・フラッシュ光		1 秒～ 1/500 秒 (1、1/2、1/3 ステップ) 他 1/75、1/80、1/90、1/100、1/200、 1/400 秒設定可能
• 演色評価	• CRI • TM-30 • SSI • TLCI-2012 • TLMF-2013	Ra, R1 ~ R15 -100.0 ~ 100.0 Rf 0 ~ 100 Rg 0 ~ 200 SSI 0 ~ 100 Qa 0 ~ 100 ∠ Qa 0 ~ 100 (5lx ~ 200,000lx)
• 色度座標 x,y	• CIE1931	0.0000 ~ 1.0000 (5lx ~ 200,000lx)
• Hue	• HSV • HSI	0° ~ 359° 0° ~ 359° (5lx ~ 200,000lx)
• Saturation	• HSV • HSI	0% ~ 100% 0% ~ 100% (5lx ~ 200,000lx)

その他の機能

- プリセット設定機能
 - 本体設定
 - メモリー機能
 - メモリークリアー・リコール編集機能
 - 測定範囲外及び表示範囲外
 - 電池残量表示機能
 - 自動電源オフ機能
 - 液晶バックライト (EL)
 - タッチパネルロック機能
 - 三脚用ネジ穴付き
- プリセット No.1 ~ 19
 - 11 項目設定可能
 - 99 回まで可能
 - [Under] アンダー、[Over] オーバーまたは [Filter N/A] (表示範囲外) の警告表示
 - 4 段表示
 - 最終操作後約 20 分、約 10 分、約 5 分、なしから選択可能
 - 明るさは明るい、普通、暗いから選択可能
 - 減灯時間は最終操作後約 20 秒、40 秒、60 秒、減灯しないから選択可能
 - 本体のメニューボタン⑥を 3 秒間押し続けると、ロックとロックの解除が可能
 - 1/4in、20 山

使用液晶

- 液晶表示画素数 • 4.3 インチ QVGA 480 × 800 ドット

推奨電池

- 単三形電池 • 1.5V × 2 本 アルカリ、マンガン
- USB 接続によるバスパワー • 5V/500mA以下(パソコン接続時にUSBケーブルより供給)

使用周囲温度

- -10℃～40℃（但し、結露しない事）

使用周囲湿度

- 85% RH 以下（35℃のとき）（但し、結露しない事）

輸送保管条件

- -10℃～60℃（但し、結露しない事）

寸法

- 約 73（幅）× 183（高さ）× 27（厚さ）mm（受光部含まず）（最大厚さ 40 mm）

質量

- 約 230 g（電池含まず）

標準付属品

- ソフトケース、ストラップ、スタートアップガイド、安全上のご注意、保証書

※この使用説明書に記載の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

9-4 法的要求事項

法的要求事項

本製品は下記の法的順守事項に準拠しています。

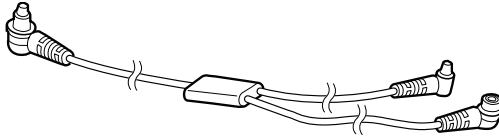
仕向け地	規格		詳細
欧州	CE	Safety	EN 60950-1 EN 62368-1
		EMC	EMS : EN 55024 EMI : EN 55032
		環境関連	WEEE (欧州)
			RoHS
		REACH	
北米	FCC	EMC	FCC Rules Part15 SubpartB 2014 ClassB
	IC	EMC	ICES-003 ClassB
日本	環境関連		容器包装リサイクル法
中国	環境関連		中国 RoHS
韓国	KC	EMC	KN 11 KN 61000-6-1

10. 別売アクセサリ

■ シンクロコード

長さ 5 m のコードは 3 つのプラグを持ち、カラーメーター、フラッシュとカメラを接続同調させることができますので、撮影する時にもコードを差し換える必要がなく便利です。また、シンクロコードのカラーメーター側の接続端子（オス）は、抜け防止用にロック機構がついています。

（カラーメーター側オス端子 1 個－オス端子 1 個・メス端子 1 個）



11. トラブルシューティング

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理をご依頼される前にもう一度ご確認ください。下記の点検をしても正常に動作しない場合は、本機の故障の可能性があります。電池を取り外して購入先または弊社まで修理をご依頼ください。

状態	点検項目	対処方法
パワーオンしない (表示しない)	電源ボタンを1秒以上長押ししていますか？	電源ボタンを1秒以上長押ししてください。
	電池は⊕⊖が正しく入っていますか？	⊕⊖表示を確認してください。 (➡P4)
	電池の容量はありますか？	電池を交換してください。(➡P10)
	電池の端子が汚れていませんか？	乾いた布で拭いてください。
	電池は指定の製品が入っていますか？	電池を確認してください。(➡P4)
液晶が反応しない	画面のロックが設定されていませんか？	メニューボタン 6 を長押しして画面のロックを解除してください。 (➡P19)
USB バスパワーで測定できないときがある。	C-800 ユーティリティと本体が通信中ではありませんか？	C-800 本体の液晶画面に USB アイコンが出ている場合はユーティリティと通信中です。通信が終わるまでお待ちください。またユーティリティでメモリーデータ管理画面を開いているときは常に通信中となりますので、本体をバスパワーで使う場合には画面を閉じてお使いください。
測定値がおかしい	光量切り換えリング 2 が中間位置になっていませんか？配光特性が変わり適正な測定ができません。	カチッと音がするまで光量切り換えリング 2 を回してください。
	unnecessary 補正やフィルター補正が設定されていませんか？	Target (基準色温度) を確認し、設定が間違っていないか確認してください。(➡P26)
		プリセット色温度を確認し、設定が間違っていないか確認してください。(➡P162)

状態	点検項目	対処方法
測定値がおかしい	測定モードを間違っていないか？ (フラッシュ光なのに定常光モードで測定している、など)	正しい測定モードを選択しているかどうか確認してください。(▶P22)
	フラッシュ光コードレスモードで測定するときにフラッシュのプリ発光機能を使用していないか？	フラッシュ光コードレスモードでは、最初のプリ発光を測定してしまい、本発光の測定値を表示できない場合があります。フラッシュのプリ発光機能を解除してください。
分光式カラーメーターの設定値・測定値がカメラの設定にない	カメラのシャッター速度や絞りの設定のステップと分光式カラーメーターのシャッター速度や絞りの設定ステップは合っていますか？	分光式カラーメーターと同じく、カメラは1/3ステップ、1ステップ、1/2ステップなどの選択ができるものがあります。分光式カラーメーターのステップをカメラのステップに合わせてください。(シャッター速度ステップ) (▶P130)
メモリーできない	差分測定モードになっていませんか？	モニター機能が有効になっているとメモリー機能は使用できません。モニター機能を解除してください。
	メモリーボタンを押したときに「Memory Full」と出ていませんか？	メモリーできる回数は最大99回までです。必要のないメモリー値をクリアしてから使用してください。
ブルーLEDでスペクトルグラフが出ない	測定する光源の光量は十分ありますか？	光量が不足している場合は測定したい光源の出力を上げて、測定してください。 スペクトル半値幅が狭いLEDでは測定に必要な光景を得られない場合があります。
受光部①にガタつきがあります	光量切り換えリング②を回したとき、スムーズに回転していますか？ 受光部はスムーズに上下していますか？	ワンタッチでダーク補正、光量切り換えを行うのに必要なガタつきのため故障ではありません。 光量切り換えリング②の回転、受光部①の上下動作に異常がある場合は故障の可能性がありますのでお問い合わせください。
レンジH/Lを切り替えたさい測定値に差が出る	光量切り換えリング②を回したとき、スムーズに回転していますか？ 受光部はスムーズに上下していますか？	光量切り換えリングが中途半端な位置では測定値が正しくなりません。位置を確認してください。測定した値が±8MK-1以内が製品保証範囲となります。

状態	点検項目	対処方法
タッチスクリーンを押下したときに感度が悪い	タッチパネルの認識する座標位置がズレていませんか？	<p>本使用説明書の「8-1 タッチパネル調整の調整」(▶P177)の手順に従って、調整を行ってください。</p> <p>なお、本製品は誤動作を少なくするため、一般的にスマートフォンなどで使われている静電方式ではなく、抵抗膜方式のタッチパネルを使用しておりますので、反応しにくいときは爪先でタッチしてみてください。</p>
測光時間が長いときがあります	間違えてレンジHで定常光を測定していませんか。	<p>定常光では、レンジLで測定してください。レンジHで測定をするとNDフィルターによる光量が落ちてしまい、測定時間が長くなります。</p> <p>本製品は分光式のセンサーを使用しているため、測定する照度により、測定値が表示されるまでの時間が1秒～15秒と変化いたします。</p>

12. アフターサービスについて

※弊社の製品には一定の期間内無償修理をお引き受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 保証期間などについて

1. 保証期間はご購入日より1年間です。
2. 保証書にお買い上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 保証期間内でも有償修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

■ 補修用部品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われるものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

■ 修理ご依頼にあたって

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
2. 修理をご依頼されたものの中には単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+) (-) の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。
3. 分解や改造（ソフトウェアを含む）による故障および損傷、または分解や改造された痕跡がある場合は修理をお断りしています。

■ お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。



ご参考

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただきます。それ以外の責任は負いかねます。

株式会社 セコニック

〒 178-8686 東京都練馬区大泉学園町 7-24-14
TEL 03-3978-2366 FAX 03-3922-2144
<https://www.sekonic.co.jp>

JT8097564
March 2023